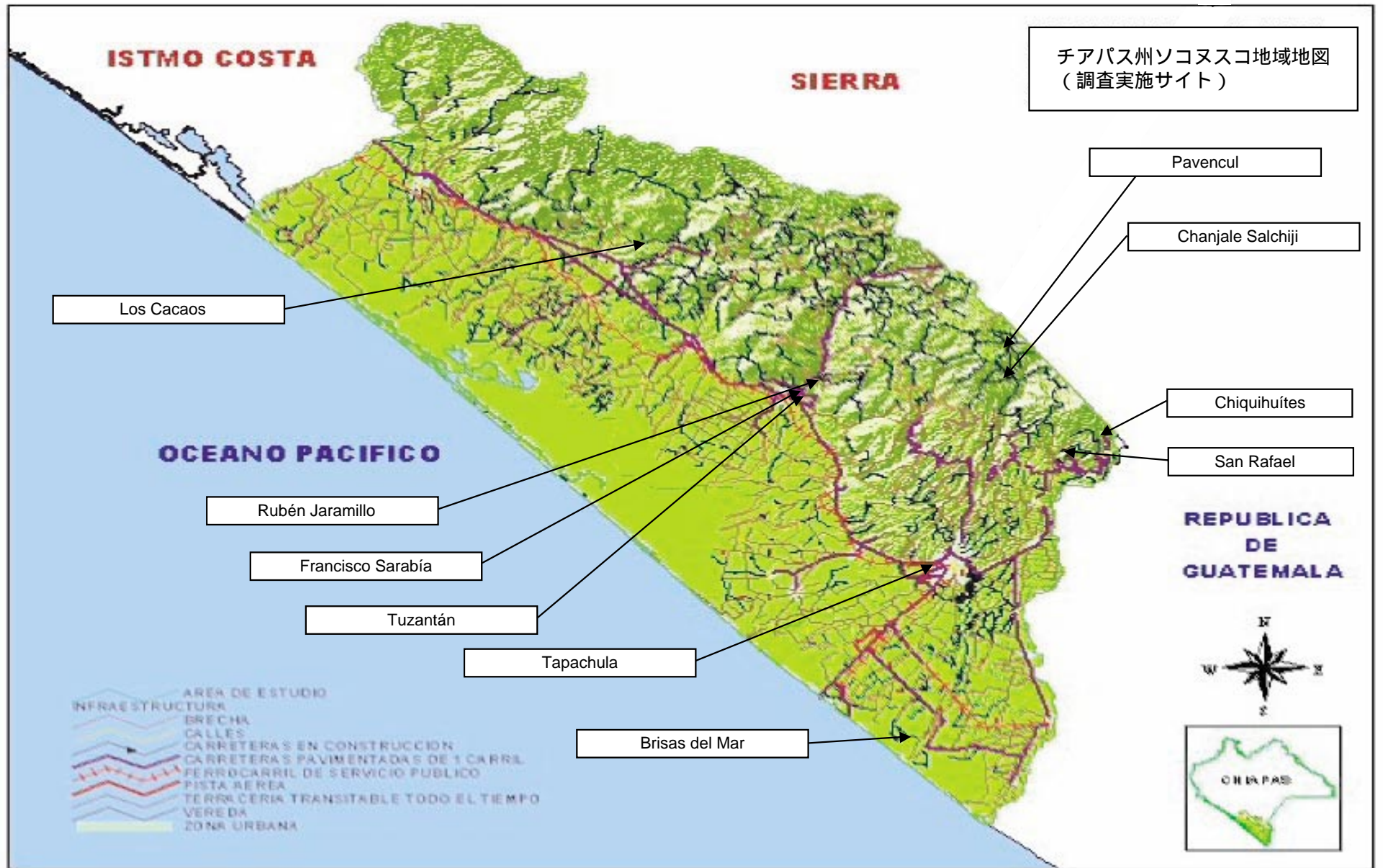


メキシコ国  
チアパス州農村ソコヌスコ地域  
農村女性組織強化プロジェクト  
事前評価調査報告書

平成 14 年 12 月

国際協力事業団





TUXTLA GUTIERREZ での協議



タパチュラでの協議



タパチュラでの協議 2



PAVENCUL での調査(男性)



TUZANTAN での調査(男女合同)



LOS CACAOS での調査(女性)





PAVENCUL に至る道のり



LOS CACAOS で栽培されるカカオ



SAN RAFAEL の風景



TUZANTAN 市長との会合



タパチュラ市庁舎会議室における最終報告会

## 略語表

CADER	Centro de Apoyo al Desarrollo Rural( 農村開発支援センター )
CIICA	Centro Internacional de Investigación y Capacitación Agropecuaria ( 国際農牧調査・能力開発センター )
CNC	Confederación Nacional Campesina( 国家農民連合 )
CNDH	Comisión Nacional de Derechos Humanos( 国家女性審議会 )
COMCAFE	Consejo Mexicano de Café( メキシコ・コーヒー委員会 )
CONAPO	Consejo Nacional de Población( 国家人口審議会 )
ECOSUR	El Colegio de la Frontera Sur ( 国境南部大学 )
FIRA	Fideicomisos Instituidos en Relación con la Agricultura( 農業信用基金 )
FUNDACION	Fundación Produce Chiapas( チアパス生産者基金 )
EZLN	Ejército Zapatista de Liberación Nacional( サパティスタ民族解放軍 )
IMEXCI	Instituto Mexicano de Cooperación Internacional( メキシコ国際協力庁 )
IMSS	Instituto Mexicano de Seguro Social( メキシコ社会保健協会 )
INEGI	Instituto Nacional De Estadística, Geografía e Informática( 国立統計地理情報院 )
INIFAP	Instituto Nacional de Investigaciones Forestales, Agrícolas y Pecuarias ( 国立林業・農業・畜産研究所 )
INMUJERES	Instituto Nacional de las Mujeres( 国家女性研究所 )
IDESMAC	Instituto para el Desarrollo Sostenible en Mesoamérica ( メソアメリカにおける持続可能な開発のための研究所 )
IPEG	Institucionalización de la Perspectiva de Género( ジェンダーの視点の制度化 )
ISSSTE	Instituto de Seguridad y Servicios Sociales de los Trabajadores del Estado ( 州労働者の安全と社会サービスに関する協会 )
ISSSTECH	Instituto de Seguro Social para Trabajadores del Estado de Chiapas ( チアパス州労働者のための社会保健協会 )
ISMAM	Indígena de Sierra Madre de Motozintla“ San Isidro Labrador ”S.S.S.( Sociedad de Solidalidad Social ) ( マヤ系先住民族 Mame グループを中心としたグループの生活向上をめざした有機栽培コーヒー生産者の社会連帯組合 )
PAN	Partido Acción Nacional( 国民行動党 )
PINMUDE	Programa de Integración de la Mujer al Desarrollo( 女性問題プログラム )
PRI	Partido Revolucionario Institucional( 制度的革命党 )

PROCAMPO	Programa de Apoyos Directos al Campo( プロカンポ )
PROEQUIDAD	Programa Nacional para la Igualdad de Oportunidades y No Discriminación contra las Mujeres( 機会均等と女性に対する差別撤廃のための国家プログラム )
PROGRESA	Programa de Educación, Salud y Alimentación( 教育・保健・食糧プログラム )
PRONASOL	Programa Nacional de Solidaridad( 国民連帯プログラム )
PRONAVI II	Programa Nacional contra la Violencia Intrafamiliar( 家庭内暴力対策国家プログラム )
PPP	Puebla Panamá Plan( プエブラ・パナマ・プラン )
RMALC	Red Mexicana de Acción Frente al Libre Comercio ( メキシコ自由貿易運動ネットワーク )
SAGARPA	Secretaría de, Agricultura, Ganadería, Desarrollo Rural, Pesca y Alimentación( 農牧漁業省 )
SDR	Secretaría de Desarrollo Rural( 農村開発局 )
SDS	Secretaría de Desarrollo Social( 社会開発局 )
SISESIM	Sistema de Indicadores para el Seguimiento de la Situación de la Mujer ( 女性の状況をモニタリングするための指標システム )
SSA	Secretaría del Salud( 保健省 )
SSS	Sociedad de Solidaridad Social( 社会連帯組合 )
UNACH	Universidad Autónoma de Chiapas( チアパス自治大学 )



# 目 次

地 図

写 真

略語表

1. 調査の概要	1
1 - 1 調査の目的	1
1 - 2 調査の背景	1
1 - 3 調査の基本方針	2
1 - 4 調査団の構成	3
1 - 5 調査概要	3
1 - 5 - 1 メキシコ及びチアパス側実施体制	3
1 - 5 - 2 調査サイトの選定	4
1 - 5 - 3 農村調査結果	4
1 - 5 - 4 ミニッツ締結	5
1 - 5 - 5 プロジェクト実施サイト候補地5コミュニティの選定	6
1 - 5 - 6 プロジェクト実施サイト候補地の関係機関、関係ムニシピオ(municipio)への報告	6
1 - 6 調査日程	7
1 - 7 主要面会者	8
2. 協力対象分野の現状	10
2 - 1 メキシコの地域間・貧富の格差の現状	10
2 - 2 ジェンダーによる格差	12
2 - 2 チアパス州の貧困・農業の現状	21
2 - 2 - 1 チアパス州の自然地理と農業の現状	21
2 - 2 - 2 チアパス州の貧困・マージナリティ、ジェンダー格差	22
2 - 3 ソコヌスコ地域の概要	26
2 - 4 国家開発計画での取り組み	29
2 - 5 JICAの取り組み	30
2 - 6 別添資料	33

3.	プロジェクト実施機関・関連機関の体制、農村開発への取り組み	44
3 - 1	連邦農牧漁業省( SAGARPA )による農村開発政策	44
3 - 2	チアパス州レベルの C/P 機関	51
3 - 3	チアパス州レベルでの農村女性プログラム	52
3 - 4	ソコヌスコ地域での C/P 機関	53
4.	地域農村の現状	57
4 - 1	農村社会	57
4 - 1 - 1	農業・畜産	57
4 - 1 - 2	農村生活基盤	60
4 - 1 - 3	農村社会	62
4 - 1 - 4	農村組織	63
4 - 1 - 5	農業技術普及	63
4 - 1 - 6	その他	64
4 - 2	農村女性	64
4 - 2 - 1	住居・居住環境	64
4 - 2 - 2	教育、保健衛生、栄養	67
4 - 2 - 3	性差分業( 農業、家事等 )	75
4 - 2 - 4	組 織	76
4 - 2 - 5	農業外所得・生産活動・農村金融	78
5.	プロジェクトの概要案	82
5 - 1	協力の方向性	82
5 - 2	プロジェクト・デザイン・マトリックス	82
5 - 3	日本側投入計画	83
6.	JICA ボランティアの連携	88
6 - 1	JICA メキシコ事務所におけるボランティア派遣方針	88
6 - 2	チアパス州における他国ボランティアの活動状況	88
6 - 3	当該プロジェクトにおける JICA ボランティア派遣の可能性	88
7.	協力にあたっての留意点	91
7 - 1	実施体制	91
7 - 2	モデル事業の波及効果と普及	93

7 - 2 - 1	パイロット・コミュニティの選定	93
7 - 2 - 2	モデル事業の波及効果	93
7 - 3	プロジェクト内容に係る留意点	94
7 - 3 - 1	プロジェクト目標と指標の設定	94
7 - 3 - 2	プロジェクト実施段階	94
7 - 3 - 3	ジェンダーへの配慮	95

## 付属資料

1.	要望調査表	101
2.	ミニッツ	103
3.	会議議事録	113
4.	農村社会調査	119
4 - 1.	サイト選定基準(日本語・西語)	119
4 - 2.	グループ・インタビュー調査表(西語)	123
4 - 3.	現地コンサルタントへの業務委託概要(TOR)(西語)	126
4 - 4.	野口専門家業務日程	130
5.	農村社会調査結果	131
5 - 1.	10コミュニティの農村調査日程	131
5 - 2.	10コミュニティの農村調査結果比較表	132
5 - 3.	コミュニティ別の農村調査結果(西語)	133
5 - 4.	プロジェクトのフローチャート(案)	173
6.	参考文献	174

# 1. 調査の概要

## 1-1 調査の目的

開発調査「チアパス州ソコヌスコ地域農牧業農村開発総合開発計画調査」のフォローを行い、平成14年度採択案件「農村女性組織強化」(当時専門家チーム派遣にて要請)の新技術協力プロジェクトとしての活動計画概要を検討する。

## 1-2 調査の背景

1996年12月にメキシコ合衆国(以下、「メキシコ」と記す)政府より日本国政府に対し、メキシコ南西部のグアテマラとの国境に位置する、チアパス州ソコヌスコ地域(総面積5,475.5km<sup>2</sup>)を対象に貧困軽減を重要な施策目的とする農業生産性向上、農民の生活改善にかかるマスタープラン調査実施要請が上げられた。これに対し、日本国政府はJICAを通じて1997年9～10月にかけて事前調査を実施、同年10月2日にS/Wを締結した。これに基づき、JICAは1998年より2年次に及ぶ「ソコヌスコ地域農牧業農村開発総合調査」と題する本格調査を実施した。調査は1998年6～12月(現地調査:6～10月、国内作業:10～12月)までのフェーズⅠ、1999年2～9月(現地調査:2～5月、国内作業:5～7月)までのフェーズⅡに分けられる。

現地調査結果に基づき、農村社会改善、農牧業強化、農業生産・農村生活基盤整備、農産物流通システム改善・農産加工業振興、環境保全を含む短期(2005年)、中期(～2010年)、長期(～2020年)の農牧業農村開発のマスタープランが作成され、2つの小規模生産者生産性向上計画(トウモロコシ、コーヒーを軸とした営農複合化を中心に数種の活動を組み合わせたもの)と環境保全型農業促進計画の3つの優先計画が立案され、プレフィージビリティ調査が実施された。以上の結果は1999年9月にファイナル・レポートとしてまとめられた。

上記開発調査の結果を受けて、メキシコ政府より、2000年8月に日本政府に対し、「農村女性組織化」にかかる正式なプロジェクト要請(付属資料1参照)が上がった。2001年度の新州政府成立以来、チアパス州では知事を中心に開発への取り組みが進み、開発調査の結果が重要視され、今後州の開発計画立案に積極的に活用していきたいとの意向である。効率的な開発計画の実施に向けて日本側の早急な支援が求められている。

2002年度にはチアパス州に「農牧業開発」短期専門家の派遣を予定しており、本調査団と併せて、新技術協力プロジェクトの立ち上げに向けて、関係者との意見交換、現地ニーズの確認、開発調査終了後の環境の変化の確認が必要である。

### 1 - 3 調査の基本方針

ソコヌスコ地域における現地調査、社会分析の実施、プロジェクト関係者との会合等を通じて、開発調査の内容 / 結果のその後の動向をフォローし、新技術協力プロジェクトの活動計画概要案を検討し、今後の準備に必要な事項を先方とも確認し、ミニッツの交換を行う。

主要調査項目は以下のとおり。

(1) 相手国カウンターパート(以下、C/P)予定機関\*のプロジェクトに対するコミットメント、現在の活動状況・体制、プロジェクト実施後の実施体制等の確認。(担当団員 三田村)

\* C/P 予定機関：チアパス州農村開発局(SDR)、農牧漁業省(SAGARPA)チアパス支局、チアパス生産者基金(FUNDACION)

(2) プロジェクト予定周辺地域での関連機関の活動状況、プロジェクトとの連携の可能性、プロジェクト内容に関する意見交換。(担当団員 三田村)

(3) 相手国関連機関の参加型開発への取り組み、特に女性の組織化に関する活動状況、体制、問題点、今後の目標の把握、プロジェクト内容に関する意見交換。(担当団員 作元)

(4) 関連機関職員とのプロジェクト候補地{10 コミュニティ( comunidad )}の現状の農村調査、社会調査(一部現地コンサルタントへ委託)において、農村社会全般の概要の把握、問題、ニーズの分析を行う。特に、農業分野(農業生産、流通、加工、販売、農業技術、営農融資等)について調査を実施する。(担当団員 高砂)

(5) 関連機関職員とのプロジェクト候補地(10 コミュニティ)の現状踏査、農村社会調査(一部現地コンサルタントへ委託)において、参加型の観点から、特に女性を巡る農村社会全般の概要の把握、問題・ニーズ分析(教育、保健衛生 / 栄養、農業・家事における性差分業、農業外所得・生産活動等)を行う。(担当団員 作元)

(6) 当該プロジェクトと JICA ボランティアの連携の可能性について、実施予定プロジェクトの内容を構築していくうえで、投入の一つとしてのボランティア事業の活用方法、プロジェクト関係者との会合、現地調査を通じて、JICA ボランティアの活動機関、地域としての妥当性、を中心に考察する。また、当該地域の農村開発分野における JICA ボランティアの派遣の可能性も合わせて調査する。(担当団員 高砂)



(7) 新技術協力プロジェクト実施のための活動方針、活動計画概要を作成。

(8) 協議事項及び、可能であれば、プロジェクト概要案をミニッツにまとめ、先方と署名。

\* 補足：農村社会調査に関しては、本事前調査団による調査に加え、一部現地コンサルタントへ委託、調査団後の「農牧業農村開発」短期専門家による活動を計画している。

#### 1 - 4 調査団の構成

団長・総括	狐崎 知己	専修大学教授(中米・カリブ地域支援委員会委員)
協力企画	三田村達宏	JICA 中南米部中米・カリブ課
参加型開発	作元 理江	JICA 中南米部中米・カリブ課
農村分析	高砂 大	JICA 青年海外協力隊事務局海外第一課
通 訊	太田 智	JICA メキシコ事務所

#### 1 - 5 調査概要

##### 1 - 5 - 1 メキシコ及びチアパス側実施体制

2001年12月に「持続可能な農村開発連邦法」が施行され、メキシコ国内において、関係諸機関により、環境と調和のとれた、持続可能な農村開発の促進が行われている。このため、特に農牧漁業省(SAGARPA)のコーディネイトの下、「持続可能な農村開発のための省庁間連携委員会」が設立され、地方分権化が進むなか、連邦、州、地方自治体と地域レベルでの連携体制がとられている。

農村開発の具体的なプロジェクトとしては、チアパス州農村開発局(SDR)はSAGARPAと連携し、Alianza para el Campoを実施しており、なかでもソコヌスコ地域では男性の出稼ぎが多く、女性が家庭に残される状況にあることから、特にPrograma de Mujeres en Desarrollo Ruralに力を入れており、今回当方に女性の組織強化に関する要請があげられた背景が確認された。同プログラムは、1999年より実施開始、ジェンダーの観点から6名から30名までの女性グループに対しマイクロファイナンスを通じた支援(プロジェクト立案、技術支援・研修、機材供与、農作物・加工品/小家畜等販売品の商品化に至る一連の流れに対する)を行っている。2001年にはソコヌスコ地域において26のグループが支援を受け、養豚・羊、タマル製造・販売、パン屋・裁縫場経営等のプロジェクトを実施している。

州レベルでは、SDR・SAGARPAチアパス支局がC/Pとなり、全面的な支援が得られることが確認された。またプロジェクト実施の対象地区であるソコヌスコ地域においては、タバチュラ地区のSDR支局、SAGARPA支局、メキシコ・コーヒー委員会(COMCAFE)及びチアパス生産者基金(FUNDACION)によるプロジェクトへの支援も確認された。

### 1 - 5 - 2 調査サイトの選定

タパチュラ地区のSDR、SAGARPA、FUNDACION、COMCAFEと協議の上、8つの客観的な基準{標高、主要農産物、農村組織形態、貧困指数/マージナリティの度合い、女性組織、政府との関係、生活満足度及び上昇期待(Prospects for Upward Mobility:POUM)、社会資本}(付属資料3-1参照)に基づき、関係機関が提示した35コミュニティのなかから、協議の上10コミュニティを選定した。

### 1 - 5 - 3 農村調査結果

#### (1) 調査方法

各村の所属行政地区の協力を得て、SDR及びSAGARPAの担当職員プラス現地コンサルタントであるヒルベルト・ヨン氏(前回の開発調査にはSAGARPAの職員として参団)の同行の下、調査を実施したが、6日間という短期間で10コミュニティを訪問する必要性もあり、各コミュニティで2時間程度の調査となった。そのため、予定していた男女別のグループへのアンケート用紙配布による調査は行えず、各コミュニティで村人の参集を募り、調査表を元にグループ・インタビューを行う形での調査となった。

時間的な制約から基礎的なデータ収集を目的にすることで、選定基準に照らし合わせ、調査項目はかなりベーシックなものに絞り込まれた。具体的には以下のとおりである。

コミュニティの設立時期、コミュニティ所有の土地面積、人口、家族数、水道・トイレ・電気等の基礎的なインフラの状況、学校の有無、生徒数等の教育関係、保健所の有無、看護/保健師の勤務状況等の保健関係、近隣の都市へのアクセスの状況、コミュニティに存在する組織(女性の組織を含む)と活動内容、農業生産・家畜飼育状況(男女の仕事配分・決定権)、出稼ぎの状況、コミュニティ内の社会資本状況、POUM(付属資料3-2参照)。

事前にSDR、SAGARPA、FUNDACION、COMCAFE等関係機関により訪問先となる村へ連絡がなされたことから、各コミュニティでの住民の集まり具合は比較的良く、平均して男女共10人前後の参集があった(Pavencul、Francisco Sarabía、Los Cacaos)。しかしながら、なかには事前の連絡が上手くいかず、男女併せて10名程度の参集となったコミュニティ(Chanjale Salchiji、Rubén Jaramillo、Tuzatán、San Rafael)また、女性の参集がなく、女性組織の活動等の確認ができなかったコミュニティ(El Aguila、Chiquihuites)、住民が参集しておらず、調査ができなかったコミュニティ(Brisas del Mar)もある。

グループ・インタビューに際しては、男性、女性が10人以上ずつ参集したコミュニティでは、男性グループと女性グループに分けてそれぞれ調査を実施、特に女性の組織の存在、活動内容等について、女性の意見が聞き取れるように配慮した。

## (2) 調査結果

女性の組織化の観点から結果を簡単に述べると、組織され何らかの活動を行っている女性グループがあるコミュニティ( Pavencul、 Francisco Sarabía、 Tuzantán、 Los Cacaos、 San Rafael、 Chiquihuites ) 又は女性の組織はないものの、組織化の可能性が十分あると思われる女性住民の存在があるコミュニティ( Rubén Jaramillo )とそれ以外のコミュニティ( Chanjale Salchiji、 El Aguila )に大きく分かれることになった。

具体的な女性のグループの例としては、PROGRESA( 教育・保健・食糧プログラム現在は OPORUTINIDADES )という政府による子供への学費補助プロジェクトの支援を受けるために組織化されたグループ( Pavencul、 Francisco Sarabía、 Tuzantán、 Los Cacaos、 San Rafael、 Chiquihuites )、PTA( Los Cacaos、 San Rafael、 Chiquihuites )、マイクロ・クレジットによるプロジェクト実施に向けて銀行からの融資獲得のために組織されたグループ( Tuzantán、 San Rafael )等があげられる。後者の場合、融資受け取りの受け皿的なグループであり、実際のプロジェクトは個人ベースで、養鶏・販売、洋服、パンの販売等を行っている。

マイクロ・クレジットに関しては、別途女性グループに長年支援を行っているという UNION JUAREZ の第5評議員である Hortensia M. Rios de Mudy 女史に話をうかがったが、活動が個人ベースであるのは、伝統的にグループで活動することがないという理由によることである。しかしながら、グループで活動することによって、より大きなプロジェクトができるうえに1人当たりの活動時間は短くなるというメリットがあることはいうまでもなく、その点を指摘したところ、いずれはグループでプロジェクトを実施できるようにしていきたいとのことであった。

### 1 - 5 - 4 ミニッツ締結

8月5日、チアパス州の州都 Tuxtla Gutiérrez の SDR のオフィスにて、SDR 代表 Rubén F. Velázquez López 氏、SAGARPA 代表 David Corzo Castillejos 氏、及び狐崎団長との間でミニッツ( 付属資料 2 参照 )が結ばれた。調査団による農村調査が継続中( 8月9日の時点で7コミュニティにて調査終了 )ということもあり、ミニッツ自体の内容は、調査団により7月26日から8月5日まで事後現況調査、小農支援プロジェクト実施にかかる事前評価調査が実施されたことを確認し、今後の技術協力プロジェクトへの立ち上げに向けて双方更なる努力をする方向で合意するというベーシックなものとなった。また、簡単な調査内容、プロジェクト概要( 仮称、5地区において実施、期間は3年、実施機関は SDR・SAGARPA )、今後の方針( 10月をめどに R/D の締結を行う旨 )、R/D 案は、ミニッツへの付属資料として提出された。

ミニッツ合意にかかる会議中に、SDR の代表 López 氏は調査団の調査結果、野口短期専門家による今後の調査概要、プロジェクトの方向性に関し、活発に質問を行うなどプロジェクトへ

の関心は高く、プロジェクトの実施にあたり、今後の積極的な支援が期待される場所である。また、ミニッツ締結の様子は地元紙により取り上げられ、併せて地方TVにより報道された。

#### 1 - 5 - 5 プロジェクト実施サイト候補地5コミュニティの選定

10コミュニティの調査の結果、選定基準にのっとり、調査団、C/P機関であるSDR、SAGARPAからの調査同行者、ヒルベルト・ヨン氏と協議の上、以下のコミュニティ、タパチュラから Pavencul、TUZANTAN から Rubén Jaramillo と Tuzantán、ACACOYAGUA から Los Cacaos、UNION JUAREZ から San Rafael を選択した。これらの村は、10コミュニティ(実際には9コミュニティ)中、選定基準に照らし、比較優位性があり(付属資料4 - 2参照)、特に、女性組織、市場等へのアクセス、社会資本、プロジェクト実施後の地域でのモデル性等においてもプロジェクト実施サイト候補地として適していると判断された。

#### 1 - 5 - 6 プロジェクト実施サイト候補地の関係機関、関係ムニシピオ(municipio)への報告

1 - 5 - 2、1 - 5 - 3の結果を、8月8日(木)にタパチュラ市庁舎会議室において、SDR、SAGARPA、FUNDACION、及び各ムニシピオの代表者等の参加の下、報告会を実施した。まず調査団の背景・目的及びプロジェクト実施サイト候補地選定基準に関する説明を行い、10コミュニティでの農村調査の概要・結果報告と続いた。その後、プロジェクト実施予定サイト5コミュニティの発表と選択理由の報告を行い、参加者の理解を得た。併せて野口専門家の紹介、同専門家による簡単な調査方法(PCM)の説明が行われ、本調査団派遣により選択された5コミュニティにて、野口専門家(業務日程に関しては付属資料4 - 4参照)、ヒルベルト・ヨン氏(農村調査委託の概要に関しては付属資料4 - 3参照)、及びC/P機関からの同行者によってより詳細な農村社会調査・分析、ワークショップが実施されることが確認された。また、その結果を受け、8月26、27、28日に実施される先方関連諸機関とのワークショップにおいて、本プロジェクトの最終的なPDM・活動計画案の作成が予定されている。

1 - 6 調査日程

日順	日付	曜日	時間	狐崎教授	作元	三田村	高砂	野口専門家
1	7月25日	木	5:45-7:00PM ( JL012 便 )	日本発 - メキシコ・シティー( MEX )着 団員打合せ				
2	7月26日	金	10:00AM 11:00AM 4:00PM 5:30PM	大使館表敬 メキシコ事務所打合せ 国際協力庁 IMEXCI 表敬 農牧漁業省 SAGARPA 表敬				
3	7月27日	土	10:30AM PM	現地 NGO( REMALC )訪問 資料収集・解読				
4	7月28日	日	10:00AM 4:20-5:40PM ( 6A237 便 )	資料収集・解読 チアパス州トゥストラグティエレス( TGZ )へ移動				
5	7月29日	月	10:00AM 3:55-4:35PM ( 6A237 便 )	チアパス州関係機関合同会議( 州農村開発局 SDR・SAGARPA チアパス支局 ) チアパス州 Tapachula へ移動				
6	7月30日	火	10:00AM 7:00PM	関係機関との打合せ( SDR・SAGARPA Tapachula 地区事務所、FUNDACION、COMCAFE ) ISMAM 視察				
7	7月31日	水	10:00AM 2:30PM	農村調査 1( Tapachula Pavencul ) 農村調査 2( Tapachula Chanjale Salchiji )				
8	8月1日	木	10:00AM 1:00PM 4:00PM	農村調査 3( Tuzantán Rubén Jaramillo ) 農村調査 4( Tuzantán Francisco Sarabia ) 農村調査 5( Tuzantán Tuzantán )				
9	8月2日	金	9:00AM PM	農村調査 6( Suchiate Brisas del Mar ) 団員打合せ・資料整理		MAX 移動 ( 1:40-3:20PM ) ( AM560 便 )	団員打合せ・資料整理	
10	8月3日	土	10:00AM PM	農村調査 7( Acacoyagua Los Cacaos ) 団員打合せ・資料整理		MEX 発 ( 8:55-10:40AM ) ( MX900 便 )- ロス発( 1:00PM )	農村調査 7 ( Acacoyagua Los Cacaos )	
11	8月4日	日	AM PM	TGZ 移動( 7:00-7:40AM ) ( 6A234 便 ) 資料収集・整理		日本着( 4:20PM ) ( JL061 便 )	資料整理	MEX 着( CO1824 便 )
12	8月5日	月	10:30AM MEX 移動 ( 1:50-3:10PM ) ( AM7924 便 ) メキシコ事務所協議 大使館報告 団員打合せ・資料整理	ミニッツ合意 TAP 移動 ( 3:55-4:35PM ) ( 6A237 便 ) 資料整理			現地調査 8 ( Cacahoatán El Aguila ) ( 9:00AM ) 資料整理	IMEXCI 表敬
13	8月6日	火	AM PM	MEX 発( 10:30AM )- 農村調査 9( Unión Juarez San Rafael ) 農村調査 10( Unión Juarez Chiquihuites )			農村調査 9 ( Unión Juarez San Rafael ) ( 9:00AM ) チアパス州 関係機関会議 ( 11:00AM ) 農村調査 10 ( Unión Juarez Chiquihuites ) ( 12:30PM ) ( 6A237 便 )	TGZ 移動 ( 7:00-8:20AM ) ( MX7924 便 ) チアパス州 関係機関会議 ( 11:00AM ) TAP 移動 ( 3:55-4:35PM ) ( 6A237 便 )
14	8月7日	水	9:00AM 11:00AM PM	MDR* サイト視察 1 ( Tuxtla Chico Manuel Lazos ) サイト視察 2 ( Tapachula 21 de Marzo ) 日本着( 4:50PM ) ( JL011 便 )			MDR サイト視察 1 ( Tuxtla Chico Manuel Lazos ) サイト視察 2( Tapachula 21 de Marzo ) C/P との打合せ ( 5 地選定 ) ( 4:00PM )	
15	8月8日	木	10:00AM 4:00PM	関係機関合同会議 C/P・普及員対象 PCM セミナー			関係機関合同会議 C/P・普及員対象セミナー	
16	8月9日	金	9:30AM PM	団員打合せ・資料整理 MEX 移動( 1:40-3:20 PM ) ( AM560 便 ) 事務所報告( 5:00PM )			団員打合せ・資料整理 MEX 移動( 1:40-3:20PM ) ( AM560 便 ) 事務所報告	資料整理
17	8月10日	土		MEX 発( 8:55-10:40 AM )- ロス発( 1:00PM )			MEX 発 ( 8:55-10:40AM ) ロス発( 1:00PM )	農村調査 ワークショップ 1 ( Los Cacaos )
18	8月11日	日		日本着( 4:20PM ) ( JL061 便 )			日本着( 4:20PM ) ( JL061 便 )	農村調査 ワークショップ 1 ( Los Cacaos )

\*Programa de Mujeres en Desarrollo Rural



## 1 - 7 主要面会者

### 主要面会者リスト

#### メキシコ側

##### 外務省国際協力庁( IMEXCI )

Cristina Ruiz Ruiz	国内事業部長
Verónica Zamora Aguilar	国内事業部コーディネーター

##### 農牧漁業省( SAGARPA )

##### メキシコシティ

Dr. Víctor Manuel Villalobos Arámbula	国際局次官
Juán Bernardo Orozco Sánchez	国際協力局

##### チアパス州

David Corzo Castillejos	州支局長
Jorge Ventura	州支局次長
Eulalio Fernández Bello	タパチュラ地区長
Juán Hernández Colloy	タパチュラ地区農業技術者

##### チアパス州政府

##### 農村開発局( SDR )

Ruben F.Velázquez López	局 長
Walter López Báez	コーディネーター
Hernan López López	農村普及ディレクター
Sergio Sánchez	農村開発プログラムコーディネーター
Jaime Carrillo Encizo	技術ユニットコーディネーター
Miguel Coutiño	技術ユニット( 助言・能力向上 )
Calorina Gutiérrez Velázquez	技術ユニット
Rogelto J. Méndez	農村投資執行部
Alvaro Zenteno Paníagua	タパチュラ地区長
Edilse Arena Monzón	タパチュラ地区
Axel Geronimo Cruz	タパチュラ地区

##### 社会開発局( SDS )

Grocelia Galvez G.	代 表
--------------------	-----

##### チアパス生産者基金( FUNDACION )

Martha Noemí Zapata	会 長( チアパス州 )
Carlos Renováles Villa	代 表

Vicente F. González Rodríguez 運転手

メキシコ・コーヒー委員会( COMCAFE )

Bruno Román Trujillo Tórréz 地域代表

チアパス自治大学( UNACH )

Gilberto Yong Angel 教授

ISMAM

Raul de León Cruz 代表

RMALC( Red Mexicana de Acción Frente al Libre Comercio )

Gabriela Rangel Faz 代表

ムニシピオ政府

Valentino Antonio P. アカコヤグア市長

Ciro Salez Ruiz アカコヤグア市法律顧問

Isabel Mérida Fernández タパチュラ評議員

Isai Garcia Trajillo タパチュラ第二評議員

Segundo Vearún タパチュラ市役所顧問コーディネーター

Alejandro Tazoaza Carnejo タパチュラ市役所経済開発コーディネーター

Carlos Villanueva Espinosa トゥサンタン市役所農牧業促進部

Hortensia M. Rios de Mudy ユニオン・ファレス市第五評議員

日本側

駐墨日本大使館

田中 豪一 一等書記官

石川 浩 二等書記官

JICA メキシコ事務所

河合 恒二 所長

桜井 英充 次長

宮崎 明博 所員

有木 香織 企画調査員

菅谷 茂之 協力隊調整員

太田 智 通訳

## 2. 協力対象分野の現状

### 2 - 1 メキシコの地域間・貧富の格差の現状

メキシコは1993年にAPEC加盟、1994年にNAFTA発効、OECD加盟(中南米で最初)を実現、前セディーヨ政権下では、各国との自由貿易協定締結<sup>1</sup>の促進、地方分権化政策の積極的な推進の結果、民間消費の拡大、マキラドーラ(輸出加工区)を中心に主に米国向けの自動車産業・電気電子産業等の工業製品の輸出の増加により、1996年以降5年連続の経済成長を達成している(年平均経済成長率5.5%)。所得水準は比較的高く{1人当たりの国民総所得(Gross National Income : GNI)は5,540USドル(2001)(World Development Indicators database, April 2002)}、人間開発指数は54位(UNDP人間開発報告書2002)と中位国として位置づけられており、文字どおり中南米のリーダー国である。

しかしながら、こうした経済の近代化とグローバル化の積極的な推進によりもたらされた経済上のメリットは、平等に分配されておらず、最富裕層10%が国内の富の41.7%を手にする一方で、最貧層10%は1.3%の富しか得ていない(UNDP人間開発報告書2002)。また、1990年代に全く賃金を得ていない経済活動人口(Población Económicamente Activa : PEA)<sup>2</sup>の割合は7.2%から10.1%に増加し、第2、第3次産業で働く経済活動人口の約28.5%はいわゆるインフォーマル・セクターに従事している。

国内の貧富の差は、特に都市と農村において顕著であり、また中部・北部地域と南部地域の格差はさらに拡大する形となってきた。1995～2000年の州別の1人当たりの年平均GDP成長率(図2-1参照)を見ると、現在の自由貿易体制下で最も恩恵を受けたのは、マキラドーラが集中する米国国境地帯や米国向け農産物の生産地である北部諸州(チワワ、ヌエボ・レオンの2州の1人当たりの年平均GDP成長率は4.6%以上)であり、国内消費向けの農産物を生産する零細農民(特に先住民族)の多い南部諸州(ゲレロ、オアハカ、ヴェラクルス・リャヴェ、タバスコ、チアパス、カンペチェ、キンタナ・ローの7州の1人当たりの年平均GDP成長率は0～1.5%)はほとんど恩恵を受けていないことは明らかである。

<sup>1</sup> 2001年末までに32か国と締結。

<sup>2</sup> 国立統計地理情報院(INEGI)の定義によると「参照された週に雇用されている(ocupado)又は失業している(desocupado)ことが確認された12歳以上の人口」。「雇用人口(población ocupada)」の定義は、「給料、賃金(手当て)、日給、又はお金が現物によるその他の支払いと引き替えに、参照された週に、少なくとも1時間は経済活動を行った12歳以上の人口」となっており、これには以下の人口も含まれる。「職をもつものの、参照された週に、働き口との関係を失うことなく、何らかの一時的な理由、例えば、休暇、出産/育児、病気、悪天候による休暇、もしくは農業労働を開始しよう又は続けようとする待機していたためなどにより、仕事をしなかった人口」、「報酬なしで働く見習い又はヘルパーのように、所有地、工場、店、家庭の仕事場でいかなる類の給料、賃金(手当て)も得ずに手伝いをした人口」。

この20年間を通しての1人当たりの年平均GDP成長率は0.1%に過ぎず、先頃社会開発省により新たに設定された「貧困」基準によると、2000年時点での、貧困ライン以下の国民の総人口に占める割合は53.7%、総所帯層に占める割合は45.9%となっている。「貧困」は1人当たりの1日の所得を基準に定義され、都市部住民の場合1人当たりの1日の所得が41.8ペソ以下の者、農村部住民の場合28.1ペソ以下の者が「貧困者」と見なされる。

さらに「貧困」のカテゴリーは、「貧困」「重度貧困」「極貧」と3つに分けられ、INEGIの統計との照合により算出されたカテゴリーごとの「貧困者」数の割合、基準所得及び各カテゴリーの概念は以下のとおりである。

	人口割合	所帯数割合	基準所得：都市部・農村部所得	概念
貧困 (pobreza de patrimonio)	53.7%	45.9%	・ 41.8ペソ = 4.5USドル/日以下 ・ 28.1ペソ = 3USドル以下	必要最低限の食糧、医療、教育、衣服、靴、住宅、公共の交通手段、又はその他の財・サービスを得ることができない状態。
重度貧困 (pobreza de capacidades)	31.9%	25.3%	・ 24.7ペソ = 2.7USドル/日以下 ・ 18.9ペソ = 2USドル以下	必要最低限の食糧、医療、教育を得ることができない状態。
極貧 (pobreza alimentaria)	24.2%	18.6%	・ 20.9ペソ = 2.2USドル/日 ・ 15.4ペソ = 1.7USドル以下	必要最低限の食糧を得ることができない状態。

前セディーヨ政権時代には貧困者数は4,000万人といわれ、単純にこの数字と比較すると貧困が格段に増えた感があるが、これは貧困に関する基準値が変更されたためである。専門家によると、新基準値を元に過去の「貧困者」を試算すると次のとおりである。

1992年：5,260万人(極貧：2,250万人)：サリナス政権

1994年：5,560万人(極貧：2,110万人)：セディーヨ政権発足

1996年：6,960万人(1994年末以降の経済危機の影響による)

1998年：6,390万人

2000年：5,370万人(極貧：2,420万人)：フォックス政権発足

これを見ると、2000年度の「貧困者」数は経済危機の影響を受けた1996、1998年に比べて減ったものの、やはり1992年に比べると「貧困者」「極貧者」数は増えており、貧困の度合いは増していることが分かる。

また、社会開発省は、別途、世界各国の貧困の度合いを比較する際に広く用いられている「1人当たりの所得が1日1USドル以下」「2USドル以下」の2つの基準によるデータも併せて算出している。それによると、メキシコにおける1日1USドル以下の「極貧」層の全人口に占める割合は15.9%であり、1日2USドル以下の「重度貧困」層は全人口の39%にのぼる。貧困軽減を通じた南北の地域格差の是正が同国でも最も重要な開発課題となっている所以である。

加えて、メキシコでは地域格差の測定のために「マージナリティ(marginación)」という合成指標

を使用している。このマージナリティの度合いは以下の9つの指標の総合評価、指数化に基づき、5つのカテゴリー(非常に高い、高い、中位、低い、非常に低い)に分類し、州・ムニシピオごとの疎外度、地域格差を測定している。教育(15歳以上の非識字率・非初等教育終了者率)、住宅(上下水道設備・電気のない・土床の家屋の居住者率、1部屋当たりの構成員が一定以上の家屋率)、人口分布(人口5,000人以下の地区の居住者率)、所得(最低賃金の2倍以下の所得者率)。

2000年度の州別のマージナリティ(表2-1、図2-2参照)を見ると、全国レベルでは北部のマージナリティが比較的強く、先住民族の多い南部でマージナリティが非常に高くなっているのが分かる。マージナリティが「非常に高い」及び「高い」カテゴリーに属するムニシピオは全国で1,212あり、このうち実に88%にあたる707のムニシピオは先住民族の人口比が高いムニシピオとなっている(先住民族の人口比が高いムニシピオでマージナリティが非常に低いムニシピオは3つのみ)。国内でマージナリティが最も高いのはチアパス州で、次いでゲレロ州、オアハカ州、ヴェラクルスーリャヴェ州と続く。これら4州は特に先住民族の人口比の高い州であり<sup>3</sup>、各州におけるマージナリティが「非常に高い」及び「高い」カテゴリーに属するムニシピオの割合は90%以上<sup>4</sup>(オアハカのみ89%と90%以下)となっている(図2-3参照)。

## 2-2 ジェンダーによる格差

メキシコではカトリック信仰に根差した男性性の優位を唱えるマチスモ、無条件の慈愛と寛容を象徴するマリアニスモという伝統的価値観が支配的で、女性が長く政治的・社会的に低い地位に置かれてきた。しかしながら、メキシコの近代化、経済発展が進むなかで、女性をとりまく状況も大きく変化した。以下に、特に重要と思われる男女平等に向けての国内法の改正、専門機関の設置、国際社会の歴史的な取り組み等をまとめる。

<sup>3</sup> 各州の先住民族の人口比は、24.6%(チアパス)、13.9%(ゲレロ)、37.1%(オアハカ)、10.4%(ヴェラクルスーリャヴェ)である。

<sup>4</sup> 各州におけるマージナリティが「非常に高い」及び「高い」カテゴリーに属するムニシピオの割合は、97%(チアパス)、100%(ゲレロ)、93%(ヴェラクルスーリャヴェ)である。



西 暦	事 項
1974 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 憲法修正 - 男女平等法の制定</li> <li>・ 民法・労働法の改正 - 家庭、職業選択における男女平等の原則の確立、女性の経済参画の推進</li> <li>・ 第1回国連人口会議開催</li> <li>・ 「人口に関する一般法」の制定 - 人口の抑制と調整を目的とする。人口調整手段として健康を害することのない避妊法の合法化</li> <li>・ 国家人口審議会( CONAPO )の設置</li> </ul>
1975 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連主催による「国際女性の10年」の第1回国際女性会議のメキシコ市での開催 - これに併せ、政府による「国際女性年国家計画」の作成及び積極的な女性政策への取り組み開始</li> </ul>
1979 年	国連での「女性差別撤廃条約」の採択
1980 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回国際女性会議開催( コペンハーゲン )</li> <li>・ CONAPO 内に女性対象の諸政策の調整機関 PRONAM( Coordinación del Programa Nacional de la Mujer )の設置</li> </ul>
1981 年	メキシコ連邦議会による「国連女性差別撤廃条約」の批准
1983 年	CONAPO 内に女性情報センター( Centro de Documentación e Informática para la Mujer )設置
1984 年	第2回国連人口会議のメキシコ市での開催
1985 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回国際女性会議開催( ナイロビ )</li> <li>・ CONAPO 内に国家女性審議会( Comisión Nacional de la Mujer )設置</li> </ul>
1993 年	国家人権委員会( CNDH )の創設・「女性問題プログラム( Programa de Integración de la Mujer al Desarrollo : PINMUDE )」の設置
1994 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回国際人口会議開催( カイロ )</li> <li>・ 「性的暴力の犠牲者のための総合的支援プログラム局」の設置</li> </ul>
1995 年	第4回国際女性会議開催( 北京 )
1996 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内務省内に国家女性プログラム( PRONAM )設置( 1980年に設置された PRONAMとは無関係 )</li> <li>・ 「国家女性プログラム 1995 - 2000」発表 - 経済、破壊、政治、文化活動における女性の完全かつ有効な参加促進を目的とする</li> </ul>
1998 年	連邦議会下院に「平等とジェンダー委員会」の設置

以上の結果として、1970年から2000年までに、女性を巡る状況にはめざましい改善が見られた。具体的なデータは以下のとおり{CONAPOの「Situación Actual de la Mujer en México - Diagnóstico Sociodemográfico」(2000)、INEGIの「Mujeres y Hombres 2002」、チアパス州の社会開発省(SDS)による「Desarrollo Social en Cifras」(2001)、UNDP人間開発報告書2000(2000)に基づく}。

	1970 年	2000 年
平均寿命	62 歳	77.6 歳
女性が一生涯に出産する子供の数(多産率)	6.9 人 <sup>5</sup>	2.9 人
乳児死亡率	79 人 / 1,000 人	25 人 / 1,000 人
妊産婦死亡率	9.5 人 <sup>6</sup> / 1 万人(1980 年のデータ)	5.3 人 / 1 万人
6 ~ 14 歳 <sup>7</sup> の学校に通う生徒の割合	63.3%	91.0%
15 歳以上 <sup>8</sup> の人口の平均就学年数	3.2 年	7.1 年
15 歳以上の教育を受けていない者の割合	35.0%	11.6%
15 歳以上の非識字率	29.6%	11.3%
経済活動人口の割合	17.6%	36.4%

しかしながら、ジェンダーの観点から見ると、伝統的な規範に基づき、家庭で家事・育児に従事する女性が大半で、女性の経済活動への参加は依然として限定されている。背後には教育における男女の不平等問題があり、このため女性の労働市場へのアクセス状況は男性に比べて困難な状況にある。とりわけ農村の女性は都市の女性と比べて貧困、マージナリティの度合いが高く、厳しい状況にある。ジェンダーに関する具体的な種々のデータ(特に明記されていない限り INEGI の「Mujeres y Hombres 2002」に基づく 2000 年度のデータ)及び分析を以下に述べる。

#### (教 育)

男女の教育に関する基礎的なデータを表にまとめると以下のとおりである。

	女 性	男 性
6 ~ 14 歳の生徒の割合	91.0%	91.6%
8 ~ 14 歳の読み書きができない児童の割合	4.2%	4.8%
15 歳以上の平均就学年数	7.6 年	7.1 年
15 歳以上の教育を受けていない者の割合	11.6%	8.7%
15 歳以上の非識字率	11.3%	7.4%

上表から分かるように、6 ~ 14 歳の生徒の割合は、男子の方が女子よりもわずかながら高くなっているが、8 ~ 14 歳の読み書きができない児童の割合においても、男子の方が女子よりもわずかながら高い数値を示している。これに対し、15 歳以上になると、男性よりも女性の非識字者の割合が 3.9% 高くなっており、男女の立場が逆転している。8 ~ 14 歳の読み書きができない児童の割合における男女格差(-0.6%)と 15 歳以上の非識字率の男女格差(3.9%)を比べると、

<sup>5</sup> CONAPO「Situación Actual de la Mujer en México-Diagnóstico Sociodemográfico 2000」による推定

<sup>6</sup> 同上による推定

<sup>7</sup> 6 年間の初等、3 年間の中等教育を含む基礎(義務)教育学齡。1993 年に連邦教育法の改正、一般教育法の制定により、義務教育は 6 年から 9 年に延長された。新たに加えられた第 32 条では教育の機会均等の確保がうたわれている。

<sup>8</sup> メキシコでは、15 歳以上の義務教育を終了していない成人を対象に、成人教育が行われている。

実に7.5倍の開きがあり、メキシコでは特に15歳以上の女性の教育普及に遅れがみられることが分かる。事実、15歳以上の平均修学年数において、女性よりも男性は男性の方が半年とわずかながらではあるが長くなっており、この差は1970年以来縮まっていない。

( 経 済 )

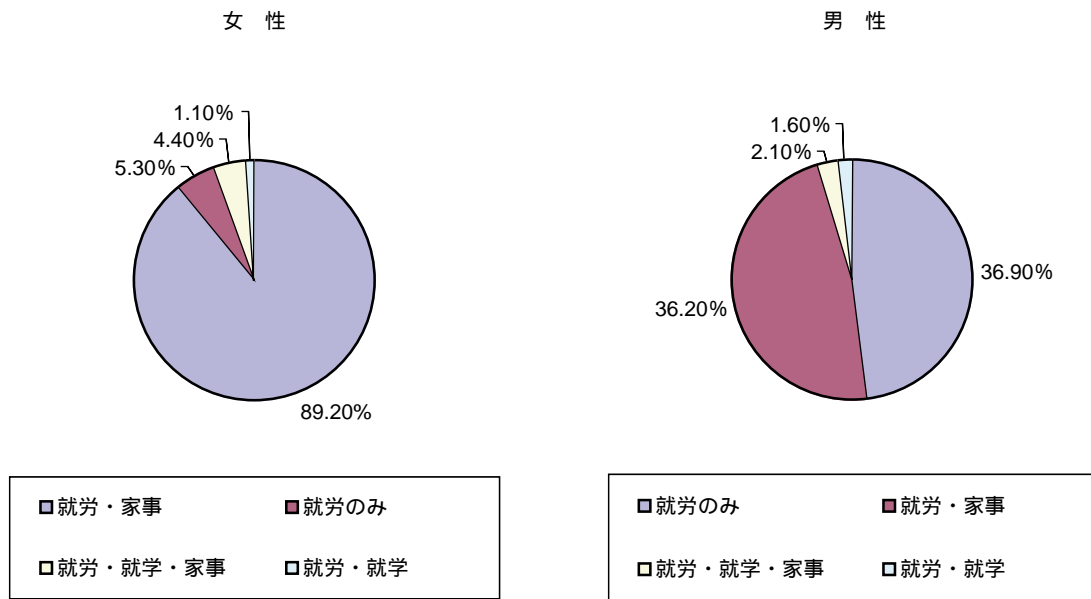
12歳以上の人口の活動状況は以下のとおり。

活動状況と活動のタイプ	総 合	女性(%)	男性(%)
12歳以上の人口	71,191,339	37,235,236 ( 52.3% )	33,956,103 ( 47.7% )
・経済活動人口	39,633,842	13,560,322 ( 36.4% )	26,073,520 ( 76.8% )
就労( trabajo extradoméstico )のみ	13,236,609	717,096 ( 1.9% )	12,519,513 ( 36.9% )
就労・就学	694,383	143,101 ( 0.4% )	551,282 ( 2.1% )
就労・家事	24,398,631	12,099,650 ( 32.5% )	12,298,981 ( 47.2% )
就労・就学・家事	1,304,219	600,475 ( 1.6% )	703,744 ( 2.7% )
・非経済活動人口	31,557,497	23,674,914 ( 63.6% )	7,882,583 ( 23.2% )
就学のみ	2,342,214	796,630 ( 2.1% )	1,545,584 ( 4.6% )
家事のみ	19,270,583	17,631,480 ( 47.4% )	1,639,103 ( 4.8% )
就学・家事	8,533,507	4,902,754 ( 13.2% )	3,630,753 ( 10.7% )
その他の活動	1,411,193	344,050 ( 0.9% )	1,411,193 ( 3.1% )

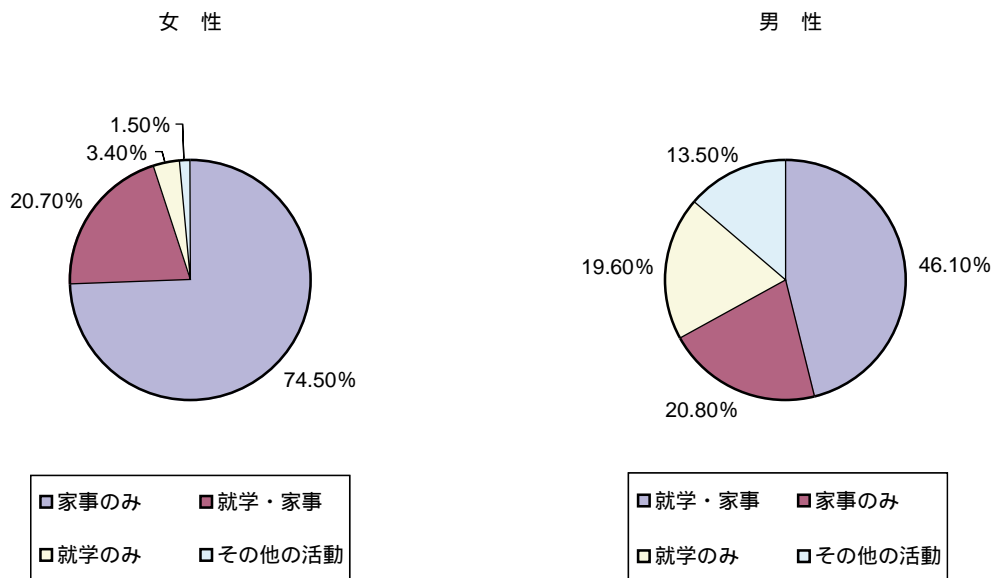
上表より明らかのように、女性の経済活動人口の割合は36.4%であるのに対し、男性の同人口の割合は76.8%と2倍以上の格差がある。逆に非経済人口の割合は、女性は63.6%と男性の約3倍である。さらに、女性の場合、全く報酬を得ずに家事のみに従事する者の割合が47.4%と最も高くなっているが、男性の場合は、家事のみに専念する者の割合は、わずかに4.8%である。一方、就業者の割合は男性では36.9%と全活動項目のなかで2番目に高くなっているが、女性の場合、1.9%と極端に低くなっている。

次に、男女の活動状況の特徴、相違点をより詳細に把握するために、経済活動人口、非経済活動人口別に男女の活動状況をまとめたものが以下の図である。

## 経済活動人口



## 非経済活動人口

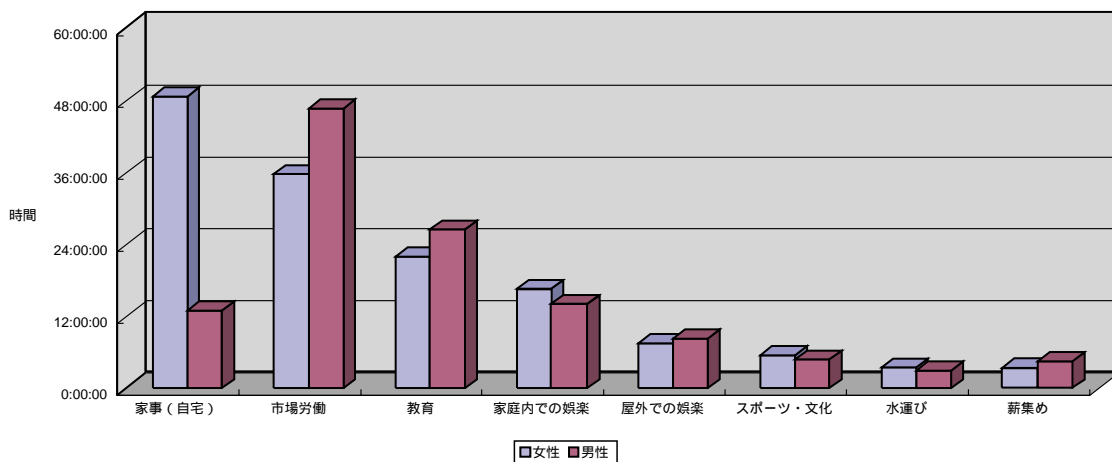


上図から明らかのように、経済活動人口においては、女性の場合、就業と家事を両立させている女性の割合が最も多く、全体の約9割を占めるのに対し、男性の場合は、就業者の割合が36.9%と最も多くなっている。就労かつ家事も行う男性の割合は、36.2%と2番目に多く

なっているが、同女性の占める割合との格差は2.5倍以上である。逆に女性の場合、就業者の割合はわずかに5.3%で、男女格差は7倍以上にのぼる。

次に非経済活動人口に関してみると、女性の場合、家事のみに従事する者の割合が74.5%と最も高くなっているが、男性の場合、家事のみの従事者は20.8%であり、男女格差は3.7倍である。男性の場合、最も多いのは就学と家事の両方を行っている者で、46.1%と約半数を占めるが、女性の場合、同者の割合は20.7%と男性の2分の1以下である。また、勉学のみを行う男性の割合は19.6%であるのに対し、勉学に専念している女性の割合はわずかに3.4%と、男女格差は6倍以上である。女性は、男性に比べて勉学に専念するのが極めて困難な状況にあるといえる。

20歳以上の男女の日常生活における家事、労働市場への参加の度合い(1996)を見てみると、女性の93.6%、男性の41.9%が家事に、女性の38.7%、男性の90.4%が労働市場に参加している。さらに詳しく男女の1週間の平均活動時間数を主要活動項目別に見ると以下のとおりである。

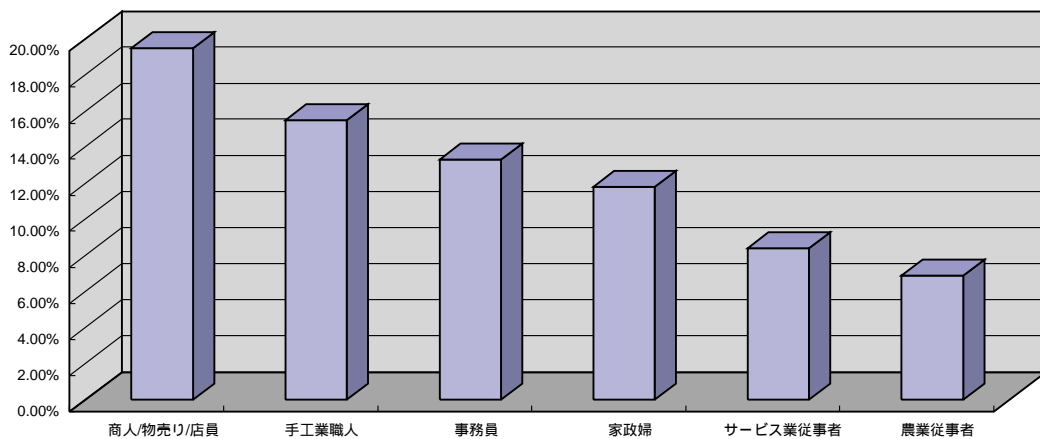


女性の主要活動の第1位は家事であり、労働時間は1週間に平均48時間45分となっており、男性の場合は女性の約4分の1の13時間となっている。一方、男性の主要活動の第1位は市場労働であり、労働時間は1週間に平均46時間45分となっており、女性の場合は35時間45分で、女性の主要活動の第2位を占めている。近年の経済発展の過程において、家事に参加する男性、経済活動に従事する女性の割合・従事時間は共に増加したと思われるが、これを見ると明らかのように、依然として大多数は「男性は労働者(屋外)、女性は主婦」という伝統的な役割を担っているといえる。

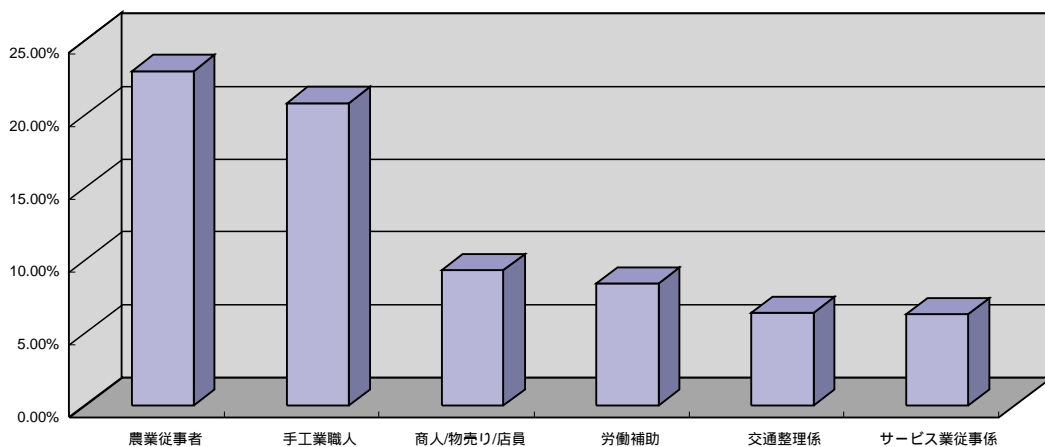
経済活動分野別の労働人口の割合を見ると、女性の場合、サービス業従事者の割合が40.7

%と最も高く、以下、通信・交通(24.2%)、工業/加工/電気(21.6%)、農牧業(7.2%)と続いている。男性の場合は、農牧業(23.7%)、サービス業(21.9%)、工業(19.5%)、通信・交通(14.1%)の順に従事者が多くなっている。さらに詳しく、従事者の割合の高い順に第6位までの職種について見ると以下のとおりである。

女性



男性

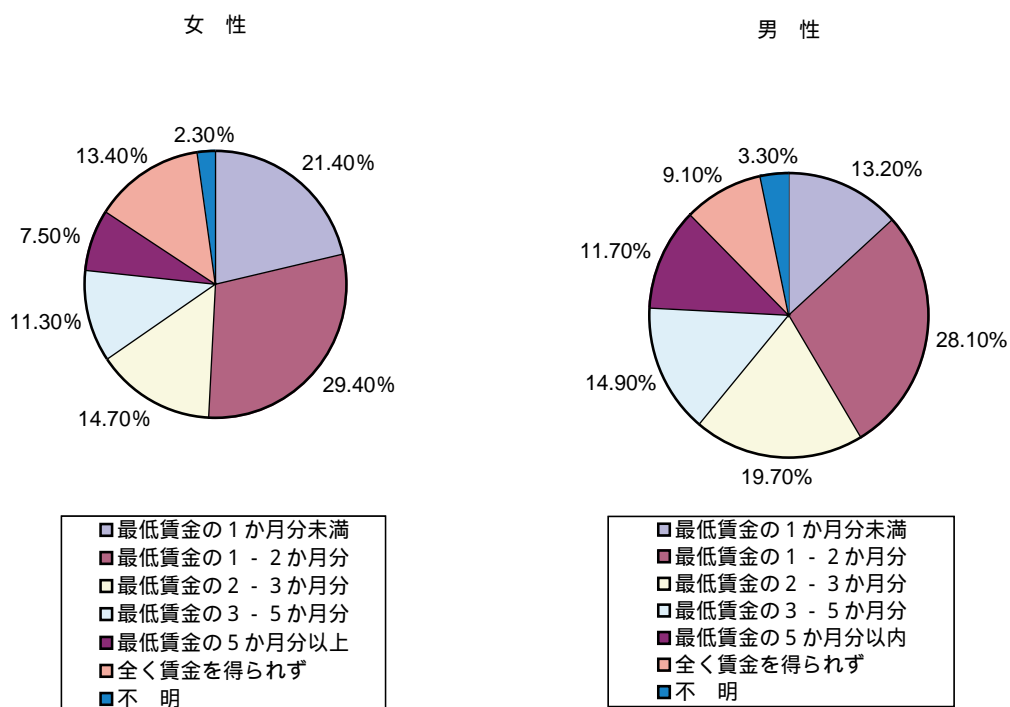


女性の場合、商人/物売り/店員(19.5%)、手工業職人(15.5%)、事務員(13.3%)、家政婦(11.8%)の順に従事者が多くなっており、男性の場合は農業従事者(23%)、手工業職人(20.8%)、商人/物売り/店員(9.3%)となっている。男女共におおむね性別に基づく伝統的な職業区分に従っているといえる。また、商業等の第3次産業における女性の自営業従事者の近年の拡大は、わずかな資本と技術しか必要としない小規模の家内経済ユニットの拡大と密接に関係している。

男女の人口比を見ると、総人口 9,748 万 3,412 人のうち、女性が 51.2%( 4,989 万 1,159 人 )、男性が 48.8%( 4,759 万 2,253 人 )となっておりわずかに女性人口が多いが、失業率( 1997 年度 )は、女性は 6.3%、男性は 2.2%となっており、男女格差は約 3 倍で、女性は労働市場へのアクセスが限られており、失業により多くの被害を受けていることが分かる。貧困の問題も深刻で、メキシコで極貧生活にある人々の 60%以上が女性であるといわれている。実際、家庭の月別の所得平均を見ると、世帯主が女性の場合は 4,658 ペソ、男性の場合は 6,470 ペソと、女性が世帯主の場合、男性が世帯主の場合よりも 1,812 ペソ( 約 3 割 )少なくなっている。

また、特に 1990 年より、女性が世帯主である家庭の増加が顕著であり、全体の 20.6%すなわち 470 万の家庭において女性が世帯主である。こうした家庭の女性は世帯主として現金収入の獲得、育児の必要性から生じるコンフリクトに直面することが多く、労働市場へのアクセスに左右される極度にブルネラブルな立場にある。事実、女性の経済活動人口の大多数は離婚者( 74.7% )か別居者( 65.6% )で、内縁関係にある / 同棲中の女性及び既婚者の場合、経済活動に従事する割合は低くなっている( 各々の割合は 32.7%、32.0% )。

男女別の雇用人口の賃金を見ると、以下のとおりである。



上図から明らかのように、男女共に最低賃金の 1 ~ 2 か月分に相当する給与獲得者の割合が、各々 29.4%、28.1%と最も多くなっている。しかしながら、女性の場合、全く賃金を得ていない者と 1 か月の最低賃金( 1,054 ペソ )に満たない額を得ている者の割合を併せると 44.8%

と全体の約半数にのぼるのに対し、男性の場合、その割合は22.3%となり、全体の4分の1以下である。男性と比べて低い賃金しか得られない女性が多く存在することが分かる。これは、男性と全く同じ職場で同様の資格をもち、同時間働いている女性の場合にも当てはまり、主要な職業で比較した場合、男性に比べて女性の賃金は平均で14.4%程低くなっており、特に女性の従事者の多い手工業者/職人(-31.8%)、商人/物売り(-30.9%)で男女の格差が大きく、賃金面での女性に対する不平等が著しくなっている。

(農村の女性)

農村女性と都市の女性のデータを比較すると、以下のとおりである。

	農村*女性	都市女性
総人口に占める割合	25%	75%
平均寿命(1995)	69.5歳	72.7歳
多産率(1996)	3.5人	2.3人
6～14歳の生徒の割合	87.3%	I)90.2% II)92.7% III)95.0%
8～14歳までの読み書きのできない児童の割合	8.2%	I)4.5% II)2.5% III)1.6%
15歳以上の平均修学年数	4.6年	I)6.3年 II)7.5年 III)8.8年
15歳以上の教育を受けていない者の割合	20.5%	I)13.5% II)8.9% III)5.0%
15歳以上の非識字率	24.8%	I)15.8% II)9.5% III)4.9%
家庭の平均月収**	1,981ペソ(男性は2,771ペソ)	5,239ペソ(男性は7,640ペソ)
劣悪な住居***の割合**	27.2%	3.6%
上水道の普及率**	62.2%	92.8%
下水道の普及率**	31.4%	88.9%
トイレの普及率**	67.5%	95.8%

I)人口2,500～1万4,999人の都市、II)1万5,000～9万9,999人の都市、III)1万人以上の都市

\* 農村の定義は人口2,500人以下。

\*\* 家長が女性である家庭のデータ。

\*\*\* 耐久建築資材が不足している住居の意。床は土で、木、葦、竹、椰子、泥/土、金属/石灰片、スクラップ用品、ボール紙等で、壁、屋根が作られた住居を指す。

上図より、都市女性に比べると、平均寿命、就学年数共に3歳以上短く、教育普及度も低く、平均月収も少なく(5分の2以下)、住居・保健衛生設備も十分ではない状況下で生活している農村女性の姿が浮かび上がってくる。また、家庭の平均月収を職業別に見ると、特に農業に従事する女性の平均月収が590ペソ(男性1,428ペソ)と最も低く、農村女性の平均月収の3分の1以下である。メキシコにおいて農村女性、とりわけ農業に従事する女性が厳しい貧困状態に置かれていることが明らかである。



## 2 - 2 チアパス州の貧困・農業の現状

### 2 - 2 - 1 チアパス州の自然地理と農業の現状

メキシコでは、農業セクターの就業人口は全経済人口の約4分の1であるにもかかわらず、GDPに占める割合は4.4%(2000)と極めて低い。しかも農産物の生産量は近年停滞傾向にあり、人口増加に追いつかず、トウモロコシ、小麦等の基本食糧の輸入依存度も高水準である。背景には、1988年以來の政府のマクロ経済改革政策推進があり、政府はNAFTA・GATTの発効に伴い、農産物生産(トウモロコシ小麦を含む主要農産物12品目)に関する政府支持価格の廃止、食糧及び綿花に対する関税の2015年までの段階的な撤廃、といった農業セクターの改革を実施している。

その一方、政府は1992年エヒード(共同的土地所有)制関連の憲法・行政法規を改正し、エヒード農家の土地所有権、土地工作権の賃貸・売買を認め、農業生産性向上と競争力強化を課題とする「全国農牧業開発計画1995～2000」に基づき、農家への公共投資を行う「アリアンサ・パラ・エル・カンポ(農業のための連帯)」プログラムを実施している。また、1994年から農業セクターの保護削減に伴う農家収入の補填プログラム(PROCAMPO)を導入、2009年まで実施される。

チアパス州は、メキシコの南東部、グアテマラとの国境に位置し、総面積7万5,634ha(国土の3.8%)と全国(31州・1連邦特別区)で8番目に大きな州で、9経済地域、119のムニシピオからなる(図2-4参照)。同州は南北回帰線ベルト上にあり、自然地理学上8つの異なるタイプ(図2-5参照)に分けられる、その起伏に富んだ地形、域内の気候の多様性(6タイプ-図2-6参照)、多大な水資源をもつことから、世界的にも多様な生態系と豊かな天然資源に恵まれた地帯の一つである。植生を見ると、セルバ(密林/深い森):34.56%、森林:29.1%、牧草地:16.9%、農業用地:15.8%、マングローブ:1.8%、ポパル:0.5%、その他:1.4%となっており、実に総面積の60%以上が森林である。こうした背景から、チアパス州は農業を含む経済活動の多様化による経済開発の高い可能性をもつものの、国内で最も開発の遅れた州となっている。

同州の経済は第1次産業の農林水産業に大きく依存し、地域総生産に占める割合は15.8%(1999)〔農作物と畜産の生産額に占める割合は約8対1〕と、全国平均の2.7倍と非常に高くなっている。州の経済活動人口の約半数の47.3%(2000)がこのセクターに依存し、第2次産業(鉱業、電気・水、建築、製造業)、第3次産業(商業・サービス)の経済人口の割合は各々13.2%、37.3%となっている。農業生産は、作付け/収穫面積で見ると、トウモロコシ(6割強)、コーヒー(約16%)、フリホール豆(約9%)の3つの主要生産物が総面積の約9割を占めるが、生産額ではトウモロコシ(31%)、コーヒー(22.5%)、バナナ(17.3%)、マンゴー(6.9%)、サトウキビ(6.2%)、フリホール豆(4.3%)の順に高くなっている。近年、主要農産物のトウモロコシ、コーヒーの国際価格の下落が農業セクターの大きな懸念事項となっている。

## 2 - 2 - 2 チアパス州の貧困・マージナリティ、ジェンダー格差

チアパス州の貧困指数、マージナリティの度合いは全国で最も高い。基礎的なデータ(特に明記されていない限り 2000 年度のデータ)は以下のとおり{INEGI の「Anuario Estadístico del Estado de Chiapas」(2001)とチアパス州の SDS による「Desarrollo Social en Cifras」(2001)に基づく}。

項目	データ
1人当たりの GDP(1999)	6,122.6 ペソ
1か月分の最低賃金以下で生活する州民の人口比率	34.8%
全く賃金を得ていない州民の比率	23.6%
先住民の比率	25%
非識字率	22.9%
極度の栄養失調状態にある州民の比率(ムニシピオの比率)	41.4%(54%)
重度の栄養失調状態にある州民の比率(ムニシピオの比率)	32.2%(32.4%)

以上のように、チアパス州の1人当たりの GDP は全国平均の約 43%に過ぎず、州民の半数以上が1か月分の最低賃金以下(全く賃金を得ていない州民を含む)の生活を余儀なくされている。2000年の段階で、州内の実に 93.1%のムニシピオがマージナリティが非常に高い(37.6%)又は高い(55.6%)というカテゴリーに分類されており(1995年の3割増)(図 2 - 7 参照)、別添「表 2 - 1 2000 年度のメキシコの州別のマージナリティ」にあるように、教育水準が国内で最も低く、家屋、保健衛生施設の整備の面でも大きな遅れが見られる。また、栄養失調の問題は同国ではオハアカ州に次いで深刻である。加えて、1994年のサパティスタ民族解放軍(EZLN)の武装蜂起以降治安問題が継続している<sup>9</sup>。

以後、チアパスの州の貧困・マージナリティの度合いの高さについてより詳しくかつジェンダー格差を見るために、保健、教育、経済分野での具体的なデータ(特に明記されていない限り 2000 年度のデータ)を以下にあげる{INEGI の「Mujeres y Hombres 2002」(2002)、チアパス州の SDS による「Desarrollo Social en Cifras」(2001)}。

<sup>9</sup> 2001年8月にフォックス新政権はEZLNの主張を取り入れた憲法改正を行ったが、EZLN側は同改正が自らの主張を反映する物ではないとして政府との対話を拒絶している。2002年2月には同組織による誘拐・殺傷事件が起こったとの報道がなされている。

(保 健)

具体的なデータを表にまとめると以下のとおりである。

	国平均	チアパス州
多産率	2.9人	3.5人
避妊方法を知らない出産年齢にある女性(15～49歳)の割合(1997)	3.4%	12.8%
危険度の高い妊婦の割合	データなし (最も低いのはメキシコ州の2%)	31.5%
医師(男)の立ち会いによる出産の割合(1999)	74.9%	24%
看護師(女)又は産婆の立ち会いによる出産の割合(1999)	20.1%	63.5%
病院・国立クリニックでの出産の割合(1999)	57.7%	19.3%
病院・私立クリニックでの出産の割合(1999)	17.1%	4.5%
自宅での出産の割合(1999)	19.9%	63.6%
医療サービスの利用者	女性：96.7% 男性：96%	女性：92.1% 男性：91.4%
平均寿命	女性：77.6歳 男性：73.1歳 国平均：75.3歳	女性：74.8歳 男性：70歳 州平均：72.4歳

上表のように、チアパス州の多産率は国平均よりも高く、国内では、ゲレロ州、プエブラ州(共に3.0人)に次いで3番目に高い数値となっている。背後には避妊の普及率の低さがあり、同州の出産年齢にありながら避妊方法を知らない女性の割合は12.8%と国平均の約4倍であり、オアハカ州(13.7%)に次いで2番目に高くなっている。また、同州の危険度の高い妊婦の割合は31.5%と国内で最も高く、女性の出産に多大な危険が伴うことが分かる。

その原因は不十分な医療サービス体制にあり、出産の際の看護師(女)又は産婆の介助率は同州では63.5%と国内で最も高く、医師(男)による介助率は24%と国内で最も低く、実に国平均の3分の1以下である。他州と比較しても、出産の際の医師(男)の介助率の低さ、看護師(女)・産婆の介助率の高さは際立っており、2位のオアハカ州でも各々45.8%、50%となっている。しかも同州では、病院・クリニック(公/私立とも)での出産率が国内で最も低く、自宅出産率が63.6%と極めて高くなっている。ちなみに第2位はゲレロ州で各々33%、13.8%、49.4%。また、同州では医療サービス利用者の割合も全国で最も低くなっており、全国平均との差は、女性、男性各々4.6%、3.9%となっている。

こうした医療面でのサービス・アクセスの悪さから、同州での平均寿命は男女とも国平均よりも3歳も短くなっている。これは同国で最も低い数字である。

( 教 育 )

	国平均	チアパス州
6～14歳の生徒の割合	女性：91% 男性：91.6%	女性：81.9% 男性：85.1%
8～14歳までの読み書きができない児童の割合	女性：4.2% 男性：4.8%	女性：12.7% 男性：11.5%
15歳以上の平均就学年数	女性：7.1年 男性：7.6年	女性：4.8年 男性：5.8年
15歳以上の教育を受けていない者の割合	女性：11.6% 男性：8.7%	女性：27.9% 男性：17.7%
15歳以上の非識字率	女性：11.3% 男性：7.4%	女性：28.9% 男性：16.6%

上表のように、チアパス州では、読み書きのできない女子の割合が12.7%と国平均の3倍で国内で最も高くなっており、同州の男女格差は1.2%と国平均の男女格差(-0.6%)の3倍で国内で最も大きくなっている。同州以外のすべての州では男子に比べて読み書きのできない女子の割合が低くなっていることから、同州では他州に比べ8～14歳までの女子に対する教育普及に関する問題が深刻であることが推察される。事実、学校に通っている6～14歳の生徒における割合の男女格差は、国平均では-0.6%となっているが、同州では-3.2%と国平均の男女格差の5倍以上であり、同州の特に女性に対する教育普及の遅れが明らかである。

また、15歳以上の非識字率は、チアパス州では女性は28.9%(国内で最も高い)、男性は16.6%と、男女とも国平均の2倍以上であり、国平均と同州の男女格差は3倍以上となっている。実際に15歳以上の教育を受けていない者の割合は、同州では女性は27.9%と国内で最も高く、男女格差も10.2%と最も大きく、やはり国平均の男女格差の3倍以上である。同州の15歳以上の平均就学年数も、男女共に国内で最も短くなっており、男女格差も国平均の2倍と最も大きくなっている。

以上のことから、チアパス州では国内同様、6～14歳までの教育の普及度に比べて15歳以上の特に女性の教育の普及度が極めて低くなっているといえる。実際、同州の8～14歳までの読み書きができない児童の割合における男女格差(1.2%)と15歳以上の非識字率の男女格差(12.5%)の間には10倍以上の開きがあり、教育の男女格差は15歳以上になると実に著しいことが分かる。背景要因として、特に同州の女性の場合若くして結婚する傾向にあるということがあげられる。同州の初婚平均年令を見ると、女性は17.8歳、男性は22.3歳と、同国で最も若く、国平均(女性：19.4歳、男性：23.2歳)と比べると、女性は1.6歳、男性は0.9歳下回っており、同州の男女の年令差は4.5歳と国平均の男女年令差の3.8歳を上回っている<sup>10</sup>。

<sup>10</sup> 男性の数値は1995年、女性の数値は1997年のもの。

## ( 経 済 )

	国平均	チアパス州
経済活動人口の割合	女性：36.4% 男性：76.8%	女性：39.6% 男性：83.2%
第1次産業雇用人口の割合	男女合同：9.5%(男女別データなし。最も低いのはDFで、女性：0.1%、男性：0.4%)	女性：19.8% 男性：55.1%
第2次産業雇用人口の割合	男女合同：26.7%(男女別データなし。最も低いのは女性：7.1%(Quintana Roo州)、男性：12.8%(チアパス州))	女性：18.6% 男性：12.8%
第3次産業雇用人口の割合	女性：70.4% 男性：46.7% (男女合同：54.8%)	女性：61.6% 男性：32.1%
1時間の平均賃金	女性：10.30 ペソ 男性：11.10 ペソ	女性：5.6 ペソ 男性：5.2 ペソ

経済活動人口の割合における男女格差は、国平均では-40.4%であるが、チアパス州では-43.6%である。国内同様、同州で女性の経済への参加が男性に比べて著しく限定されていることが分かる。同州の数値は、女性の場合、国平均より3.2%高くなっているが、男性の場合、6.4%高くなっているため、同州における男女格差が国平均の男女格差に比べて3.2%開く結果となっている。

第1次産業雇用人口の割合は、チアパス州では男女共に国内で最も高いが、男女格差も2.5倍以上と大きくなっている。同州の第2次産業雇用人口の割合は、女性の数値は国内では中間に位置し、男性では最も低くなっている。第3次産業の場合、同州では男女ともオアハカ州に次いで2番目に雇用人口の割合は低くなっている。雇用人口全体としては、チアパス州では、女性の場合、他州と比較すると5番目に低いものの、第3次産業への雇用者の割合が62.6%(男性の2倍以上)と最も高く、男性の場合、第1産業への雇用者の割合が55.1%と最も高くなっていることが分かる。

男女別の1時間の平均賃金は、チアパス州では男女共に国内平均の約2分の1であり、国内で最も低くなっている。

以上のデータから分かるように、チアパス州はメキシコでも特に保健、教育経済活動へのアクセス上の様々な問題を抱えており、特に女性は男性に比べてより多くの不平等問題に直面している。とりわけ同州は農村人口の割合が54.3%(男性：55.3%、女性：53.4%)と、国平均{25.4%(男性：25.8%、女性：25%)}の2倍以上にあたる、国内ではオアハカ州に次ぐ多数の農村人口を抱えており、マージナリティ、貧困の度合いは極めて高い。チアパス州の問題は正に同国の抱える都市と農村、南北の地域格差の縮図である。

こうした種々の問題に対処すべく、州政府は2001年「チアパス開発計画2001-2006」を作成している。本計画では、特に「教育」、「健康」、「司法」、「天然資源の保護」、「経済の再活性化」、「道路・インフラ」、「雇用」の7つの優先課題に関して、「ジェンダーの平等」、「先住民

族との新たな関係」、「天然資源の持続的活用」、「平和の文化」、「社会参加」の5つの横断的な政策を含めて述べられている。経済の再活性化に関しては、以下の3点に焦点が置かれている。

- ・基本的に都市型で社会のごくわずかの階層に対してのみ利益をもたらす、販売用の商品の輸入と利潤の輸出という商業モデルの優位性に基づく経済の第3セクター化のプロセスを再度方向づける。具体的には、メキシコ国境内外でチアパスに向けられている特殊な関心を上手く利用し、生産的な投資のために、国内・国際資本を呼び込み、地元で生産された商品の輸出を振興し、経済利益をより広く分配するモデルの構築を指導する。
- ・企業・団体で自由に使用できる原料、労働者の能力育成を元に、第1次産業、第2次産業、第3次産業内で、未開拓の活動、特に漁業、アグロインダストリー、観光業まで経済収入源の多様化を図り、財とサービスの生産を促進し、経済成長と雇用の創出に効果を与える。
- ・社会セクターに特別な注意を払いつつ、農地における集約的な生産の拡大、生産性の向上、導入技術と機械の近代化を図り、全生産セクターを支援するモデルにより粗放生産モデルを変革する。

### 2 - 3 ソコヌスコ地域の概要

調査対象地域のソコヌスコ地域は、チアパスの最南部に位置し、総面積 5,475.5km<sup>2</sup>(チアパス州の7%)、人口 66万 4,437人(2000)(チアパス州人口の16.9%)であり、16のムニシピオに分かれている(図2 - 8、表2 - 2参照)。ソコヌスコ地域は農業生産が盛んで、特にコーヒー栽培は域内の経済と歴史の柱を担っており、経済・人口の面から見て、チアパス州において最も活発な地域の一つである。最新のコーヒー栽培の統計(1992)では、域内のコーヒー生産者の登録者数は1万 5,043人(州の登録者の18.2%)にのぼり、栽培面積は7万 7,123ha(州の同面積の32%)である。ソコヌスコ地域は国内のコーヒー生産の20%を産出している。1860年代より当該地域の開発、拡大、成長は、近年に至って他の輸出用作物の伸びが顕著になるまでは、コーヒーの生産と不可分の関係にあった。

ソコヌスコ地域の1990～2000年の男女別の経済活動人口比率(%)の一覧表(ECOSUR 2000)は以下のとおりである。

	1990		2000	
	男性(%)	女性(%)	男性(%)	女性(%)
メキシコ	69.2	20.0	70.3	29.9
チアパス州	74.5	11.7	73.9	21.9
ソコヌスコ地域	69.0	13.7	69.5	21.3
Acacoyagua	74.4	6.0	75.3	15.2
Acapetahua	71.8	7.7	71.5	16.3
Cacahoatán	71.5	9.6	68.7	15.2
Escuintla	68.6	7.5	71.3	15.5
Frontera Hidalgo	62.1	6.9	61.4	13.3
Huehuetán	68.4	8.4	67.4	14.1
Huixtla	70.1	14.7	70.7	21.4
Mapastepec	71.8	8.0	70.3	14.3
Mazatán	64.4	6.9	71.8	14.9
Metapa	59.8	7.9	62.8	20.1
Villa Comaltitlán	72.5	6.7	72.1	13.5
Suchiate	70.9	12.0	71.7	19.1
Tapachula	68.4	20.3	70.1	28.3
Tuxtla Chico	62.0	9.8	57.2	15.4
Tuzantán	73.5	5.4	70.6	12.2
Unión Juárez	69.3	6.8	69.3	16.3

上表から分かるように、2000年の域内の経済活動人口の割合は44.7%であり、1990年から3.7%増加している。男女別に見ると、1990年には男性の経済活動人口の割合は69%、女性は13.7%であったが、2000年には男性の割合は69.5%、女性は21.3%となっている。男性の伸びがわずかであるのに比べて、女性の経済活動人口の割合は大きな増加が際立っている。この現象は同地域だけではなく、チアパス州、メキシコ国内でも同様に見られており、同国における女性の経済活動への参加が活発になってきていることが分かる。

次にソコヌスコ地域の1990～2000年の産業別の経済活動人口比率(%)(ECOSUR 2000)を見ると以下のとおりである。

	1990				2000			
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	非特定	第1次産業	第2次産業	第3次産業	非特定
メキシコ	23.5	28.8	47.8	-	15.8	27.8	53.4	3.0
チアパス州	58.3	11.1	27.4	3.1	47.3	13.2	37.3	2.2
ソコヌスコ地域	46.1	13.6	37.6	2.7	35.5	14.0	48.1	2.3
Acacoyagua	72.4	10.7	15.6	1.2	61.0	10.9	26.0	2.1
Acapetahua	68.4	12.7	17.2	1.7	60.8	10.9	26.8	1.5
Cacahoatán	61.8	9.8	25.8	2.7	51.0	11.6	35.8	1.6
Escuintla	64.1	9.0	24.1	2.8	54.6	10.1	34.1	1.2
Frontera Hidalgo	64.8	9.1	24.9	1.3	49.8	10.4	37.4	2.4
Huehuetán	63.8	11.1	23.5	1.6	55.1	8.8	34.6	1.5
Huixtla	31.0	24.4	41.4	3.3	28.8	17.5	51.8	2.0
Mapastepec	65.1	10.3	22.5	2.1	52.8	12.8	32.0	2.3
Mazatán	69.1	10.9	18.1	1.8	59.7	11.4	27.6	1.3
Metapa	46.0	16.5	36.1	1.4	27.9	15.9	51.7	4.5
Villa Comaltitlan	73.4	8.6	15.5	2.5	62.3	10.1	26.2	1.4
Suchiate	54.8	10.3	32.9	2.0	44.2	10.2	42.5	3.1
Tapachula	26.8	15.5	54.2	3.4	18.0	16.5	62.7	2.8
Tuxtla Chico	55.7	10.5	31.1	2.7	40.5	13.8	42.9	2.8
Tuzantán	71.6	11.0	16.6	0.8	54.2	12.4	31.5	1.9
Unión Juárez	74.8	5.1	18.2	1.9	58.6	8.6	31.5	1.2

上表から明らかのように、同地域の経済活動は農牧業生産に大きく依存していたが、1990～2000年間に、第1次産業に従事する経済活動人口の割合は46.1%から35.5%に減少し、第3次産業人口の割合が37.6%から48.1%に増加したことから、現在、第3次産業が域内経済の中心となっている。しかしながら、第3次産業人口の割合が第1次産業人口の割合を上回っているのは、タパチュラ、METAPA、HUIXTLA、TUXTLA CHICOの4つのムニシピオだけであり、他の12のムニシピオでは今だに第1次産業人口の割合が最も高くなっている。また、域内の第1次産業に従事する経済活動人口の割合は全国平均の約2倍であり、依然として農業セクターが同地域において重要な地位を占めることは間違いない。

域内農業の特色は、多様な多年生作物及び1年生作物の栽培、広大な牧畜である。2000年の段階で、多年生作物の栽培面積は14万3,227ha、1年生作物の栽培面積は7万7,810ha、牧草地は9万6,169haである。(農地面積は総面積の40.4%、牧用地は17.6%)。農家の大部分は小規模のエヒード農家(63%)と零細農家(私有)<sup>11</sup>である。地域の主要生産物は、栽培面積上はコーヒーとトウモロコシ(域内の総作物栽培面積の57%)であるが、総生産額ベースでは、バナナ、マンゴー、コーヒー、トウモロコシ、パイナップル(域内総作物生産額の8割)となる。コーヒーの国際価格の下落により、コーヒーは2000年には域内の総生産額で3位に転落しており、域内経済停滞の大きな問題となっている。

<sup>11</sup> メキシコでは小農の定義は土地所有面積5ha以下となっている。



本地域は、降雨量が豊富で地形と気候の優位性から農牧業の更なる多様化が可能、かつ種々の熱帯果樹・花卉の栽培に適しており、インフラも比較的整備されている等開発のポテンシャルは高い。しかしながら、乾期の水の確保の困難性、農業機械・労働の共同化不足、不十分な適地適作、営農技術不足に起因する農作物の低生産性・品質及び土壌悪化・浸食、限定的な農業融資(特に小・貧農への融資は極小)、農産物流通システムの未整備・非効率性、地方道の未整備等の問題点から、同国における経済的地位は低いものとなっている。

#### 2 - 4 国家開発計画での取り組み

メキシコ政府における本格的な貧困対策はサリナス政権(1988～1994年)による「国民連帯プログラム( PRONASOL )」が最初であるといわれている。PRONASOLは、「食糧・必需品」、「電化」、「先住民支援」、「日雇い農業労働者支援」、「連帯による女性」等を含む多様なプログラムである。社会福祉(主に社会的インフラ整備)、零細企業向け融資として生産活動支援、ソフト・クレジットとして農村部の地域開発に予算が投入されたが、コミュニティ側からのアプローチ、組織化を資金獲得の前提としたことから、既に組織が存在する又は比較的組織化が容易な都市住民が優遇され、PRIの集票体制の再建・強化という政治目的が優先される結果となった。

次のセディージョ政権(1994～2000年)で貧困削減政策は大きく変わり、急速な分権化とともに極貧層を対象に限定した政策が展開された。発足から一貫して国家開発計画1995～2000年の重点テーマとして社会開発が掲げられ、保健医療、教育、貧困対策に国家予算の60%が投入、施策が実施された。特に1997年より、女性と子供の教育、保健、栄養に焦点を当てた人間開発を志向するPROGRESAを開始、州及びムニシピオ政府の参加の下、実施してきた。

続くピセンテ・フォックス・ケサーダ政権(PAN:国民行動党)は、2000年7月の大統領選により、71年に及ぶ制度的革命党(PRI)の一党支配体制に終止符を打つ形で発足。フォックス大統領は同年12月の就任演説のなかで、更なる民主化、貧困撲滅・社会的平等、地方分権の促進、中小・零細企業の支援を表明した。翌年5月末に作成された新国家開発計画2001～2006年では、「社会・人間開発」、「質を伴った成長」、「治安と遵法」の3つを掲げている。メキシコ政府は貧困克服及び格差の是正を国家の最重要課題として認識しており、特に教育及び福祉のレベルの向上による社会・人間開発を通じた貧困問題の解決を最優先している。

また、PROGRESAを継続し、農村部から都市部の貧困層・極貧層にまで対象を拡大、2002年には「機会(OPORTUNIDADES)」という新しい名称の下、貧困世帯の子弟の初等教育就学支援(奨学金の支給及び学用品、制服等の現物支給)、貧困世帯全員への基礎的保健医療サービスの提供、2歳以下の乳幼児、妊婦及び乳幼児をもつ母親を対象に基礎的な食糧品購入のための助成金の支給を行っている。加えて、能力の拡大(教育、栄養、職業訓練)、機会の創出(地域開発、雇用促進)、社会的保護(保健医療、社会保障)、資産の形成(住宅、貯蓄)の4つを戦略とする「あなたとともに

に(CONTIGO)」という新しい社会開発政策を展開、共同責任、公正、包括を基本原則として貧困の克服、国民の生活のレベルの向上をめざし、各種のプログラム、事業を提供している。OPORTUNIDADES、PROCAMPO等はこのCONTIGOプログラムに統合されている。

ジェンダーに関しては、2001年1月には「国家女性研究所に関する法律(Ley de INMUJERES)」が発表され、メキシコ女性の発展のために連邦国家行政内に地方分権化された国家組織として新たに国家女性研究所(INMUJERES)が創設された。続いて11月には国家開発計画2001～2006年に基づき、政府の全機構の目的と責務を男女の平等のために反映すべく「機会均等と女性に対する差別撤廃のための国家プログラム(PROEQUIDAD)」が作成された。PROEQUIDADの主要分野は「人権」、「持続的な経済開発」、「貧困の撲滅」、「教育」、「健康への留意」、「女子への暴力の撲滅」、「意思決定への参加」、「女性のイメージの再評価」の8つであり、INMUJERESがその設計と促進を担当している。

また、INMUJERESは、家庭内暴力の事例を察知・記録・評価する一連のシステムの構築を通じ、その撤廃をめざす「家庭内暴力対策国家プログラム(PRONAVI II)」、ジェンダーの平等と視点を連邦政府内とすべての国民生活において推進を目的とする「ジェンダーの視点の制度化(IPEG)」の2つの主要プロジェクトも担当している。加えて、INEGIとの協力の下、女性の状況をモニタリングするための指標システム(SISESIM)を創出し、国家レベルでの女性の状況、女性をとりまく環境のモニタリングを可能とする、人口、社会、教育、経済、政治に関する指標を提供している。

また、フォックス大統領は、著しい貧困・地域間格差は中米地域に共通の課題であるとし、特に社会経済開発の遅れているメキシコのプエブラ州プエブラ市以南地域のインフラ整備を推進、パナマに至る中米7か国を対象に、総合地域開発プロジェクト「プエブラ・パナマ・プラン(PPP)」を提唱。長期的ビジョンの下、域内貿易と投資の促進、中米諸国の経済・地域統合の推進をめざしている。このプロジェクトには、物理的統合(道路・鉄道網、港湾、ガスパイプライン、送電網等のインフラ整備)、規制の調和(税関、運輸、金融取引等)、環境保護(環境保全、国際河川の整備等)、戦略的提携(各企業間の連携による経済発展)等が含まれている。

## 2-5 JICAの取り組み

メキシコに対する技術協力は、平成12年度国別事業評価の評価結果・提言、平成13年度政策協議(2001年11月実施)により、援助重点分野及び各分野ごとの開発課題が定められており、平成14年度国別事業実施計画においても、国内地域特性を明示したうえで、同様の枠組みが継承されている(「南南協力強化支援」分野については、援助重点分野のさらに上位の二国間の経済協力における重点項目と位置づけられた)。

対メキシコ協力重点分野・課題・プログラム(平成14年度国別事業実施計画より)

1. 地域・貧富の格差の是正

- (1) 南部地域中心の保健医療サービス等の改善
  - (1 - 1) 母子保健看護プログラム
  - (1 - 2) 感染症対策プログラム
- (2) 南部地域中心の地方行政能力の向上
  - (2 - 1) 地方行政官の人材育成支援プログラム
- (3) 南部地域中心の農村地域社会の所得向上
  - (3 - 1) 農村地域社会支援プログラム
  - (3 - 2) 農水産業生産性向上プログラム
- (4) 南部地域中心の地場産業支援
  - (4 - 1) 地域特性を生かした経済活動支援

2. 産業開発と地域振興

- (1) 北部及び中央高原地域における中小企業の育成・振興
  - (1 - 1) 裾野産業振興支援プログラム
- (2) 北部及び中央高原地域の中小企業の育成・振興のための職業技術教育の促進
  - (2 - 1) 職業技術教育支援プログラム

3. 環境対策と自然環境保全

- (1) 首都圏を中心とする都市環境の改善
  - (1 - 1) 都市環境管理プログラム
- (2) 自然環境保全
  - (2 - 1) 環境管理能力強化プログラム

「地域・貧富の格差の是正」分野は、メキシコ国家開発計画の主に「社会・人間開発」の項目に対応するものであるが、歴代のメキシコ政府が進めてきた社会的弱者保護のための社会開発プログラムとの関連が深い。南部貧困州の貧困層を直接の裨益層として、保健医療サービスの向上、農村開発及び地場産業の育成の課題に取り組むこととしている。中進国化の進むメキシコでは、援助重点分野の絞り込みを行い、限られた援助リソースを有効に活用する必要がある。特に国内貧富の格差の存在は、富の一部特権階級への集中、所得分配や税制の構造的な問題など、国内問題であるともいえることから、我が国の援助リソースの投入にあたっては、直接裨益の対象、メキシコ側実施機関のオーナーシップ、プロジェクトの自立発展性、モデル効果などを慎重に検討する必要がある。近年は、貧困層・地域住民に直接裨益する事業として、現地 NGO を活用したスキーム(開発福祉支援事業やプロジェクトの現地活動費の弾力的運用など)が実施されており、さらにボランティア派遣事業と技術協力プロジェクトの効果的な連携なども検討されている。「貧富・地域の格差の是正」分野の協力実績は次頁のとおり。

\*「貧富・地域の格差の是正」分野 プログラム別事業の実績

1. 貧富・地域の格差の是正

(1) 母子保健看護プログラム

プロジェクト方式技術協力

「メキシコ家族計画・母子保健プロジェクト」(1992年4月～1998年3月)

「女性の健康プロジェクト」(1999年7月～2004年6月) **実施中**

開発福祉支援事業

「グアナフアト州僻地農村住民参加型公衆衛生改善計画」(1997年12月～2000年11月)

「ストリートチルドレンのための性の健康」(2000～2002年) **実施中**

国別特設研修

「母子保健看護(地域保健)」(2001～2005年度) **実施中**

第三国研修

「リプロダクティブ・ヘルス」(1999～2003年度) **実施中**

日米コモンアジェンダ

AIDS対策セミナー(2001年2月)、AIDS機材特別機材供与(IVA問題あり)

(2) 農村地域社会支援プログラム

開発調査

「ハリスコ州海岸地域農牧業農村総合開発計画」(1995年1月開始、1997年2月FR)

「ソコヌスコ地域農牧業農村総合開発計画」(1999年9月F/R)

開発パートナーシップ事業

「乾燥地における農業と農村振興」(2001年7月～2004年6月) **実施中**

個別専門家派遣

「農業開発計画」(1992～1995年)(1995～1998年)、 「農業機械化計画」(1995～1998年)

(3) 農水産業生産性向上プログラム

プロジェクト方式技術協力

「モレロス州野菜生産技術改善計画」(1996年3月～2001年2月)

「農業機械検査評価事業計画」(1999年3月～2004年2月)

「ハリスコ州家畜衛生診断技術向上計画」(2001年7月～2006年7月) **実施中**

研究協力

「農業用水資源有効利用」(ヒウテペック1995年12月～1998年11月)

チーム派遣

「小規模米作近代化技術」(サカテペック1991～1993年)

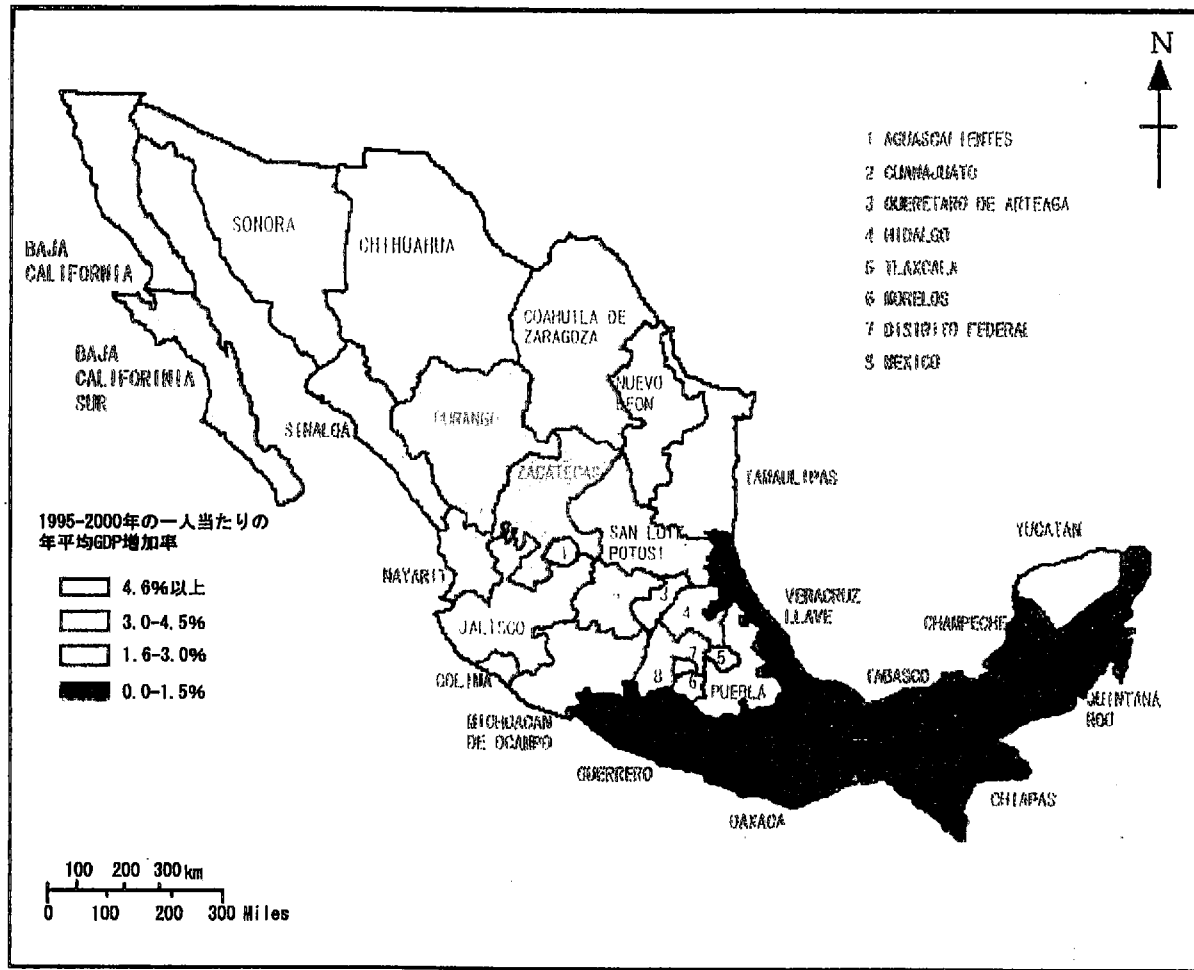
個別専門家

「海水魚養殖」(ラパス1990～1993年)(プエルトモレーロス1993～1995年)

「貝類養殖」(エレンディラ1990～1992年)

「エビ養殖池管理手法」(2001年10月～2002年4月) **実施中**

2-6 別添資料



出典：国別重点分野に対する JICA の取り組み方針策定に係る基礎調査（プロジェクト形成調査）（貧困）報告書、2002

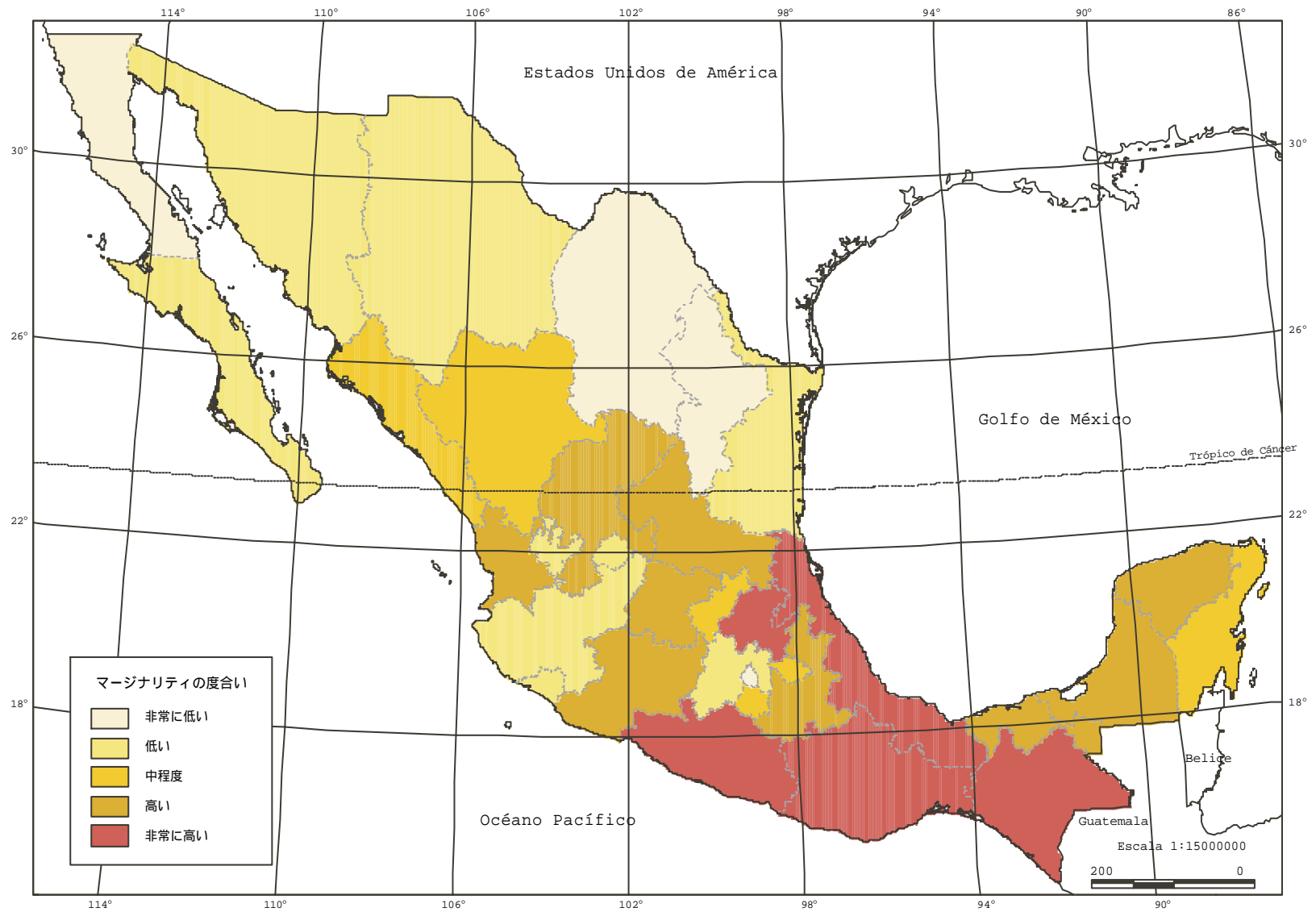
図 2-1 州別 1 人当たりの年平均 GDP 成長率（1995～2000 年）

表2 - 1 2000年度のメキシコの州別のマージナリティ

	15歳以上の 非識字率	15歳以上の 非初等教育 修了者率	下水設備のな い家屋の居住 者率	電気がない家 屋の居住者率	上水設備のな い家屋の居住 者率	1部屋当たり の構成員2名 以上の家屋率	土床の家屋の 居住者率	人口5,000人 以下の地区の 居住者率	最低賃金の2 倍以下の所得 者率	マージナリティ の度合い
メキシコ	9.46	28.46	9.90	4.79	11.23	45.94	14.79	30.97	50.99	
Aguascalientes	4.84	23.03	3.38	1.78	1.30	37.82	3.57	24.54	42.23	低い
Baja California	3.53	19.59	1.95	2.33	6.83	36.58	4.59	11.62	22.22	大変低い
Baja California Sur	4.21	20.98	3.71	4.62	6.32	38.80	10.42	25.41	35.82	低い
Campeche	11.81	34.22	17.27	8.79	14.61	56.63	14.92	34.51	64.12	高い
Coahuila de Zaragoza	3.87	18.79	3.42	1.42	2.18	37.74	4.55	13.37	34.68	大変低い
Colima	7.16	27.20	2.56	1.96	2.18	40.90	12.53	18.20	48.00	低い
チアパス	22.94	50.31	19.33	12.01	24.99	65.03	40.90	61.21	75.89	大変高い
Chihuahua	4.79	23.30	5.30	6.27	5.88	36.53	6.96	19.64	37.67	低い
Distrito Federal	2.91	12.16	0.44	0.17	1.47	34.82	1.34	0.32	42.43	大変低い
Durango	5.41	28.75	13.67	6.57	7.00	40.30	13.73	42.12	50.12	中程度
Guanajuato	11.99	35.75	16.10	3.19	6.86	47.10	10.93	37.39	47.29	高い
Guerrero	21.57	41.92	35.29	11.04	29.54	59.67	39.97	53.44	66.16	大変高い
Hidalgo	14.92	34.09	17.19	7.66	15.25	49.69	19.02	58.52	65.27	大変高い
Jalisco	6.45	26.71	4.93	2.14	6.78	38.46	7.36	19.40	40.93	低い
México	6.40	20.84	8.14	1.80	6.23	47.65	7.19	19.38	49.41	低い
Michoacan de Ocampo	13.90	40.19	11.40	4.41	10.87	46.04	19.90	43.09	57.29	高い
Morelos	9.25	25.76	7.17	1.40	7.30	44.26	14.80	23.93	54.28	中
Nayarit	9.05	31.97	9.52	4.75	9.53	44.14	13.25	43.68	56.25	高い
Nuevo León	3.32	16.49	1.59	1.04	3.62	36.97	3.30	7.57	28.93	大変低い
Oaxaca	21.49	45.53	18.07	12.54	26.95	59.45	41.60	64.01	71.93	大変高い
Puebla	14.61	35.20	11.89	4.75	16.26	54.73	24.09	41.49	63.90	高い
Querétaro de Artega	9.80	26.14	16.37	5.76	6.58	43.74	10.06	42.14	41.72	中程度
Quintana Roo	7.52	25.18	9.23	4.36	5.34	53.01	11.37	21.19	40.37	中程度
San Luis Potosí	11.29	34.10	11.43	11.54	20.92	43.85	23.70	44.64	58.82	高い
Sinaloa	7.96	30.06	10.62	3.35	7.22	47.52	14.53	39.17	48.63	中程度
Sonora	4.40	22.40	4.19	3.23	3.47	42.18	13.18	21.25	40.95	低い

Tabasco	9.73	32.27	8.58	5.85	26.49	54.52	13.47	56.10	62.29	高 い
Tamaulipas	5.13	23.35	2.65	4.97	2.48	54.61	8.98	36.88	63.38	低 い
Tlaxcala	7.80	23.42	8.43	2.05	2.48	54.61	8.98	16.89	46.72	中程度
Veracruz-Llave	14.87	39.17	10.21	11.11	29.47	51.50	29.29	48.50	68.64	大変高い
Yucatán	12.30	36.94	24.01	4.12	5.69	52.52	5.62	28.82	67.57	高 い
Zacatecas	7.97	37.50	19.68	4.03	11.05	42.68	9.12	55.13	58.91	高 い

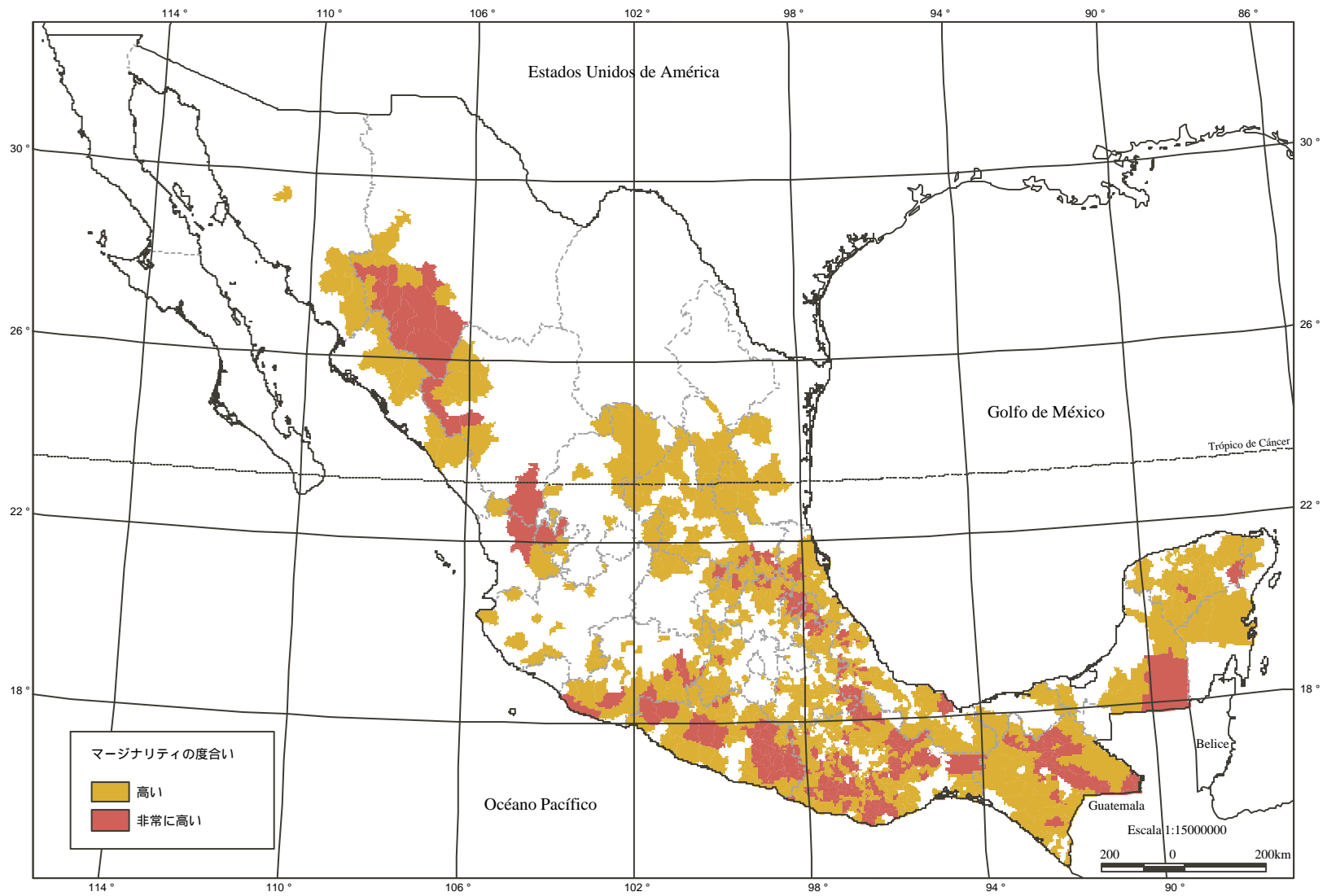
Indices de Mariginación, 2000 ( CONAPO ) に基づく



出典：Indrces Marginación, 2000( CONAPO )

図 2 - 2 México: entidades federativas según grado de marginación, 2000: 2000 年度のメキシコの州別のマージナリティ





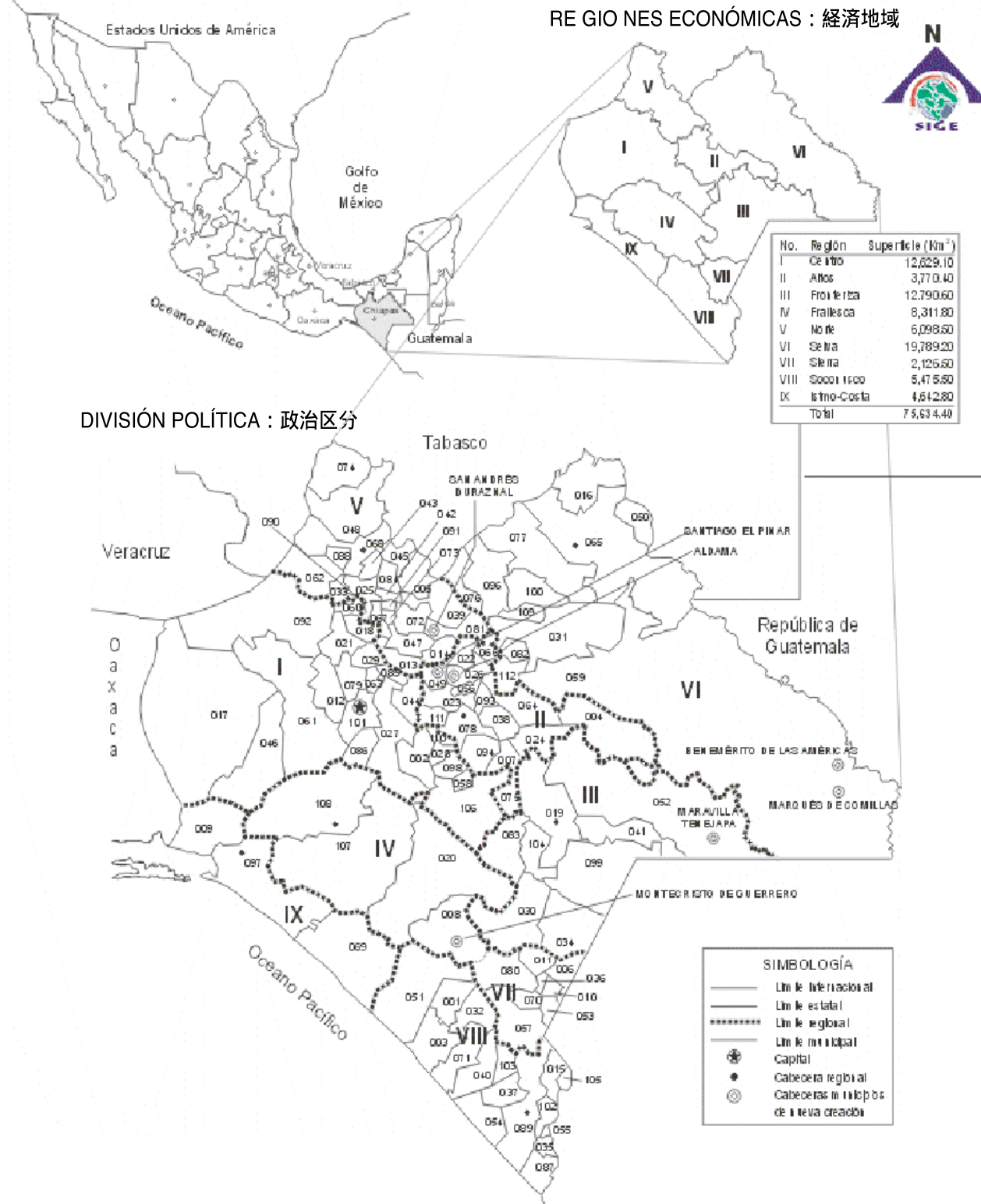
出典：Índices de Marginación, 2000( CONAP )

図 2 - 3 México: municipios con grado de marginación alto y muy alto,2000: 2000年度のマージナリティの非常に高い及び高いムニシピオ

# SITUACIÓN GEOGRÁFICA : 地理学上の状況

LO CALIZACIÓN EN LA REPÚBLICA MEXICANA : メキシコの位置

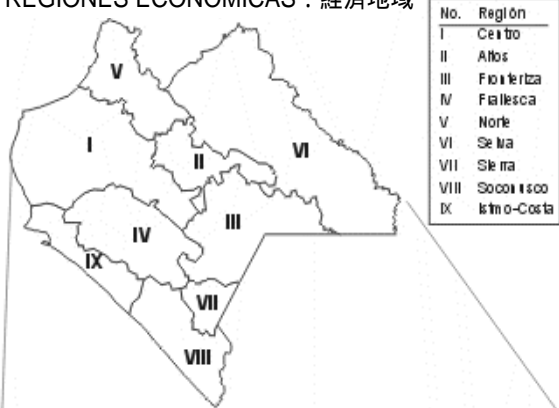
REGIONES ECONÓMICAS : 経済地域



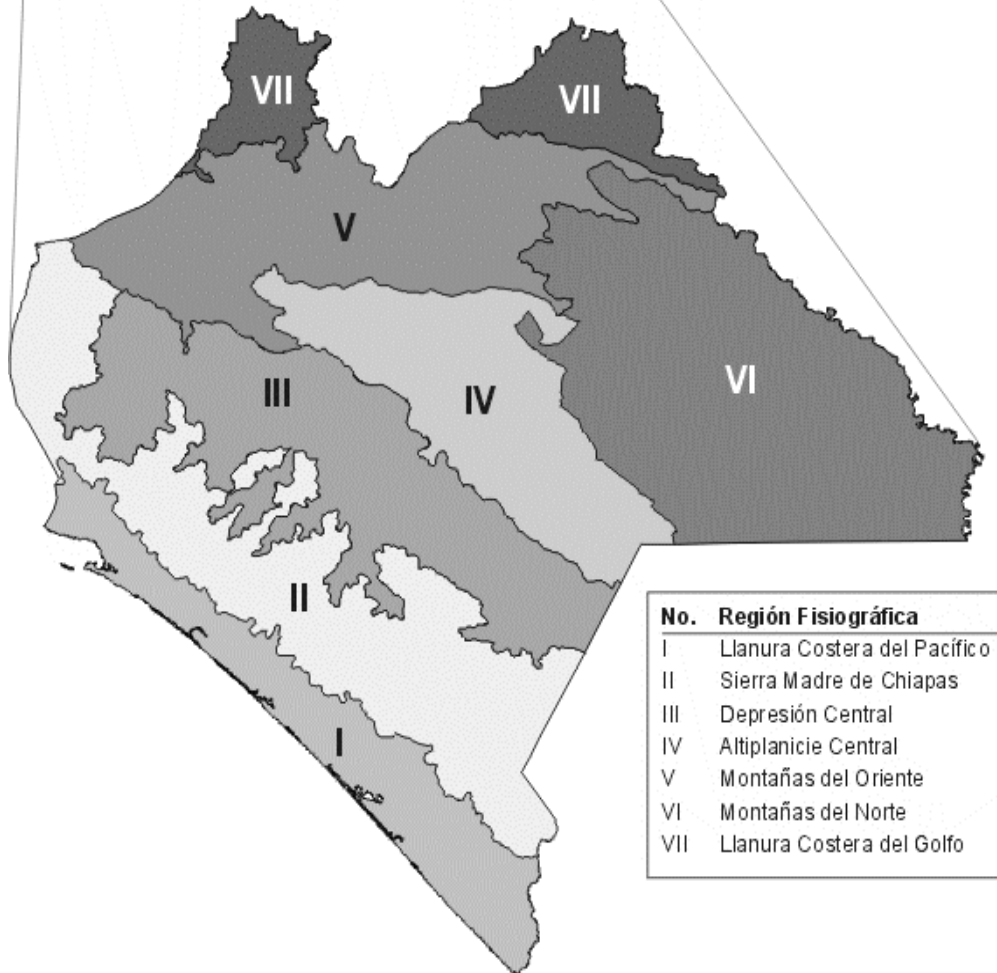
出典 : Secretaria de Planeación. Caita Geográfica de Estado de Chiapas 2001.

図 2 - 4 Características geográficas y división política: 地理学上の特徴と政治区分

REGIONES ECONÓMICAS : 經濟地域



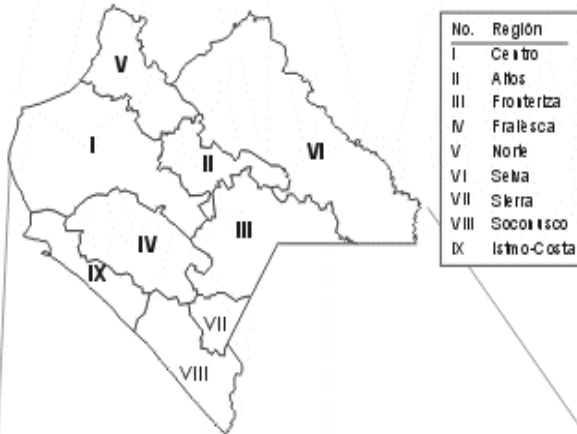
PRINCIPALES CLINAS : 自然地理学地域



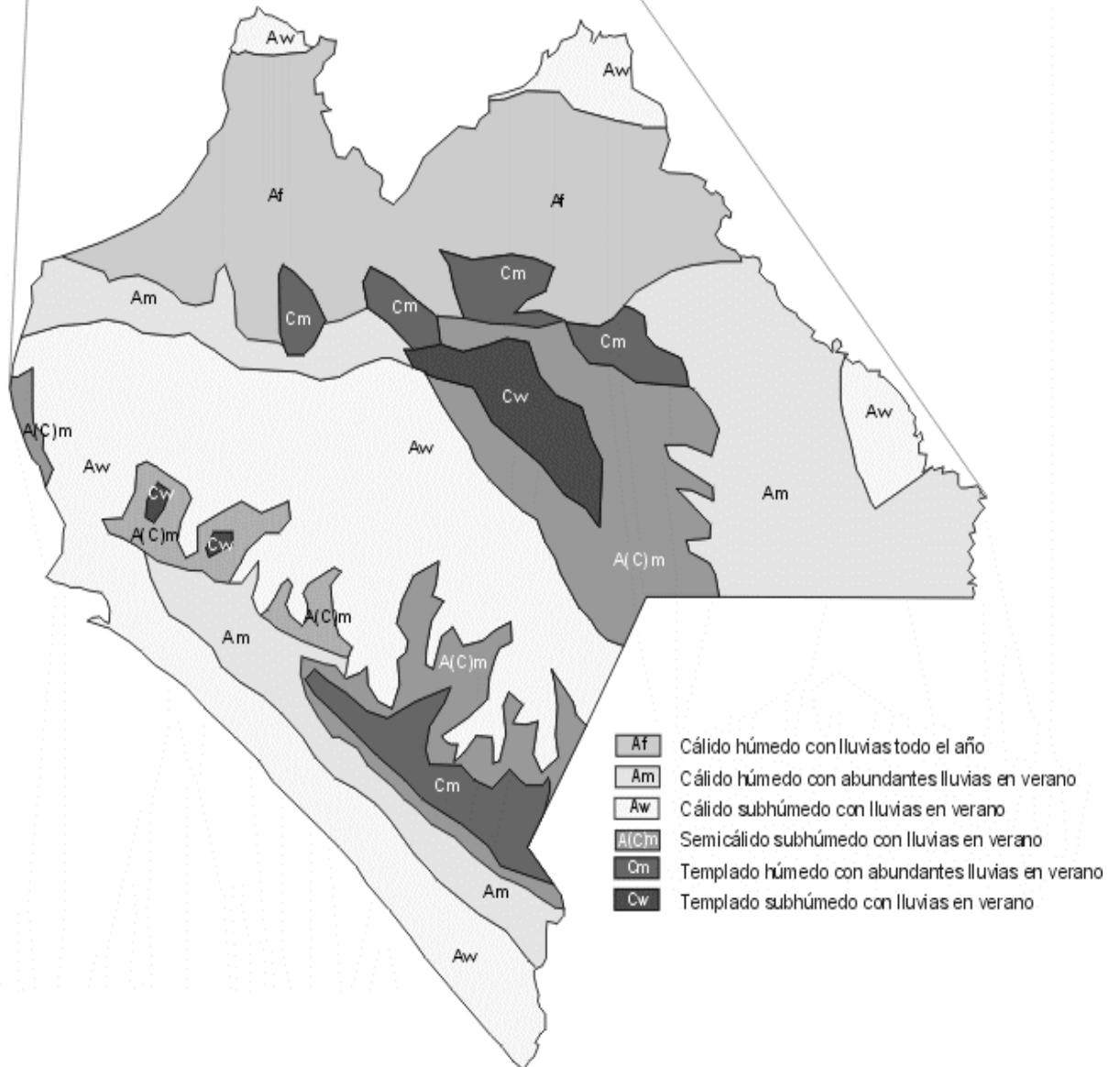
出典 : Secretaría de Planeación. Carta Geográfica del Estado de Chiapas 2001.

图 2 - 5 REGIONES FISOGEÁFICAS: 自然地理学地域

REGIONES ECONÓMICAS : 經濟地域

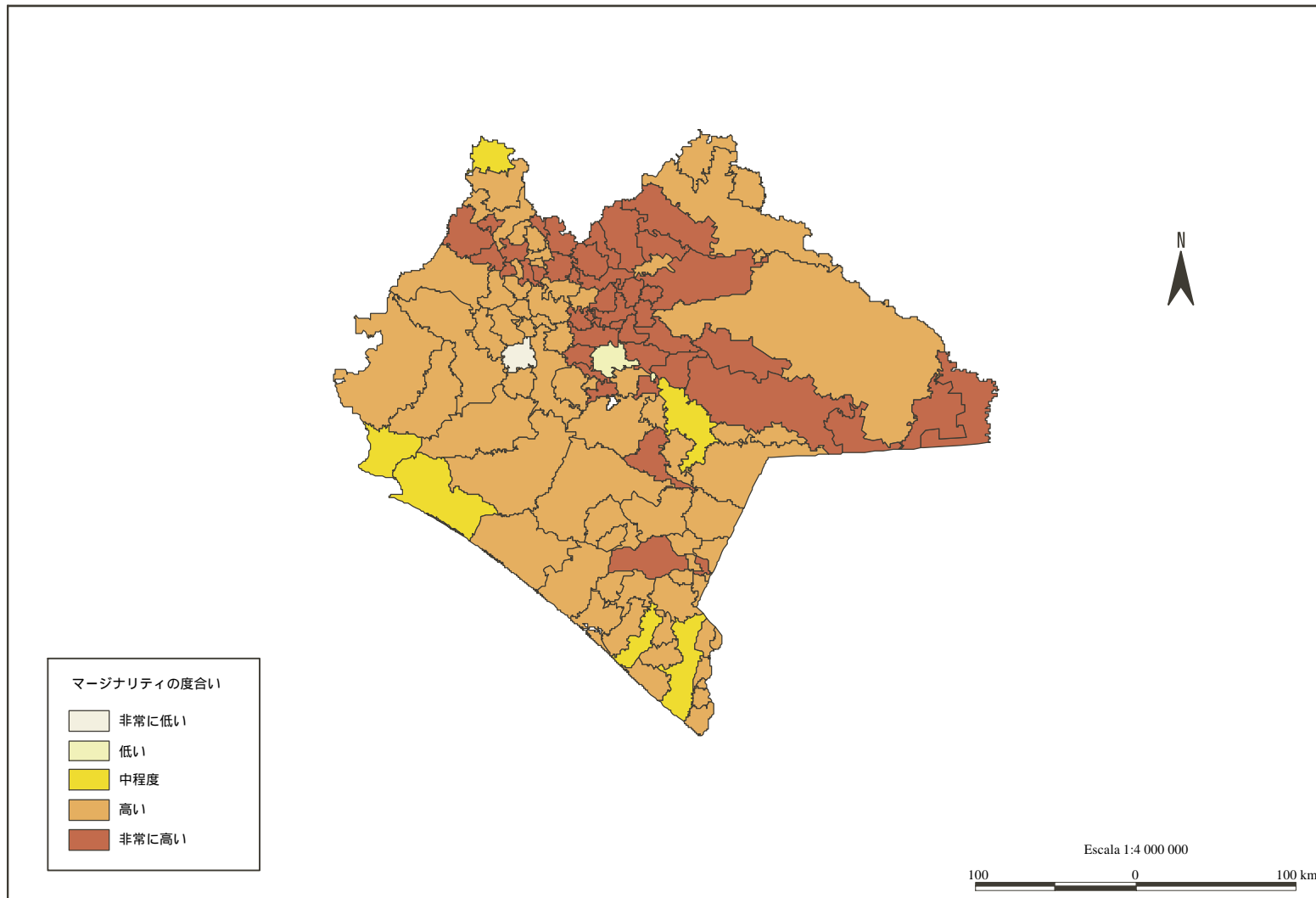


PRINCIPALES CLINAS : 主要な気候



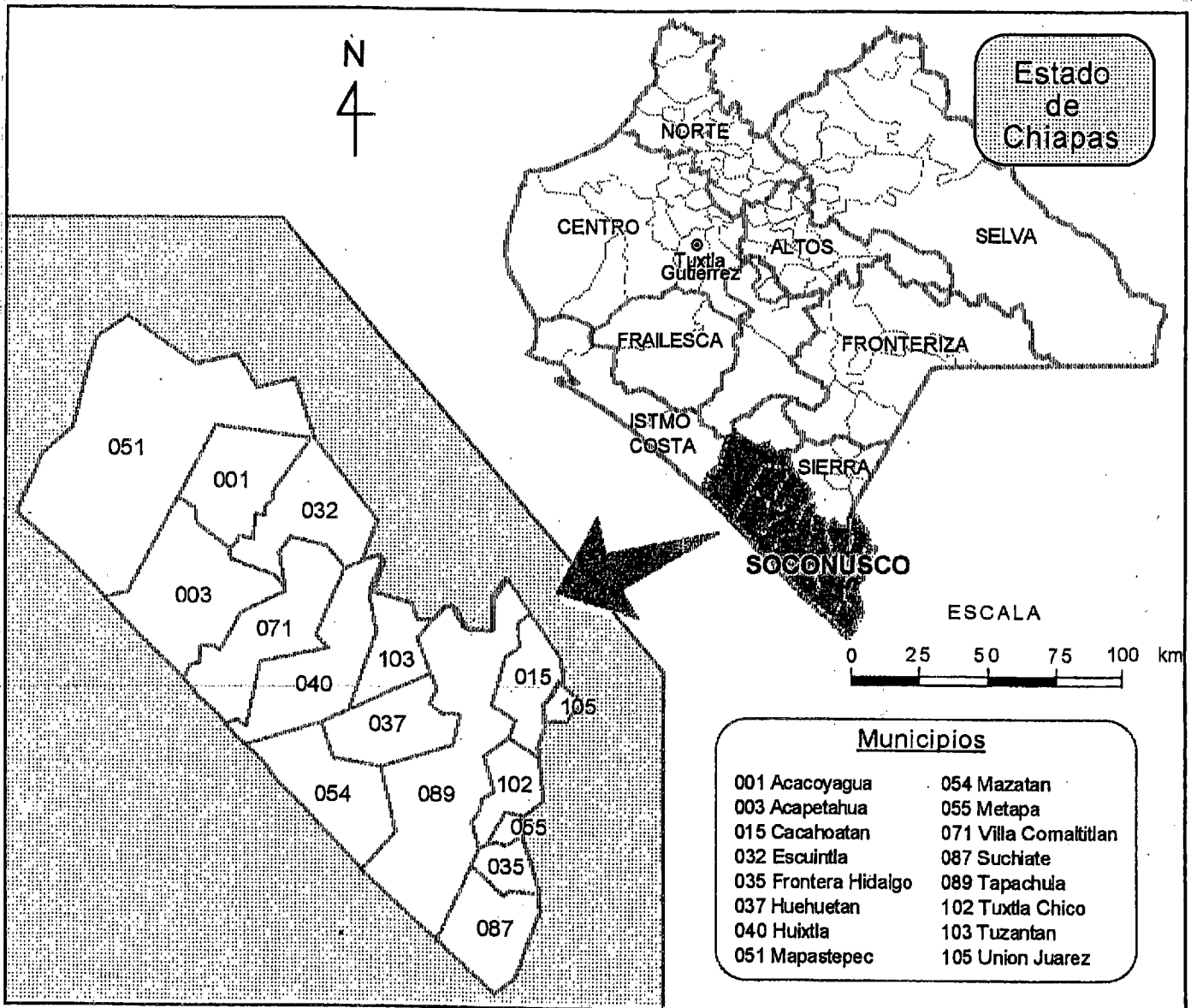
出典 : García Miranda E., Modificaciones al Sistema de Clasificación Climática de Köppen para adaptarlo a la República Mexicana. UNAM. México, 1989

図 2 - 6 CLIMAS: 気候



出典：Zudíces de Marginación, 2000( CONAPO )

図2 - 7 Chiapas: grado de marginación municipal, 2000: チアパス州ムニシピオ別のマージナリティ



出典：メキシコ合衆国チアパス州ソコヌスコ地域農牧業農村総合開発計画調査ファイナルレポート、1999 {(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル・内外エンジニアリング(株)}

図2-8 ソコヌスコ地域の地図

表 2 - 2 ソコヌスコ地域の面積・人口

	面積( km <sup>2</sup> )	総人口( 2000 )	男性人口( 2000 )	女性人口( 2000 )	人口増加率 ( 1970-1990 )	人口増加率 ( 1990-2000 )	人口密度 ( 人 /km <sup>2</sup> )	農村人口の割合 ( % )
メキシコ	1,958,201.0	97,483,412	47,592,253	49,891,159	2.63	1.85	49.8	25.4
チアパス州	75,634.4	3,920,892	1,941,880	1,979,012	3.62	2.03	51.8	54.3
ソコヌスコ地域	5,475.5	664,437	327,879	336,558	3.23	1.39	121.3	47.9
Acacoyagua	191.3	14,189	7,276	6,913	4.46	1.93	74.2	59.7
Acapetua	358.3	25,154	12,721	12,433	2.95	0.53	70.2	67.4
Cacahoatán	173.9	39,033	19,415	19,618	3.21	1.08	224.5	59.3
Escuintla	206.2	28,064	13,929	14,135	2.89	1.25	136.1	70.5
Frontera Hidalgo	106.8	10,917	5,436	5,481	2.19	1.47	102.2	71.6
Huehuetán	313.0	31,464	15,597	15,867	2.28	1.06	100.5	61.1
Huixtla	385.0	48,476	23,896	24,580	2.65	0.87	125.9	44.3
Mapastepec	1,085.6	39,055	19,715	19,340	3.43	1.14	36.0	62.0
Mazatán	382.6	24,079	12,159	11,920	2.22	1.06	62.9	62.3
Metapa	101.8	4,794	2,373	2,421	2.56	0.87	47.1	100.0
Villa Comaltitlán	606.1	26,706	13,513	13,193	2.72	1.14	44.1	72.6
Suchiate	303.0	30,251	14,970	15,281	4.05	1.16	99.8	44.7
Tapachula	857.0	271,674	131,653	140,021	3.65	1.94	317.0	27.9
Tuxtla Chico	64.6	33,467	16,626	16,841	3.19	1.00	518.1	53.0
Tuzántan	268.3	23,180	11,637	11,543	3.39	1.64	86.4	100.0
Unión Juárez	72.0	13,934	6,963	6,971	2.79	2.03	193.5	56.5

Breve Diagnóstico del Soconusco, 2002( ECOSUR )に基づく

### 3. プロジェクト実施機関・関連機関の体制、農村開発への取り組み

#### 3 - 1 連邦農牧漁業省( SAGARPA )による農村開発政策

##### (1) 持続的農村開発法

2001年12月7日に施行された農村開発に関する新しい法律<sup>12</sup>であり、連邦レベルの実施においては、SAGARPAが所管。全体構成は4つの項目、191条からなり、国家の持続的な農村開発の促進、適性バランスのとれた環境体系の実現、州の指導的な役割の保障、を主要な目的とする。国家開発計画のなかの「社会・人間的発展」において、農村開発関連のプログラム目標の設定がなされているが(農村人口の生産活動への統合、地場の農業産品の開発、農村低所得者も参加できる社会企業設立、アグロインダストリー促進のための技術アクセス向上など)、これら農村開発政策において、政策実施主体を地方州と位置づけている。前政権以来進められている地方分権化の流れのなかで、連邦政府から州政府への権限移譲を体現した法律である。

地方州は、連邦政府及び連邦政府機関、ムニシピオと調整の上、下記4点の目的達成のために政策、行動、各種プログラムを推進するものとする。連邦政府機関の連携については、後述する「持続的農村開発のための省庁間連携委員会」の立ち上げが規定されている。

社会・経済的福祉の向上

地域間格差の是正

食糧安全保障

農業の多面的機能を評価

統合的な農村開発のために、農業研究・技術移転を推進するのみならず、インフラを整備し、農村へ資本を呼び込み、農村での経済活動の促進、農村小企業の育成・振興による農村振興をめざしている。実際の農家家計の半分近くが農業外所得によって占められている現状から、第一次産業からさらに付加価値を加え、所得機会を増やすために、生産連鎖の拡大、多様な社会セクターの生産連鎖への参画が期待されている。

<sup>12</sup> LEY de Desarrollo Rural Sustentable( 2001.11.7 )



持続的農村開発法( Ley de Desarrollo Rural Sustentable 2001年12月7日施行)

全体構成

第1項目 (本法律の目的と適用)	1条～11条
第2項目 (持続的農村開発のための政策の計画立案と調整)	
第1章 (計画立案)	12条～18条
第2章 (調整)	19条～22条
第3章 (分権化及び連邦化)	23条～28条
第4章 (農村開発の管轄区)	29条～31条
第3項目 (農牧業振興と持続的農村開発)	
第1章 (農村開発の経済活動促進)	32条
第2章 (研究と技術移転)	33条～40条
第3章 (研修と技術指導)	41条～52条
第4章 (持続的生産の再編成)	53条～59条
第5章 (農村資本化、補償及び直接支払い)	60条～80条
第6章 (農業用水、電化及び農業道路)	81条～85条
第7章 (生産性向上と農村企業の振興・強化)	86条～90条
第8章 (農牧業の衛生)	91条～97条
第9章 (農牧業製品及び保管の検査・規格化と種子の検査・認証)	98条～103条
第10章 (商品化)	104条～115条
第11章 (国家農村財政システム)	116条～123条
第12章 (危険管理)	124条～133条
第13章 (経済・生産情報)	134条～142条
第14章 (経済組織と生産システム)	143条～153条
第15条 (社会厚生と貧困地域への優先配慮)	154条～163条
第16条 (農村生産の持続性)	164条～177条
第17条 (食糧主権と安全保障)	178条～183条
第18条 (農村社会提供の生産物の調停のための国家システム)	184条～186条
第4項目 (経済支援)	187条～191条

(2) 統合的な農村開発のための省庁間連携

持続的農村開発法の施行を受け、農村開発に総合的に取り組むために、従来の主管省庁である SAGARPA を中心として、他関連省庁の連携体制の強化が一層必要になっている。そのため、2002年6月19日に「持続的農村開発のための省庁間連携委員会内規」<sup>13</sup>(4章19条)が施行された。対象となる連邦省庁は、SAGARPA、経済省、天然資源環境省、財務省、通信省、保健省、社会開発省、農業改革省及び教育省である。

(3) 統合農村開発政策

SAGARPA では、農村セクターの現状分析として、1人当たり GDP の停滞と貧富の格差の拡大、農業セクターが雇用創出しておらず、他セクターへ労働力が流出、都市部より

<sup>13</sup> REGLAMENTO Interno de la Comision Internacional para el Desarrollo Rural Sustentable(2002.6.19)

も高い貧困、 貧困の絶対数の増加、 移民流出(農村 都市部、農村 米国)により農村部 / 都市部の貧困数の相対比較は減少、 農村貧困層の多くは、女性、若年層、先住民、小農又は山岳地帯居住者である、をあげている。また、これら農村の現状を、経済開発、物的資本開発、人的資本開発及び社会資本開発という開発資本ごとに4分類している。それぞれの資本開発の問題点・現状は下記のとおりである<sup>14</sup>。

表3 - 1 SAGARPAによる資本開発の4分類と各々の現状<sup>15</sup>

資本開発分類	現 状
経済開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多い貧困層：農村人口の81.5%が貧困、53.3%が極貧</li> <li>・低い生産：農村地域の成長率1.6%(全国3.4%)、44%が農業外収入</li> </ul>
物的資本開発	(自然資源の悪化) <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌流出：1億3,000万～1億7,000万 ha</li> <li>・土壌塩化：47万 ha</li> <li>・森林消失：過去50年間で4,000万 ha</li> </ul> (インフラ整備不良) <ul style="list-style-type: none"> <li>・上水配分中の漏水：70～76%が漏水によるロス</li> </ul>
人的資本開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低教育水準：文盲、小学校就学3年(都市部では7.1年)、10人中9人が技術支援なし</li> <li>・悪い栄養状態</li> <li>・高い罹病率</li> </ul>
社会資本開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低社会資本開発：10人中8人の生産者が組織化されていない、80%の家族で最低1人のメンバーがコミュニティ外に居住</li> <li>・弱い社会セクター</li> </ul>

これら現状の課題に対し、原因分析として、SAGARPAは以下のような点を列挙しており、政策的な問題、農村をとりまくマクロ経済の悪化、政治風土の原因等を上げている<sup>16</sup>。

(原因分析)

- 投資や農業外雇用・収入を促進するような農村開発戦略の欠如
- 政策実施上の問題(市場の失敗、国家介入の失敗、協力の失敗)
- 農業所得の脆弱性
- マクロ経済の悪化
- 農村セクター優遇政策の欠如
- 政治的なクライアンティリズム・家父長権威主義による農村地域住民の脆弱な政治権力
- 公的政策の継続性欠如

<sup>14</sup> "Vision de Desarrollo Rural Integral para Mexico" SAGARPA(2001.3.2)

<sup>15</sup> 上記資料から筆者作成

<sup>16</sup> 同上

- 8- プロセスの分散化
- 9- 組織の危機
- 10- 補助金や信用供与からの疎外
- 11- 不安定な協力プログラムやフォーマル・ネットワーク

以上のような現状・原因の分析に基づき、今後の農村開発、農村地域での貧困削減のために、上の4分野の資本開発を組み合わせた統合的な農村開発が必要であるとしている。

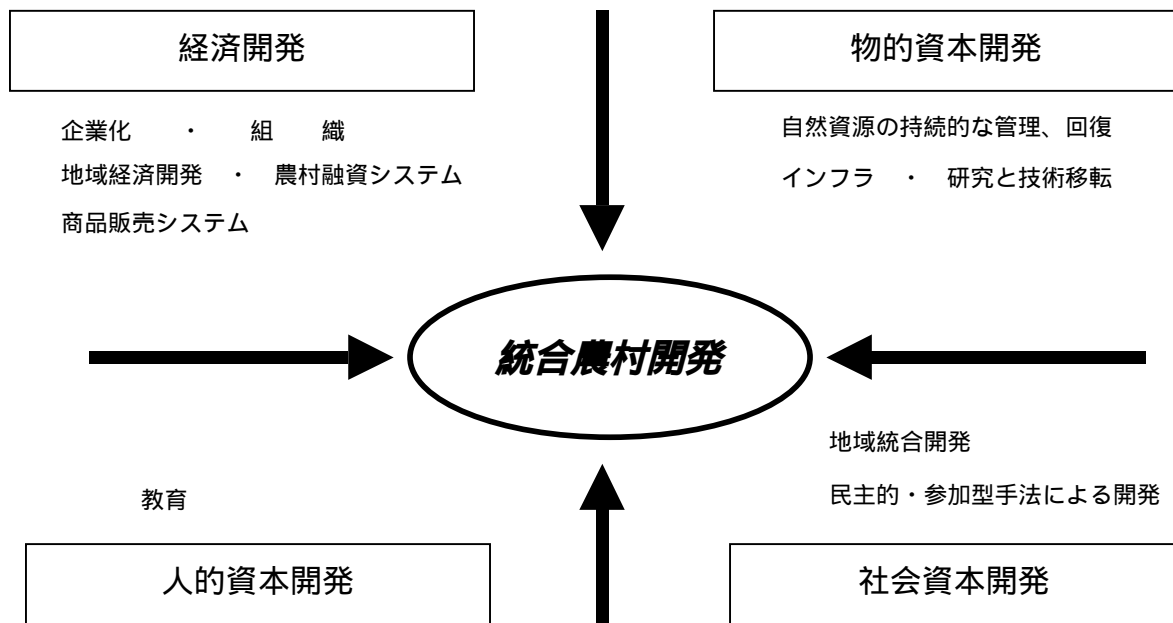


図3 - 1 SAGARPA 統合農村開発のイメージ<sup>17</sup>

#### (4) 農村開発プログラム 2002

SAGARPA 農村開発次官局では、地域農民への支援の方針として、農村開発プログラム 2002 (PROGRAMAS BASE DE DESARROLLO RURAL 2002)掲げている。同プログラムはさらに2つのプログラム( PROGRAMAS BASE DE DESARROLLO RURAL 及び PROGRAMAS ESPECIALES DE DESARROLLO RURAL )に分かれるが、いずれも従来から SAGARPA が全国レベルで推進している「農村のための連帯( Alianza para el Campo )」プログラムの一環である。

<sup>17</sup> "Sustainable Development and Rural Poverty: A Mexican Perspective", SAGARPA( 2001.5.24 )

農村開発基本プログラム( PROGRAMAS BASE DE DESARROLLO RURAL )の政策・戦略としては、下記5点があり、マージナリティの高い農村地域の女性・若年層の収入向上のために、第一次生産だけではなく、さらに付加価値を創出するような小規模な家内制零細事業を開始することを支援する戦略である。特に生産者を組織化し、生産連鎖への参加を促進することが期待されている<sup>18</sup>。

家族生産ユニットの資本化促進

自然資源の持続的 management 促進

価値の付加及び変換過程の統合

農村社会の能力開発

生産者の参加、組織化支援

プログラムは、持続的農村開発法の方針にのっとり、支援内容・手法の重複を避け、支援手法のコーディネーション及び促進を効率的に行うために、3つの構成プログラムに簡素・統合化されている。すなわち、農村投資( PAPIR )、農村能力開発( PRODESCA )、組織・企業強化( PROFEMOR )である。下記のような予算配分の重点分野設定により、州政府の農村開発プログラムにおいて、6名以上30名以下に組織化された農村女性グループへの支援が大きな柱となっていることが分かる。

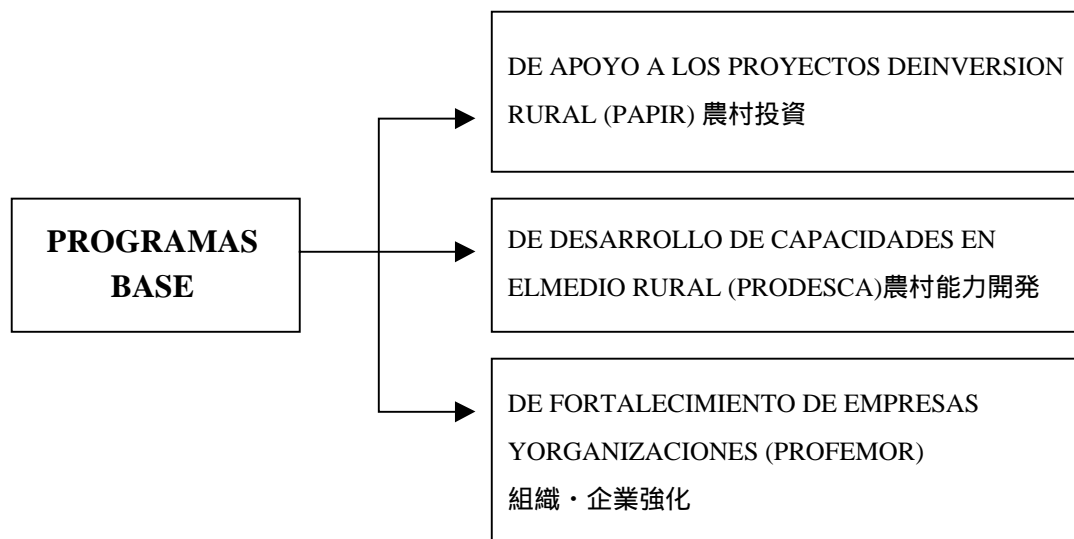


図3 - 2 農村開発プログラム 2002<sup>19</sup>

<sup>18</sup> SAGARPA 農村開発局の HP より

<sup>19</sup> "Secretaria de Desarrollo Rural, Programas Base de Desarrollo Rural 2002"( チアパス州農村開発局からの収集資料 )

全プログラムに対し、戦略上の3重点分野が下記のとおり決められ、重点的に予算配分することとなっている。

優先グループ(全体予算の20%以上配分)

農村女性・若年層(14～28歳)及び先住民を優先グループとし、これらグループの人間・経済・社会開発のための条件を整備し、活発で公平で統合的な参加を促進する。6名以上で構成されるグループ。

生産連鎖(全体予算の35%以上配分)\*

広範な社会参加による生産連鎖の推進。組織化され、持続的なグループを生産連鎖の各々の過程に巻き込み、第一次生産を付加価値の創出に統合させる。

地域開発(全体予算の70%以上配分)

市民社会、官、民の多様なアクターの参加を促進し、持続的な地域開発を推進する。特にマージナリティの高い、又は極めて高い地域を優先地域とする。

このような戦略を有する農村開発基本プログラムの実施体制は以下のとおりである。

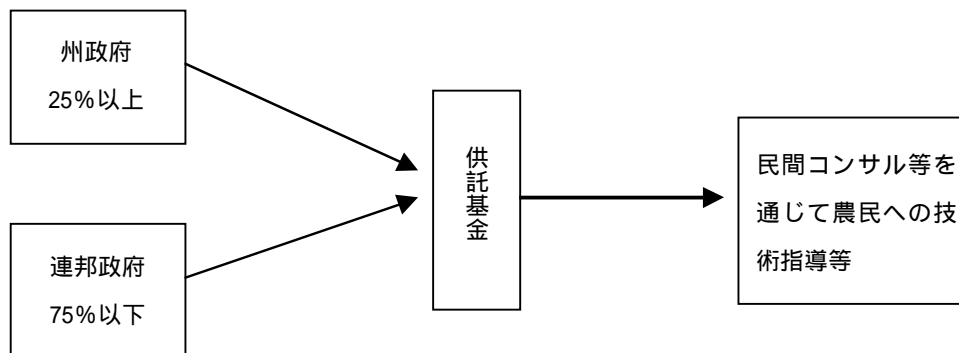


図3 - 3 農村開発プログラムの予算の流れ<sup>20</sup>

プログラム予算の最大75%までを連邦政府が負担することができ、SAGARPAが所管。また各州政府も25%以上を負担し、プログラムへの申請者(受益者)である地域農民も負担を負う。これら三者から拠出された資金は、供託基金としてプールされ、実際の技術指導等を請け負う民間コンサルタントに支払われる。

3構成プログラムごとに若干手続きが異なるが、概略は図3 - 4のとおり。農民グループは、州政府 SDR や SAGARPA 支局、COMCAFE、地域委員会等の窓口申請書を提出する。ムニ

<sup>20</sup> チアパス州 SDR からの聞き取りにより、筆者作成

シピオレベルのコーディネーター等からなる地域委員会で、まず予算重点配分の優先づけ等が確認され、オペレーション・ユニットにおいて、申請の経理・手続きが確認される。その後、州・連邦機関からなる農村開発委員会で承認される。

地域委員会：Consejo Regional de Desarrollo Rural Sustentable

州技術オペレーション・ユニット：Unidad Tecnica Operativa Estatal( UTOE )

農村開発委員会：Comision de Desarrollo Rural( CDR )

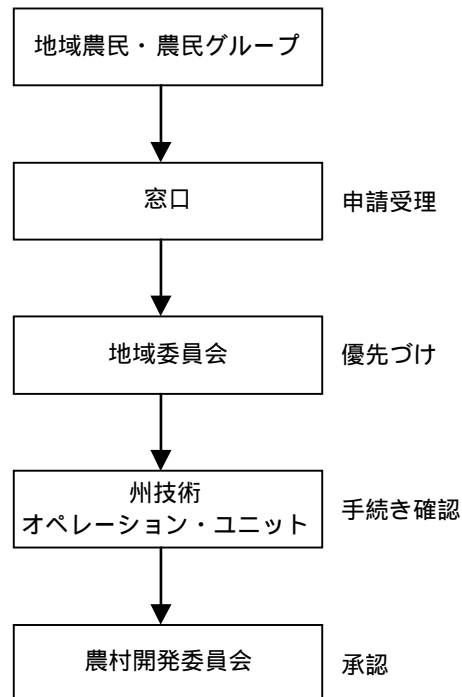


図3 - 4 農村開発プログラムの実施フロー<sup>21</sup>

\* 生産連鎖( Cadena Productiva )について<sup>22</sup>

メキシコ農村の振興政策のあらゆる場面において、「新しい生産連鎖」の実現が唱われている。第一次生産のみの収入では第一次生産者の所得が限られることから、第一次産品に付加価値を加えたうえで、地場の市場に販売して所得向上を図るという、小農の家庭レベルでの零細企業化を支援するものである。そのためには最小規模で小農を組織化すること、生産活動を起業するための資本化が必要条件となる。

<sup>21</sup> チアパス州 SDR からの聞き取りにより、筆者作成

<sup>22</sup> "Las Cadena Productivas Agroalimentarias" SAGARPA

SAGARPA の定義によれば、食糧生産連鎖とは、「農業、牧畜業、林業又は漁業の生産物が、生産、加工そして交換の活動を経て、最終消費者に到るまでのプロセス又は行程。連鎖の過程には、食糧供給のための投入(資金、保険、機材、種子、肥料など)、必要機材、また支援サービス(研究、研修、技術指導など)が含まれる。」

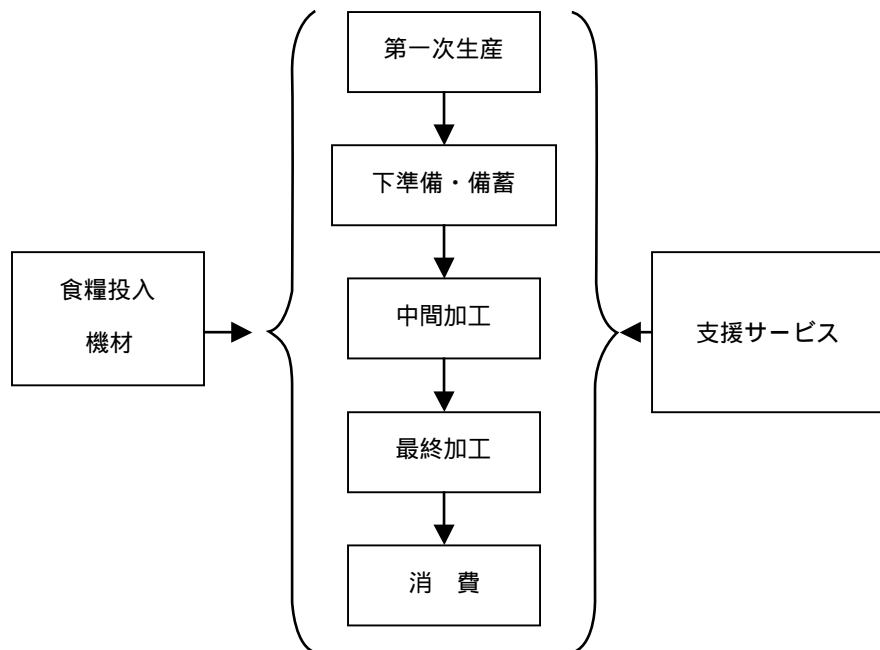


図 3 - 5 生産連鎖の図式化

2000年の統計によれば、メキシコ第一次生産者は農牧漁業産品を国内市場に販売することで、355億ドルの売り上げを上げている(生産品の総売り上げは430億ドルだが、うち75億ドルは輸出市場向け)。またメキシコ消費者は食糧品の国内市場に対し、1,001億ドルを支払っている(全体では1,067億ドル支出だが、うち66億ドルは輸入品)。つまり、この両者の差額646億ドルが、第一次産品の出荷から消費者の手に渡るまでの生産連鎖の過程で創出された付加価値となる。第一次生産者はこれらの付加価値を創出し、所得を増やす機会を逃しているといえる。

### 3 - 2 チアパス州レベルのC/P機関

チアパス州では新政権以降(2000年)、農業開発・農村振興全般を扱う部局として、旧農牧局(Secretaría de Agricultura y Ganadería)から、SDRに組織改編が行われた。農牧業振興のための農業技術に関する行政サービスを扱う部局から、農村地域における総合的な開発(地域の基幹産業であ

る農業の振興だけでなく、地域にとって同じく重要である教育、保健医療等も含むより広い分野を対象とする)を扱う部局へと変革したものである。

このような変革の背景として、1990年代後半以降メキシコで進む地方分権化の動きと、2001年12月施行された持続的農村開発法があげられる。これにより、地域の社会・経済開発の課題に取り組む主体として、連邦政府から地方州政府に、役割・権限の移譲が行われている。農村開発の場合、州 SDR がイニシアティブをとりつつ、州政府及び SAGARPA 州支局の密接な連携が進んでいる。チアパス州政府においても、「農村のための連帯( ALIANZA PARA EL CAMPO )」プログラムの実施において、州 SDR と SAGARPA 州支局が基金を出し合い、共同で案件の監理・運営にあたるなど、両者の連携が確認された。また地方分権化の流れは、連邦から州レベルへの移行だけでなく、さらに州から地域( región )、ムニシピオへと拡大している。これは、州 SDR が行う農村開発関連のプロジェクトの立案・実施において、州内の 16 のムニシピオレベルで任命された地域のコーディネーターの参画が義務づけられていることから明らかである。これら地域コーディネーターは各地域が雇用する有給職であるが、財政的な問題を抱える貧困地域に対しては、連邦政府から補助金制度が適用される<sup>23</sup>。

また持続的農村開発法を受け、「持続的農村開発のための省庁間連携委員会内規」が規定され、連邦レベルにおいて、SAGARPA の主導のもと、関係省庁が農村開発のために省庁間委員会を設置することが決められた。持続的な農村開発のためには、農業、保健医療、教育及びインフラ等のマルチ・セクター間の連携により、多面的なアプローチが重要になるという考え方が浸透しているものと思われる。このような省庁間委員会は単に連邦レベルにとどまらず、州政府レベルでも設置されており、上で述べたように州 SDR 及び SAGARPA 州支局がイニシアティブをとっている。

### 3 - 3 チアパス州レベルでの農村女性プログラム<sup>24</sup>

上述のとおり、SAGARPA 農村開発次官局の「農村開発プログラム 2002」によって農村開発支援の大方針が提示されているが、特に SAGARPA は、メキシコ連邦政府の国際社会に対するジェンダー平等とメキシコ女性の機会の拡大に関する意思表示を受け、農村開発にジェンダーの視点を盛り込んでいる。このような農村女性へのアプローチは、実際には各州において、SAGARPA 支局及び州農村開発担当部局の連携により実施されている。チアパス州においては、具体的には農村女性プログラムが実施されており、マイクロリージョナルなレベル(注)ムニシピオ又はコミュニティ( localidad )レベルと思われる}での経済活動体の新しい形態を促進し、農村での雇用創出・所得向上に貢献するプロジェクトを推進することを目的とし、とりわけ農村の女性グループの活

<sup>23</sup> チアパス州 SDR での聞き取り

<sup>24</sup> チアパス州 SDR からの収集資料より



動に焦点をあてている。

農村女性グループによる、農村住民のための生産的なプロジェクトを支援するプログラムであり、具体的には、生産活動を行う零細企業育成、第一次産業のための機材確保、付加価値創出等を支援するために、技術・販売・組織化・経営・財務・ワークショップ等の指導を行う。またこのプログラムを享受する生産者自身も一定の財政負担義務を負う(実際の技術指導やワークショップの実施は、州政府から承認をえた登録民間コンサルタントが行っており、州やムニシピオレベルで農業普及のための人員を抱えているわけではない)。

2001年の本プログラムの予算は、1,300万ペソであり、6月30日時点では、予算77%を執行済みで、269のプロジェクトを承認し、受益者(女性)は2,965人にのぼる。ソコヌスコ地域では、26の女性グループがプロジェクト承認されている。

#### \* 農村女性プログラム( PROGRAMA DE MUJERES EN EL DESARROLLO RURAL )について

##### 目 的

- 1) 新しい形態のマイクロリージョナルな経済共同体の創設促進
- 2) 適正技術の採用の振興
- 3) 農村での雇用・収入の創出のためのプロジェクトの発展促進

##### 戦略方針

- 1) 経済活動の多様化及び生産連鎖の統合
- 2) 生産・商品化のための共同組合の形態及び参加の強化
- 3) 生産投資・(補助金依存からの)回復のシステム開発
- 4) 食糧安全保障戦略の推進
- 5) 生産活動における技術の改善
- 6) 自然資源の持続的な活用
- 7) 判断・決定機会への女性の進出
- 8) 人間・社会資本の開発
- 9) 結果のフォロー・評価・補整のシステム
- 10) 成功事例の補強と普及

#### 3 - 4 ソコヌスコ地域でのC/P機関

州レベルのC/P機関が州都トゥクストラ・グティエレス(TXG)に集中しており、実際のプロジェクトサイトが州内最大都市であるタパチュラを中心とするソコヌスコ地域に点在することを考えると、プロジェクトサイトにより近い地域の行政機関等との良好な連携体制を築くことが、プロ

プロジェクトの円滑な実施に欠かせない要素となる<sup>25</sup>。

(1) SDR 支局及び SAGARPA 支局

ソコヌスコ地域を所管するために州政府 SDR 及び SAGARPA 共に地区事務所を有する。開発調査時の C/P も多く残っており、今回の事前調査に対しても協力的であった。SAGARPA 及びチアパス州 SDR の組織図、主要担当者は以下のとおりである。

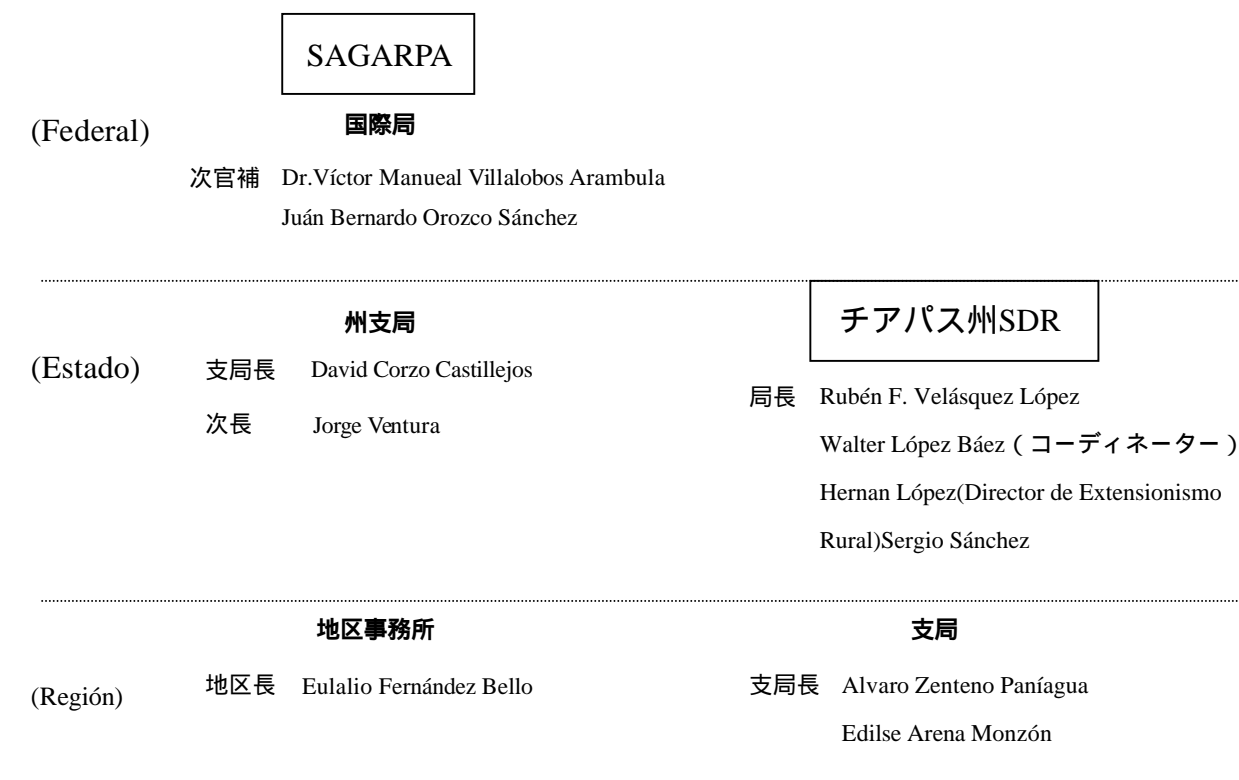


図 3 - 6 SAGARPA 及びチアパス州 SDR 職員配置

(2) FUNDACION PRODUCE CHIAPAS<sup>26</sup>

「農村のための連帯」プログラムにより設立された(1996年3月20日)市民協同体(Asociación Civil)。連邦政府・州政府の支援を受けており、農牧業に関係する高等教育機関、研究機関とも協力関係にある。農牧漁業、農産業、農産物加工、植林等に関する技術革新とその生産者現場への適用を大きな目的としている。具体的には、研究開発内容の決定への生産者の参加

<sup>25</sup> TXG とタパチュラ市の間には山岳地帯が走っており、移動には車両で約6時間、飛行機で40分。ただし飛行機は連日運行ではない。

<sup>26</sup> FUNDACION の概要については、メキシコ事務所収集資料による。

促進、単位ユニット当たりの収益向上及びコスト削減、農村での生産活動への女性参加の実現、農村支援プロジェクトのための資金源の追求である。

組織体系は、上位から、組合員総会、運営審議会、出資者委員会、技術委員会及び地域審議会からなる。組合員総会において決定された事項・事業を実施するのが、運営審議会だが、8名の生産者、連邦及び州政府関係者6名、2名の役員によって構成される。州内にタパチュラを含む6つの地域審議会が機能している。現 Zápata 会長の下、FUNDACION は、チアパス州 SDR 及び SAGARPA の地区事務所と密接な関係にあり、会長は州関係者間での知名度が高く、人望もあつい。開発調査時には、FUNDACION のタパチュラ事務所の一部を、日本人専門家チームの執務場所として提供を受けていた。

FUNDACION の資金源は、連邦及び州政府を中心に投資されているが、他にも生産者、生産者組織、民間企業、NGO などからも資金を集めている。1996～2000年の連邦・州政府投資の予算(ペソ)は下図のとおりである。

表 3 - 7 FUNDACION への連邦・州政府の投資状況(1996～2000年)

(ペソ)

	合計	州政府投資	連邦政府投資
1996	4,360,000	2,860,000	1,500,000
1997	4,060,000	2,860,000	1,200,000
1998	4,536,000	3,220,600	1,315,400
1999	4,844,440	3,144,120	1,700,320
2000	4,919,330	2,182,500	2,796,830
合計	22,779,230	14,266,680	8,512,550

年間約 30 から 40 のプロジェクトを実施しているが(2000年 28 件)、農業分野が 80%以上を占め、残り 20%が漁業分野である。林業分野への協力は少ない。また個別の技術移転の支援では、セミナー開催、展示会実施、研修実施などを行っており、過去の実施実績、参加者数は下表のとおりである。

表 3 - 8 技術移転支援事業の内訳(1996～2000年)

	印刷物	セミナー開催	展示会実施	研修・ワークショップ	モデル圃場公開	技術交換ツアー	参加者数
1996	-	4	6	7	-	-	708
1997	7	43	10	10	25	-	1,369
1998	7	42	1	1	1	3	64
1999	2	24	15	42	22	1	3,654
2000	1	16	10	18	22	1	1,261

### (3) メキシコ・コーヒー委員会( COMCAFE )<sup>27</sup>

SAGARPA に属する組織であり、特にメキシコ国内 12 州に及ぶコーヒー生産の動向を把握し、州ごとの事務所では状況に応じてコーヒー生産農家への支援を実施している。

組織の運営主体は、コーヒー生産者、生産 12 州の知事( 又は代表 )、関連省庁の代表並びに農村融資・銀行の代表から構成される。連邦政府のコーヒー生産者向け補助金のチャンネルとなっており、2001 年には、6,900 万 US ドル( 6.92 億ペソ )の補助金の分配を行った。

具体的なコーヒー生産者支援は、SAGARPA が行っている農村開発プログラム 2002 の一部として行われており、特に組織化されたコーヒー生産者が、第一次生産からさらに付加価値を加えるような生産連鎖の拡充を推進している( Fondo Concursable para Proyectos de Desarrollo de la Cadena Productiva Café )。

チアパス州 COMCAFE<sup>28</sup> においては、「女性コーヒー生産者の統合開発推進( Impulso al Desarrollo Integral de la Mujer Cafetalera )」を州全体で実施( 1 年間 1,258 万 1,600 ペソ )すべく、企画立案中である。

<sup>27</sup> SAGARPA の HP より。

<sup>28</sup> メキシコ全国において、12 州合わせて 69 万 ha においてコーヒー生産が行われており、チアパス州では、22 万 8,254ha において 7 万 3,742 生産者がコーヒー生産に従事している。栽培面積では全国の約 30% を占める。

## 4. 地域農村の現状

### 4 - 1 農村社会

#### 4 - 1 - 1 農業・畜産

チアパス州ソコヌスコ地域の農業・畜産分野についての概況は以下のとおりである。

永年作物ではコーヒー、マンゴー、バナナ、そしてカカオが主要な生産物となっている。特にコーヒーはメキシコの主要輸出農産物であり、ソコヌスコ地域はその重要な生産地となっている。例えば、作付け面積で見ると、コーヒーは7万5,180ha、マンゴーが1万2,657ha、バナナが1万3,447ha、そしてカカオ1万2,657haとなっている。また、ソコヌスコ地域で今後有望と考えられている永年作物の一つがパパイヤであり、現在のところ作付け面積は1,697haしかないが、生産額では永年作物の中で第4位となっている(詳細は表4 - 1参照)。

表4 - 1 チアパス州ソコヌスコ地域の永年作物概況

生産物	作付け面積 ha	収穫面積 ha	単位面積当たりの収量 t/ha	総生産額 ペソ
アボガド	263	263	6.6	9,551,795
カカオ	12,657	10,278	0.06	8,139,900
コーヒー	75,180	51,761	2.24	377,142,252
サトウキビ	9,067	1,328	159.18	22,910,290
油ヤシ	891	891	1.18	1,265,280
レモン	110	36	6.11	1,100,000
マンゴー	14,381	14,381	26.9	603,073,029
カシューナッツ	1,254	1,254	0.42	2,097,560
オレンジ	256	156	5.92	5,079,305
アフリカ・ヤシ	13,861	2,748	38.1	24,645
パパイヤ	1,697	1,697	161.52	269,551,460
牧草	96,169	1,223	38.7	2,461,165
パイナップル	32	32	70.36	4,952,970
バナナ	13,447	13,442	68.3	1,363,567,997
タマリンド	40	40	6	420,000

(SAGARPA 2002)

一年性作物では、トウモロコシが主要な生産物であり、以下大豆、ゴマ、タバコ、ソルガム、フリホール豆となっている(詳細は表4 - 2参照)。ソコヌスコ地域は多様な農産物の産地となり得る潜在能力を有しており、新しい商品作物の可能性としては、チレ、スイカ等が既にその有用性をSAGARPA等により実証されている。また、ソコヌスコ地域は前述の農産物を中心に、メキシコ国内の農業生産物の主要な産地であるが、ここ最近は価格の下落とともに、病虫害による生産量の低下も大きな問題となってきている。

表4 - 2 チアパス州ソコヌスコ地域の一年性作物概況

生産物	生産者数	作付け面積 ha	収穫面積 ha	単位面積当たり の収量 Kg/ha	総生産額 ペソ
トウモロコシ	17,605	51,335.00	39,000.00	7.89	376,271,378
大豆	1,130	12,776.00	12,776.00	2.38	55,689,834
ゴマ	1,963	8,496.00	8,359.00	4.84	1,368,437,824
ソルガム	143	1,466.00	1,253.00	12.85	80,663,328
フリホール豆	1,007	1,137.00	1,137.00	5.26	22,107,880
米	97	222.00	222.00	3.81	1,272,000
スイカ	86	252.00	252.00	87	203,893,200
タバコ	262	1,816.00	1,816.00	2.7	234,140,250
メロン	32	247.00	247.00	5.7	1,642,200
チレ	29	62.00	62.00	0.71	1,016,250
トマト	1	0.31	0.31	1.12	1,736

(SAGARPA 2002)

ソコヌスコ地域における家畜飼育の概況は以下のとおりである。ソコヌスコ地域では牧畜、養豚、養鶏が中心に行われている。牧畜については16のムニシピオで行われてはいるが、そのうち38.6%がMAPASTPEC、13.3%がACAPETAHUAで行われていて、両ムニシピオでソコヌスコ地域全体の約50%を占めている。2002年度のSAGARPAの資料によると、ソコヌスコ地域全体では21万1,697頭の牛が飼育されている。養豚は、牧畜に続く重要な位置を占め、ソコヌスコ地域全体で6万5,332頭が飼育されている。養鶏については、食肉のために飼育されているものが多く、その大部分がCACAOHATANとタパチュラで生産されており、両地域だけで総生産の約85%を占めている(詳細は表4 - 3参照)。また、多くの地域で鶏舎による飼育ではなく、農家の庭先での放し飼いによる飼育が行われているのが現状である。ソコヌスコ地域で今後有望であると考えられるものに養蜂があげられている。基幹作物であるコーヒー、マンゴーの生産と併せて、それらの蜜を活用した養蜂業は有益だと考えられている。

表 4 - 3 ソコヌスコ地域における家畜飼育概況

ムニシピオ	牛	豚	馬	羊	鶏(鶏舎)	鶏(放し飼い)	養蜂
Suchiate	7,986	5,200	650	1,150	18,000	7,000	88
Frontera Hidalgo	3,650	2,650	450	650	8,000	5,000	185
Tapachula	13,790	13,343	1,500	8,000	1,773,600	80,000	2,000
Mazatán	10,801	4,000	1,650	5,000	85,000	16,000	725
Mapastepec	78,450	15,820	5,800	6,800		62,000	325
Acapetahua	34,616	8,742	1,810	4,004		27,263	80
Escuintla	11,520	3,126	2,555	2,705		31,070	220
Acacoyagua	4,223	1,024	388	350		4,235	
Huixtla	11,190	1,703	978	1,500		26,900	600
Villa Comalatlán	13,728	2,850	1,352	2,000		27,421	
Huehuetán	11,663	1,503	1,100	1,570		18,755	280
Tuzantán	4,795	756	220	350		11,654	224
Metapa	1,750	1,250	85	165		4,200	
Tuxtla Chico	2,935	1,430	550	375		476,000	178
Cacahoatán	375	1,350	685	145		1,960,000	182
Unión Juárez	45	585	315	85		1,800	182
TOTAL	211,517	65,332	20,088	34,849	4,320,600	323,298	5,269

( SAGARPA 2002 )

今回の訪問で調査した 10 コミュニティでは、ほとんどのコミュニティでコーヒー、カカオ、トウモロコシの基幹作物をモノカルチャーに近い状態で生産している。10 コミュニティは海拔 600m 以下の低地から、1,940m の高地まで経度的にも広範囲に位置しており、それぞれの地理的環境により、基幹作物としては低地ではカカオ、トウモロコシ、400 ~ 1,200m の地域ではコーヒー、トウモロコシ、それ以上の高地ではトウモロコシが生産されている。前述の基幹作物以外では、マンゴー、アボガド等のフルーツ類、地域によっては少量の野菜の生産も行われている(各 10 コミュニティの農業生産の概況については表 4 - 4 参照)。しかしながら、コーヒー、カカオの基幹作物、そしてごく少量のフルーツ以外の生産物は、そのほとんどが自家消費であり、各家庭の収入にはつながっていない。また、今回調査をしたコミュニティのなかで、Chiquihuites では花卉の栽培をしており、現金収入の一手段となっている。特にクリスマス前には仲買人が村まで買い付けにきているとのことである。今回は限られた時間のなかで、実際に各村すべてで農地を踏査し、詳細な調査を行っていないので明言はできないが、各住民が所有している土地を効率的に利用しているとは考えにくく、いくつかの村コミュニティでは出稼ぎや日雇い労働の影響で農地の維持・管理ができていない様子もうかがえた。

Pavencul、Los Cacaos ではいくつかの農家グループが ISMAM、メソアメリカにおける持続可能な開発のための研究所( IDESMAC )の支援を受けて、コーヒーの有機栽培を行っており、安定した価格での有機栽培コーヒーの販売による収入を得ている。Los Cacaos では実際に有機栽培による農地を見学したが、非常に丁寧に維持・管理されており、コーヒーだけではなくトウモロ

コシ、ランブータンの栽培も開始していた。ただし、有機栽培の開始のためには、一定期間有機肥料のみで栽培し、厳しい審査を受けなければならない、また、その審査にあたってかなりの費用が必要となってくるとのことである。

表 4 - 4 10 コミュニティにおける農業生産の概況

	基幹作物			その他
	コーヒー	トウモロコシ	カカオ	
Pavencul				ジャガイモ、フリホール豆、キャベツ等、その他野菜類
Chanjale Salchiji				ジャガイモ、フリホール豆、キャベツ等、その他野菜類
Rubén Jaramillo				マンゴー、ミカン、その他果樹類
Tuzantán				
Francisco Sarabía				マンゴー、ミカン、その他果樹類
Los Cacaos				フリホール豆、トマト、チャヨーテ、アボガド、その他果樹類
El Aguila				フリホール豆、トマト、チャヨーテ、その他果樹類
San Rafael				果樹類、野菜類(家庭菜園)
Chiquihuítas				フリホール豆、その他花卉類

( Brisas del Mar のデータなし )

また、どのコミュニティにおいても、各家庭で小家畜(鶏、豚、七面鳥、アヒル等)の飼育が行われている。この小家畜の飼育は女性が中心になって行われており、ごくたまに近所へ販売する場合もあるが、ほとんどが自家消費用である。飼育の方法については、豚舎や鶏舎を使っでの飼育ではなく、家屋周辺での放し飼いであり、その飼育数も鶏で10羽以下、豚については1、2頭程度と小規模である。今回調査したコミュニティでは、Los Cacaosにおいて牛の飼育をしているということが確認でき、牛の飼育については男性の仕事であるということであった。

#### 4 - 1 - 2 農村生活基盤

調査団による10コミュニティの農村調査の結果に基づき、農村の基礎的な情報(村の設立時期、村所有の土地面積、人口、水道・トイレ・電気等の基礎的なインフラの状況)について簡単にまとめると表4-5のとおりである。



表 4 - 5 10 コミュニティの基礎情報

ムニシピオ	コミュニティ	成 立	人 口	総所有土 地面積( ha )	電 気	水 道	トイレ	ガ ス
TAPACHULA	Pavencul	1929	5,000以上	4,411	(一部なし)	(一部なし)		ほとんどの地域 が薪による竈を 使用(一部ガス を使用)。
TUZANTAN	Chanjale Salchiji	1900 以前	360	2,200				
	Tuzantán	1942	約 2,600	962				
	Francisco Sarabía	1952	2,400	55				
	Rubén Jaramillo	1997	150 ~ 160	312	(一部なし)			
SUCHIATE(注)	Brisas del Mar							
ACACOYAGUA	Los Cacaos	1930	約 2,000	780				
CACAOATAN	El Aguila	1916	約 2,500	219				
UNION JUAREZ	San Rafael	1939	499	288				
	Chiquihútes	1910 以前	366					

(注)Brisas del Mar では調査を実施していない。

各コミュニティとも、生活に必要なインフラ設備のうち、電気、水道はおおむね整っている。また、通信についてはすべてのコミュニティの役場に無線が完備されており、タバチュラを含む各ムニシピオの中心地、及び他地域との連絡は比較的スムーズに行われている。また、数台の公衆電話が存在するコミュニティや村人の中には携帯電話を所有している村人がいるコミュニティもいくつかあった。ガスについてはあまり普及しておらず、ほとんどの地域で薪を使用したカマドによる調理が行われている。そのカマドは、いわゆる改良カマドではなく、従来どおりのカマドが調理しやすい高さに設置されただけの形態であった。

また、各コミュニティまでの道路状況について言うとすべてのコミュニティまで車(四輪駆動)で入ることに問題はなく、各コミュニティから周辺の主要都市へ定期的な交通機関も存在する。しかし、ムニシピオの中心である Tuzantán、幹線道路沿いの Aguila を除いては、主要都市までの道路整備についてはまだ必要な部分がある。特に Pavencul はタバチュラ市から約3時間離れたグアテマラ国境付近に位置している。

教育については、Rubén Jaramillo 以外の地域には幼稚園、小学校は存在するが、中学校までが存在するところは Pavencul、Chanjale Salchiji、Tuzantán、Los Cacaos、Aguila であり、高校までが存在するところは Tuzantán のみである。それぞれの教育機関がないコミュニティでは、生徒達は近隣の存在する町へ通うこととなる。もちろん、すべての中学校、高校の教育を受けるべき年齢の人が、近隣のそれぞれの教育機関に通うことができているわけではない。

保健・医療はやはり Tuzantán コミュニティ以外では充実していない。各コミュニティで一応医療施設は存在するものの、「医師が常駐していない」、「医薬品が不足している」等の問題を抱えている。

各地域の経済状況について言うとすべてのコミュニティで、コーヒー、トウモロコシ、カカ

オの基幹作物の価格の暴落が大きな影響を与えている。特にコーヒー生産者が多い当地域では、コーヒーの価格の下落に伴う収入の低下が著しい。その結果、農業生産による収入だけでは生活が成り立たず、近隣の町での日雇い労働により家計を賄っていることが多い。また、若者を中心に男性がメキシコ北部の Tijuana( アメリカ合衆国との国境付近)、更にはアメリカ合衆国へ数か月間から数年間出稼ぎに行く状況が、コミュニティによりその割合に差はあるものの一般的に見られる。一方、各コミュニティで青年層を中心にメキシコ北部やアメリカ合衆国に出稼ぎに行く状況でありながら、コーヒーの生産地、例えば Los Cacaos、El Aguila 等では、コーヒーの収穫時期(9～12月頃)にはグアテマラからの労働者を雇っている。

#### 4 - 1 - 3 農村社会

今回調査した 10 コミュニティにおいて、POUM についての聞き取り調査を行った。これは、住民へのインタビューのなかで「現在の暮らしに満足してますか」、「あなたの今の暮らしは、あなたの両親と比べてよくなっていますか」、「あなたの子供たちの生活は今のあなたの暮らしよりよくなると思いますか」という質問をし、住民自身がどれだけ状況の変化を前向きにとらえ、今後の地域の発展を肯定的に考えているかを推し量るものである。いくつかのコミュニティでは、やはりコーヒー、カカオの値段の下落のため以前より暮らしぶりは悪くなり、今後も良くなる見通しはないという意見も聞かれたが、インフラの状況や、教育等のことに話しが及ぶと、やはりかつてより状況は良くなっていることを住民自身が確認していた。また、将来についても、希望が含まれていることはうかがえるが、前向きに考える住民が多く見られた。

同様に「社会資本」については、例えば「家庭において主婦が病気等で家事ができないときにはどうするか、家庭内で何とかするのか、近隣の家庭が助けてくれるのか」、「コミュニティ内の組織(例えば水道管理委員会)での協同作業の参加状況や決まり事」等を、POUM 同様住民にインタビューすることにより、各コミュニティの共同体としてのまとめり、互助精神等を考察した。前述の「家庭での...(以下略)」については、いくつかのコミュニティでは「近所からはだれも助けに来ない。自分の家庭の女の子、父親等が何とかする」という答えが多く見られたが、他方、隣り近所で助け合う例や、あるいはあるキリスト教のグループでは、「募金活動により経済的に支援を行う」という例もあった。コミュニティ内組織の共同作業については、ほとんどの村で水道の維持・管理、道路の拡張・修復等が実際に行われ、また、それぞれの村の決まり、参加しないものへの罰則等も整備されており、コミュニティとしてのまとめり、各組織としてのまとめりがうかがえた。

#### 4 - 1 - 4 農村組織

今回調査を実施した10コミュニティのなかで多く見られたエヒード農民及び小規模農民による生産者組織は、社会連帯組合( Sociedad de Solidaridad Social : SSS )、国家農民連合( Confederación Nacional Campesina : CNC )である。これらの組合はSAGARPA、農業検察庁等に法的に承認、登録されている。しかしながら、これらの組織は存在するものの、具体的な活動内容や組織を通しての技術指導等を受けたという意見は住民からはほとんど聞かれなかった。

コミュニティの共同体内での組織については、ほとんどのコミュニティで水道組合、道路等の維持・管理組合、幼稚園・小学校・中学校のPTA等が存在する。これらは、前述の社会資本の箇所でも述べたが、参加者には一定の規則があり、場合によっては罰則・罰金等も課せられることがある。

また、これもほとんどのコミュニティでPROGRESAによって形成された、小中学生のための奨学金制度の受給のための組織が存在する。ただし、現在ではその制度の名称はPROGRESAではなく、OPORTUNIDADESという名称に変わっている。このプログラムは、1997年に社会の最下層で生活を余儀なくされている人々に対し、教育、衛生、栄養の観点から改善のためのプロジェクトを実施する目的で始まった。具体的には毎月健康診断を受けるという条件で家族単位に経済援助を行い、また小中学生のために奨学金を支給するというものであった(なお、当組織を含め、女性の組織についての詳しい内容は、農村女性の箇所で述べることにする)。

#### 4 - 1 - 5 農業技術普及

農民に対して農業技術を普及する機関としてはSAGARPA、SAGARPAに属する国立林業・農業・畜産研究( INIFAP )、農業開発支援センター( CADER )等の公的機関、UNACHI、ECOSUR等の大学、国際農牧調査・能力開発センター( CIICA )等の民間機関が存在するが、今回の農村調査ではほとんどのコミュニティで、ここ数年の間にそれらの機関から技術指導を受けたという声は聞かれなかった。わずかながら、SSS経由での農業技術指導やALIANZA PARA EI CAMPOによる技術指導を受けたことがあるという事例が数件見られたのみである。

また、Pavencul、Francisco Sarabíaには、ISMAMにより有機栽培の技術指導を受けたグループが、Los CacaosにはIDESMACにより有機栽培の技術指導を受けたグループがそれぞれ存在する。マヤ系先住民族 Mame グループを中心としたグループの生活向上をめざした有機栽培コーヒー生産者の社会連帯組合( ISMAM )は、1985年にカトリック教会リーダー( カテキスタ )の協力を得て設立された有機コーヒーの栽培・販売のグループである。現在では、有機コーヒーの栽培・販売だけではなくコーヒーを中心とした果樹を含むアグロフォレストリーの推進、海岸部でのエコツーリズム等にも力を入れている。今回の調査では、Pavencul、Francisco Sarabíaで、コーヒーの有機栽培を中心に指導、販売のサポートを行っていた。IDESMACは、コーヒーを中

心とした有機農業の指導を実施している NGO 組織である。Los Cacaos では、コーヒーだけではなくトウモロコシ、フルーツ類(ランブータン)等の有機栽培の指導もしていた。それぞれ有機栽培を実施するには、両組織の実施する研修を受講する必要がある(技術者が村まで来てセミナーを開催してくれる)。ただし「有機栽培である」という認可を得るのは容易ではなく、最低でも3年間有機肥料による栽培をしたという実績が必要であるとともに、その認可を受けるための調査を受けなければならない。

#### 4 - 1 - 6 その他

ソコヌスコ地域における農村金融の状況については、今回の調査では詳しく調査できていない。女性の組織化を通じた小規模金融の存在はいくつかのコミュニティで確認できたが、男性を中心とした農業生産者に対する小規模金融、営農融資の存在の確認はできなかった。農業信用基金(FIRA)のホームページよれば、チアパス州においても農業生産技術向上のためのセミナーの実施、農業資機材購入、及び修理等への融資を FIRA の資金を基に実施しているとのことである。

### 4 - 2 農村女性

#### 4 - 2 - 1 住居・居住環境

ソコヌスコ地域ムニシピオ別のマージナリティの一覧表は以下のとおり{ Índices de Marginación, 2000 CONAPO( 国家人口審議会 )に基づく }。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
メキシコ	9.46	28.46	9.90	4.79	11.23	45.94	14.79	30.97	50.99	
チアパス州	22.94	50.31	19.33	12.01	24.99	65.03	40.90	61.21	75.89	大変高い
ソコヌスコ地域	19.20	49.00	18.61	11.26	36.00	67.06	35.37	72.47	76.53	
Acacoyagua	18.19	56.73	18.52	15.69	23.37	76.64	36.68	59.68	83.22	高い
Acapetahua	20.94	54.76	24.72	9.11	46.94	65.62	37.68	77.57	83.13	高い
Cacahoatán	19.39	46.80	5.96	8.62	8.46	67.66	25.73	65.96	78.95	高い
Escuintla	19.16	54.79	24.02	16.43	13.30	69.84	30.07	70.45	80.73	高い
Frontera Hidalgo	23.05	47.36	18.57	14.40	50.43	66.05	48.33	100.00	76.74	高い
Huehuetán	20.82	48.78	30.24	13.58	55.56	71.62	42.46	61.13	72.30	高い
Huixtla	14.76	42.19	15.76	8.48	29.19	63.21	21.86	44.32	67.25	中程度
Mapastepec	21.02	55.67	15.95	12.06	37.70	63.79	27.44	62.01	72.89	高い
Mazatán	18.94	48.09	24.65	7.93	72.84	67.27	52.77	77.25	83.12	高い
Metapa	17.73	42.36	10.79	8.97	31.49	60.08	36.15	100.00	64.28	高い
Villa Comaltitlán	21.07	54.70	30.43	15.41	46.81	73.66	37.64	72.56	82.70	高い
Suchiate	22.08	52.63	15.61	7.32	32.79	65.39	40.54	58.09	77.17	高い
Tapachula	12.37	34.44	10.42	6.25	34.22	54.56	27.04	30.53	60.85	中程度
Tuxtla Chico	21.63	42.90	20.85	9.97	58.70	65.90	37.44	79.91	71.25	高い
Tuzantán	17.46	53.76	23.84	11.80	30.86	74.62	33.04	100.00	85.91	高い
Unión Juárez	18.54	48.07	7.37	14.20	3.41	67.05	30.84	100.00	83.93	高い

1. 15歳以上の非識字率
2. 15歳以上の非初等教育修了者率
3. 下水設備のない家屋の居住者率
4. 電気のない家屋の居住者率
5. 上水設備のない家屋の居住者率
6. 1部屋当たりの構成員2名以上の家屋率
7. 土床の家屋の居住者率
8. 人口5,000人以下の地区の居住者率
9. 最低賃金の2倍以下の所得者率
10. マージナリティの度合い

上表を見ると明らかのように、16のムニシピオのうち、HUIXTLAとタパチュラのマージナリティが「中程度」と位置づけられている以外はすべてのムニシピオのマージナリティが「高い」と位置づけられている。

住居環境について見ると、土床の家屋の居住者率はソコヌスコ地域の平均は35.37%とチアパス州の平均の40.9%よりも5%程低く、わずかながら状況は良いとはいえるものの、各ムニシピオの居住者率は21.86～52.77%で推移しており、域内で大きな格差があることが分かる。また、1部屋当たりの構成員2名以上の家屋率の同地域の平均は67.06%であり、チアパス州の平均の65.03%よりも2%程高くなっている。家庭の基礎的なインフラの整備状況を見ると、下水設備、電気の普及の度合いはチアパス州の平均とほぼ変わらないが、上水設備のない家屋の居住者率は36%と州平均よりも10%以上高くなっており、域内で非常にばらつき(3.41～72.84%)もあるが、州平均よりも数値が低いのはわずかに3つのムニシピオのみであり、同地域の上水設備の普及は州内でも遅れが目立つといえる。

次に、今回の調査対象10コミュニティの住居・家庭の基礎的なインフラ状況の調査結果、

INEGI の「XII Censo General de Población y Vivienda 2000」の家族数・人口のデータを表にまとめると下記のとおりである。

	総家族数	総人口*	女性	男性	住居	水道	トイレ	電気	ガス
チアパス	806,551 <sup>29</sup>	3,920,892 <sup>30</sup>	1,979,012	1,941,880					
Pavencul	125	848	412	436	床 - 土 天井 - トタン 壁 - 木、草葺き				電***
Chanjale Salchiji	76	488	245	243	床 - 土 天井 - トタン 壁 - 木		**	**	電
Rubén Jaramillo	データなし				床 - 土 天井 - トタン 壁 - 土、ブロック				電
Francisco Sarabía	196	1,013	518	495	床 - コンクリート 天井 - トタン 壁 - ブロック				電
Tuzantán	499	2,368	1,200	1,168	コンクリート 天井 - トタン 壁 - コンクリート				ガス電****
Brisas del Mar	89	395	183	212	床 - 土 天井 - 木、草葺き 壁 - 木、草葺き	-	-	-	-
Los Cacaos	139	893	438	455	床 - コンクリート 天井 - トタン 壁 - 木、コンクリート	**		**	電(90%) ガス(10%)
El Aguila	259	1,268	654	614	床 - コンクリート 天井 - トタン 壁 - コンクリート				電
San Rafael	91	498	262	236	床 - コンクリート 天井 - トタン 壁 - ブロック		**	**	電
Chiquihuites	57	343	177	166	床 - 土 天井 - 木、草葺き 壁 - 木、草葺き		**	**	電

\* 総人口に関しては、Pavencul、Francisco Sarabía、Los Cacaos、El Aguila で調査団による調査(グループ・インタビュー)結果と上記の INEGI のデータには、1,000 人以上の大きな開きがあるが、これは INEGI のデータは各コミュニティで核となる集落の人口のみをカウントしたことによるものと思われる。例えば、Pavencul は 8(11?) の barrio(地区)に分かれているということであり、住民によると総人口は 5,000 人以上にのぼるとのことであった。

\*\* 一部なし。

\*\*\* 新使用

\*\*\*\* ガス使用家庭の方が多いと思われるが、確認できず。

<sup>29</sup> 居住者情報の得られなかった 2 万 7,120 家屋を含む。

<sup>30</sup> 居住者情報の得られなかった 2 万 7,120 家屋に居住すると想定される 13 万 5,600 人の住民数を含む。

これを見ると分かるように、Pavencul、Brisas del Mar、Los Cacaosを除く7つのコミュニティで女性人口の方が男性人口よりも多くなっている。この傾向はチアパス州、メキシコで同様に見られる。

各コミュニティとも、生活に必要なインフラ設備のうち、電気、上下水道はおおむね整っている。住居に関しては、コンクリートの床にトタン屋根、ブロック作りの家が大半を占める Tuzantán、El Aguila、同じくコンクリートの床にトタン屋根で、ブロック又は木作りの家が多い Los Cacaos、San Rafael、また、土の床にトタン屋根、土又はブロックの家が多い Rubén Jaramillo、同じく土の床、トタン屋根で木又は草葺きの家が多い Pavencul、Chanjale Salchiji、土の床で、屋根、壁共に木又は草葺きの家が多い Brisas del Mar、Chiquihuites、計5グループに分けられ、順に貧困の度合いが増す形となっている旨が推察される。

ガスはあまり普及しておらず、Tuzantánを除くほとんどすべてのコミュニティで薪を使用したカマドによる調理が行われている。カマドといってもいわゆる改良カマドではなく、従来どおりのカマド(鍋等を載せるために石又はブロックを並べて作られた枠組み)が調理しやすい高さの木の台の上に設置されただけの形態であった。これでは熱効率が悪く、料理により多くの時間がかかり、女性(ほとんどの場合、料理をするのは女性)により多くの労働負荷がかかっている。また、より多くの薪を必要とすることから多くの木を切らねばならず、過剰な伐採による環境の悪化(土壌流失、雨期の洪水の多発、地球温暖化等)にもつながる。加えて、調理の際に煙を直接吸い込むことから、女性は呼吸器系の病気を引き起こしやすく、目の炎症にもつながり、またやけどの危険性も高い。Pavenculで呼吸器系の病気が多いことがあげられていたが、このカマドによる調理が原因となっているものと思われる。他のコミュニティでは呼吸器系の病気に関しては女性からは何も聞かれなかったが、ガスの普及率が高いと思われる Tuzantán 以外は、何らかの呼吸器系の問題があるものと思われ、更なる調査が必要である。

通信に関してはすべての村役場に無線が完備されており、タバチュラを含む各ムニシピオの中心地、及び他地域との連絡は比較的スムーズに行われている。各家庭には一般にラジオが普及しており、San Rafaelのように大半の住民がTVをもつコミュニティもある。また、公衆電話も Rubén Jaramillo、Francisco Sarabíaを除く各コミュニティに最低1台は設置されており、なかには数台の公衆電話が存在するコミュニティ(El Aguila、Tuzantán)や携帯電話を所有している住民がいるコミュニティ(Los Cacaos、Tuzantán、San Rafael、Chiquihuites、El Aguila)もあった。

#### 4 - 2 - 2 教育、保健衛生、栄養

ソコヌスコ地域のムニシピオ別の識字率に関する状況を、INEGIの「Anuario Estadístico del Estado de Chiapas」(2001)を基に表にまとめると、以下のとおりである。

	6～14歳の読み書きのできない児童の比率%(2000)		15歳以上の非識字率%(2000)	
	女子	男子	女性	男性
チアパス州	21.5	21.9	28.9	20.0
ソコヌスコ地域	16.4	17.6	23.9	14.3
Acacoyagua	20.3	20.5	23.7	13.0
Acapetahua	16.2	18.7	25.1	16.9
Cacahoatán	16.9	17.4	24.6	14.0
Escuintla	18.4	18.6	24.3	13.9
Frontera Hidalgo	14.3	16.0	26.6	19.2
Huehuetán	16.8	16.8	26.3	15.1
Huixtla	14.4	17.0	18.6	10.6
Mapastepec	17.1	18.5	25.6	16.3
Mazatán	15.2	17.9	22.6	15.2
Metapa	9.8	12.0	22.6	12.5
Suchiate	19.6	21.4	26.3	17.6
Tapachula	14.7	15.1	15.7	8.6
Tuxtla Chico	13.2	13.3	26.9	16.1
Tuzantán	18.7	18.5	23.4	11.4
Unión Juárez	15.6	17.7	24.2	12.8
Villa Comaltitlán	20.7	22.2	26.2	16.0

上図を見ると分かるように、ソコヌスコ地域の6～14歳までの読み書きのできない児童の比率の平均は、女子、男子各々チアパス州平均の比率よりも5%、4%程低くなっており、同地域の初等教育はチアパス州内の他地域に比べ幾分普及しているものと思われる。ただし、各ムニシピオの比率は、女子の場合、9.8～20.7%で推移し、男子は12～22.2%であることから、域内格差が激しく、ムニシピオによっては州平均よりも読み書きのできない児童の割合が多いといえる。また、TUZANTAN以外のすべてのムニシピオで女子に比べて男子の読み書きのできない比率の方がわずかながら高くなっており、チアパス州の平均でも同様である。

一方、15歳以上の非識字率も、ソコヌスコ地域の平均は上述の6～14歳の場合と同様、チアパス州の平均比率よりも低くなっている(女性の場合は5%、男性の場合は約6%低い)。しかしながら、各ムニシピオの比率を見ると、女性は15.7～26.9%、男性は8.6～19.2%となっており、やはり域内における格差が著しい。また、チアパス州の平均と同様に、ほぼすべてのムニシピオで女性の非識字者の比率が男性よりも約10%高くなっている。

以上のことから、初等教育に関しては男女の差はほとんど見られない、かえって読み書きができる女子の割合が高くなっているにもかかわらず、初等教育以上になると男女差が著しくなっていることが分かる。この女性の教育へのアクセスが特に小学校以上のレベルにおいて限定されているという傾向は、本地域だけでなく、チアパス州ひいてはメキシコ国内でほぼ一樣に見ることができる。

今回調査を行った10コミュニティにおいては、時間的な制約から、コミュニティにおける小中高等学校の数と生徒数というベーシックな状況の確認程度しかできなかったが、その調査結



果に CONAPO の 15 歳以上の識字者数・比率%のデータを加えたものが以下の表である。

	15 才以上の識字者数 (率%)	教育施設	特記事項
チアパス州	1,756,020( 44.8 )		
Pavencul	203( 23.9 )	幼稚園 - 5 小学校 - 4 テレセクンダリア - 1	・同コミュニティは標高 2,000m 以上の山岳地帯にあることから、学校への通学が容易ではなく、多数の生徒がバス*で通学せざるを得ず、バス代がかなりの負担となっている。 ・女性の平均初婚年齢は 15 歳で、1 人当たり 5 ~ 6 人の子供をもつのが普通であり、女性の教育機会を狭める要因となっている。
Chanjale Salchiji	129( 26.4 )	幼稚園 - 1 小学校 - 1( 85 人 )	グループ・インタビューの際に女性の参加がなく、女性へのインタビューを実施できず。
Rubén Jaramillo	データなし	幼稚園 - 1	小・中学校は 4km 離れたコミュニティ( Tuzantán であると思われる )にある。
Francisco Sarabía ( 計 )	501( 49.5 )	幼稚園 - 1 小学校 - 1 中学校 - 1	
第 1 セクション	294( 49.2 )		
第 2 セクション	207( 49.8 )		
Tuzantán	1,325( 56.0 )	-	時間の都合により確認できなかったが、同コミュニティはムニシピオの中心であり、幼小中高と存在するものと思われる。
Brisas del Mar	161( 40.8 )	-	調査できず。
Los Cacaos	367( 41.1 )	幼稚園 - 1 ( 42 人 ) 小学校 - 1 ( 210 人 ) テレセクンダリア - 1 ( 60 人 )	・学校の部屋数が不十分。 ・テレセクンダリアにコンピューターがあるが、住民は使い方を知らないため、研修の開催を希望している。 ・Acacoyagua 市の大学準備校に 10 人の学生が通っている。
El Aguila	675( 53.2 )	小学校 - 1( 180 人 ) 中学校 - 1( 120 人 )	女性の参加がなく、女性へのインタビュー実施できず。
San Rafael	247( 49.6 )	幼稚園 - 1( 25 人 ) 小学校 - 1( 96 人 )	近隣のコミュニティにある中学校に 40 人の生徒が通っている。
Chiquihuites	143( 41.7 )	幼稚園 - 1( 22 人 ) 小学校 - 1( 65 人 )	訪問の際に住民が集合しておらず、女性 1 名を含む 3 名の住民への聞き取り調査を実施。

\* いわゆる日本で言うところのバスではなく、途上国で特に農村でよく見られる、小型のピックアップ車による生徒の通学のための有料のサービス(個人又は公共の)があるものと思われる。

上記の表を見ると分かるように、Rubén Jaramillo 以外の地域には幼稚園、小学校は存在するが、中学校までが存在するのは Pavencul、Francisco Sarabía、Tuzantán、Los Cacaos、El Aguila であり、高校までが存在する(と思われる)のは Tuzantán のみである。それぞれの教育機関がないコミュニティでは、生徒は近隣の町にある学校へ徒歩又はバス等の交通機関を利用して通っている。コミュニティによっては最寄りの学校ですら、徒歩での通学が困難な遠方にあるケース、

またそのためバスで通わなければならないケースもあり、後者の場合、特に Pavencul ではバス代に 1 人当たり 1 日の往復に 20 ペソかかるとのことであり、バス代の工面が大変であるとの訴えが見られた。コミュニティに中高等教育機関が存在しないことはほぼすべてのコミュニティで問題とされており、その充実が望まれている。

識字率に関する調査はできなかったが、CONAPO のデータによると、上記の表のとおり、Pavencul、Chanjale Salchiji、Brisas del Mar、Los Cacaos、Chiquihuites の 5 つのコミュニティで、チアパス州よりも 15 歳以上の識字者数・率が低く、すなわち非識字者の比率が高くなっている。特に Pavencul、Chanjale Salchiji の 2 つのコミュニティでの 15 歳以上の識字者の比率が各々 23.9 %、26.4%と州平均比率の約 2 分の 1 と低くなっているのが目立つ。

Pavencul はタパチュラの中心地から車で約 3 時間のグアテマラとの国境に近い約 2,000m の高地( 標高 1,940m )にあり、8( 11? )の地区からなり、最も離れた地区からは中心地区まで徒歩で 9 時間かかるなど、ムニシピオ( タパチュラ )のなかでもマージナリティがかなり高く、先住民民族( Mame 族：マヤ時代以前から本地域を中心に定住していたマヤ系先住民民族 )が多いことがその原因であると思われる。女性グループへのインタビューの際には皆何の支障もなくスペイン語を話し、会話に問題はないとのことであったが、読み書きには不自由があるとのことであった。また、上述のように、CONAPO の Pavencul のデータはコミュニティの中心地区の住民 848 人だけのものであることから、コミュニティ全体の実際の 15 歳以上の識字者の比率はかなり低いものと思われる。背景要因として、同コミュニティの女性の平均初婚年齢の低さ( 15 歳 )、女性が多産であること( 1 人当たり 5 ~ 6 人の子供をもつ )があげられる。

また、Chanjale Salchiji は Pavencul より車で約 30 分程タパチュラ市方面への道を下った所であり、やはりマージナリティが高いことが 15 歳以上の非識字率の高さの原因であると思われる( グループ・インタビューの際には女性の参加者がいなかったことから、彼女達に直接確認することはできなかった )。

加えて、Rubén Jaramillo のデータは残念ながらないものの、同コミュニティには幼稚園しか存在しないこともあり、15 歳以上の非識字者の率はチアパス州の平均比率よりも高いものと推測される。

次に保健衛生に関してであるが、ソコヌスコ地域での保健サービスに関する権利保有者の状況は下図のとおりである{ INEGI の「Anuario Estadístico del Estado de Chiapas」( 2001 )に基づく }。

	権利不所持者の 比率(%)	権利保有者の比率(%)		
		IMSS*	ISSSTE**	その他
チアパス州平均	77.8	66.7	25.2	8.1
Acacoyagua	90.8	74.6	22.9	1.5
Acapetahua	84.9	75.0	20.5	4.5
Escuintla	79.5	63.7	29.0	7.3
Cacahoatán	79.6	76.2	20.6	3.2
Frontera Hidalgo	81.9	62.2	25.9	11.9
Huehuetán	80.2	50.9	41.2	7.9
Huixtla	72.6	77.9	19.5	2.6
Mapastepec	66.5	86.0	13.2	10.8
Mazatán	80.9	80.4	13.1	6.5
Metapa	71.7	56.1	33.3	10.6
Schiate	84.6	70.6	27.5	1.9
Tapachula	61.9	74.8	17.8	7.4
Tuxtla Chico	78.9	52.8	38.9	7.3
Tuzantán	89.3	71.6	22.8	5.6
Unión Juárez	79.5	71.4	19.9	8.7
Villa Comaltitlán	91.4	62.8	31.8	5.4

\* Instituto Mexicano del Seguro Social : メキシコ社会保健協会

\*\* Instituto de Seguridad y Servicios Sociales de los Trabajadores del Estado : 州労働者の安全と社会サービスに関する協会

上表より、保健サービスの権利保持者の割合はソコヌスコ地域では非常に低いことが分かる。チアパス州の平均値よりも保持者の割合が低い(非保持者の割合が高い)ムニシピオは、12と域内の4分の3にのぼる。当該地域では極めて保健サービスへのアクセスが限られているといえる。

住民の保健衛生サービスを行う機関としては、保健省(SSA)、IMSS、ISSSTE等があり、農村にはSSA、IMSS農村クリニック(IMSS-UMR)がある。ソコヌスコ地域では、公共保健・医療機関としては、18のIMSS、7のISSSTE、1のチアパス州労働者のための社会保健協会(ISSTECH)、農村部では34のSSAの保健所、32のSSAのCasa de Salud、92のIMSSの農村クリニック、3のIDHがある。しかしながら、利用者の数はかなり限られている。また、保健サービスの権利保持者の大多数はIMSS又はISSSTEよりサービスを受けており、6割以上はIMSSを利用している。

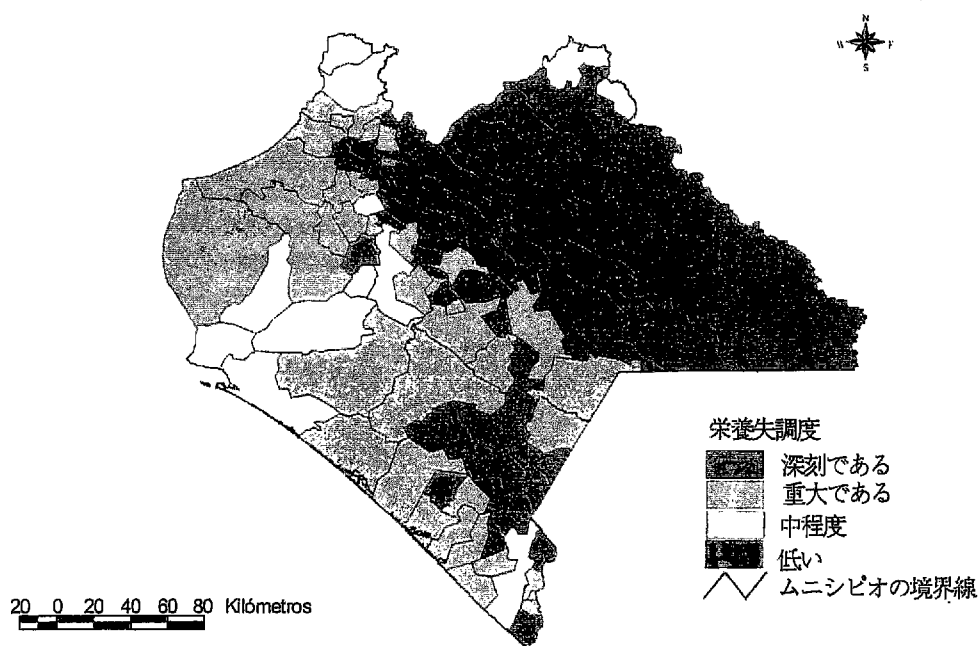
調査対象の10コミュニティでも、やはり時間的な制約から、診療所・医療従事者の有無、コミュニティでよく見られる病気等保健衛生の基礎的な事項に関する調査しかできなかったが、結果をまとめると次頁のようになる。

	保健衛生	特記事項
Pavencul	診療所 - 1 ・ 医者(男) - 1 ・ 看護師(女) - 1	・ 1日に70～80人の患者あり。 ・ 特に呼吸器系の病気、下痢(5月)が多い。
Chanjale Salchiji	農村診療所 - 1 ・ 看護師(女) - 1	・ 風邪、下痢、咳、発熱、頭痛、デング熱、コレラ、サルモネラ菌感染等がよく見られる。
Rubén Jaramillo	なし	3km離れた Tuzantán に診療所あり。
Francisco Sarabía	なし	3km離れた Tuzantán に診療所あり。
Tuzantán	診療所	
Brisas del Mar	-	調査できず。
Los Cacaos	診療所 - 1 ・ 看護師(女) - 1 (月 - 金)	・ 診療所に十分な薬がなく、町の病院に行く必要あり。1回の診察代は300ペソと割高である。 ・ よく見られる病気はデング熱、下痢、咳。オンコセルカ病のケースもわずかながらあり。
El Aguila	医療ユニット ・ 看護師(女) - 1 ・ 助手 - 1	
San Rafael	医療ユニット ・ 技術者(女) - 1 (月 - 金)	・ 医療ユニットにはあまり薬が常備されておらず、住民は処方箋を買い、近隣の Cacaohatán 市まで薬を買いに出る必要あり。 ・ コミュニティでよく見られる病気は、風邪に発熱である(デング熱はなし)。
Chiquihuítas	保健所 - 1 ・ 普及員(男) - 1	・ 普及員はコミュニティ内に住んでいる。 ・ よく見られる病気は咳、発熱等であり、薬はコミュニティ外の診療所又は病院で購入。

上表を見れば明らかであるが、ムニシピオの中心であり、基礎的インフラの面で10コミュニティ中比較的恵まれている Tuzantán を除き、各コミュニティでは保健医療システムは充実しているとはいえない状態である。Rubén Jaramillo、Francisco Sarabía 以外、コミュニティには一応何らかの医療施設は存在し、医療従事者は勤務しているものの、各コミュニティでは、医療従事者は多くの場合、月～金曜日のみの勤務で近隣の町より通っているという状況で常駐しておらず(Chiquihuítas を除く)、しかも各施設に必ず医師がいるという訳ではなく{医師(男)がいるのは Pavencul のみ}、看護師(女)、技術者(女)、普及員(男)のいずれか1名のみ勤務体制であるのがほとんどで、医薬品は慢性的に不足しているなど、問題は山積みである。特に Pavencul のように1日の患者数が多いコミュニティでは、駐在医師の増員が望まれている。また、ほとんどすべてのコミュニティの医療施設では薬が不足しており、住民は近郊の町まで薬を買いに行かなければならない状況にある。

最後に栄養状況に関してであるが、ムニシピオごとのデータによると、CACAHOATAN、TUZANTAN、UNION JUAREZ、SUCHIATE の4つのムニシピオが栄養失調の度合いが深刻である(4段階の内最も高い)、ACAPETAUA、ESCUINTLA、FRONTERA HIDALGO、HUEHUETAN、HUIXTLA、MAPASTEPEC、MAZATAN、VILLA COMALTITLAN の8つのムニシピオで重大である(4段階で2番目に高い)と位置づけられている。チアパス州のムニシピオ別の栄養失調の度合いは下図のとおりである。

**DESNUTRICIÓN A NIVEL MUNICIPAL EN EL ESTADO DE CHIAPAS : チアパス州のムニシピオ別の  
栄養失調の度合い**



出典 : Desarrollo Social en Cifras, 2001  
(Gobierno del Estado de Chiapas)

対象 10 コミュニティでは詳細な調査は実施できなかったが、各コミュニティの家庭の一般的な食事、小家畜の飼育状況等を表にまとめると以下のとおりである。

コミュニティ	食事のメニュー	小家畜の飼育	特記事項
Pavencul	主食：トウモロコシ、フリホール豆、ジャガイモ、コーヒー 補足：パスタ、米、トマト、チャヨーテ、鶏、リンゴ(数回/週、月)	鶏：1、2羽/家族 ブタ：少数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ内では毎週水曜日に市場が開かれ、グアテマラを含む近隣の町やコミュニティから業者、住民が食糧雑貨を売りに来るため、食糧を含む生活必需品には事欠かない。また、コミュニティ内には数軒の tienda(店)もあり。</li> <li>・レストランが1軒あり、グアテマラの女性が数名15ペソ/日で働いている。</li> <li>・ホテルも1件あり、数人の宿泊が可能である。</li> </ul>
Chanjale Salchiji	主食：トルティーヤ、フリホール豆、コーヒー 補足：鶏、リンゴ	鶏：10～15羽/家族 ブタ：少数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ内には tienda があり、食糧雑貨が販売されている。</li> </ul>
Rubén Jaramillo	主食：トルティーヤ、コーヒー 補足：マンゴー、オレンジ、レモン	鶏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卵を隣人に売ることもある。</li> <li>・コミュニティ内に tienda はなく、住民(ほとんどの場合女性のみ)は週に1度近隣の町にバスで買い物に出かける。</li> </ul>
Francisco Sarabía	主食：トルティーヤ・コーヒー(3回/日) 補足：トマト・フリホール豆・卵(数回/週)、牛・鶏肉・魚 - 2回/週	鶏 ブタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の平均的な1日のスケジュールは以下のとおり：</li> <li>・3～4AM：起床 - 朝食の準備</li> <li>・6AM：朝食 - 夫を仕事に送り出す - 家事、農作業、昼食の準備</li> <li>・1～2PM：昼食 - 家事、農作業、休憩、夕食の準備</li> <li>・8～9PM：夕食 - 休憩(TV)</li> <li>・10PM：就寝</li> </ul>
Tuzantán	主食：トルティーヤ、コーヒー等* 補足：バナナ	鶏、ブタ等*	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ内には tienda がいくつかあり、食糧雑貨が売られている。なかには冷蔵庫が備え付けられており、冷たいジュース等が手に入る tienda もある。</li> </ul>
Brisas del Mar	調査できず。		
Los Cacaos	主食：トルティーヤ(2回、2～5kg/日)、コーヒー、トマト・卵・フリホール豆(数回/週)	鶏：5～19羽/家族 ブタ：少数 アヒル：鶏に比べると少ないが、18羽持つ女性もあり。 ホロホロ鳥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティには食糧雑貨を販売する tienda があり、住民は近隣の町よりもコミュニティ内でよく買い物をする。</li> <li>・家計支出は1家族平均で約150ペソ/週。</li> <li>・コミュニティでは9～11月のコーヒーの収穫期が最も忙しい時期である。</li> <li>・女性の平均的な1日のスケジュールは以下のとおり；</li> <li>・4～6AM：起床 - 朝食の準備</li> <li>・8AM：朝食 - 家事、農作業、昼食の準備</li> <li>・2PM：昼食 - 家事、農作業、昼食の準備</li> <li>・7～8PM：夕食 - 休憩</li> <li>・9～10PM：就寝</li> </ul>
El Aguila	主食：トウモロコシ、コーヒー、フリホール豆	鶏 ブタ 七面鳥	
San Rafael	主食：米、パスタ、トルティーヤ、フリホール豆、コーヒー(3回/日)	鶏：～15羽 ブタ：1～2頭 アヒル 七面鳥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶏は隣人にも売っている。</li> <li>・コミュニティには80人のメンバー(男女混合)で15年間組織運営している tienda があり、食糧雑貨を販売している。しかし品数は豊富ではなく、住民は(男も女も)週に1回は近くの町まで買い物に出かける。</li> <li>・1家族当たり平均の家計支出は 約200ペソ/週。</li> </ul>
Chiqui-húites	主食：トルティーヤ、ジャガイモ、フリホール豆	鶏 ブタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティに86人のメンバー(男女混合)で運営されている tienda があり、トルティーヤ用の粉、トウモロコシ、トマト、タマネギ等が売られている。</li> </ul>

\* 確認できず。

前頁表から分かるように、各コミュニティでの主食はトルティーヤ、フリホール豆、コーヒー(通常1日3食)であり、これらにパスタ、米、卵、トマト等が適宜(週に数回)組み合わせられるという簡素なものであり、栄養のバランスが取れた食生活が営まれているとはいえない状態である。いわゆる5大栄養素のうち、炭水化物(糖質)・タンパク質に偏る食事内容であり、乳製品、淡色・緑黄色野菜の摂取がほとんどなく、先の2つの栄養素の代謝を助け、体内の機能維持に必要なビタミンA・C、ベータ・カロチン等のビタミン、体の組織を構成、機能を調節するカルシウム、鉄分等のミネラルの不足が見受けられる(脂質に関しては、調理の際に食用油を使っていると思われることから、不足はないと推察される)。また、各コミュニティで、鶏、ブタ等は各家庭の庭先で一般的に飼育されているという状況が見受けられるにもかかわらず、鶏・ブタ・牛等の肉、魚類はあまり日常的には食されていない。

これらの問題の背景には、収入の不足、支出入のバランスの欠如(家計のやり繰りが上手く行われていない)、及び栄養一般に関する知識の不足又は関心の薄さといった問題があると思われる。後述の2つの問題の解決にあたっては、女性への家計簿の付け方の指導、家庭菜園作り・栄養改善・調理法指導等の実践が有効であろう。

#### 4 - 2 - 3 性差分業(農業、家事等)

メキシコでは農業は伝統的に男性の領域であるとされていたが、近年のメキシコの経済発展に伴う農業の停滞、都市化の波と相まって、多数の男性が都市へ出稼ぎに出ることにより、農業に従事する女性の割合が高まっている。

ソコヌスコ地域でも特に近年のコーヒーの国際的な価格の下落により男性の出稼ぎ(近郊の村、国内の他州又は米国)が多く、多数の女性・子供が長期にわたって村に残されるという状況があることから、農業に女性がかかわらざるを得なくなっている様子が今回調査した各コミュニティで確認された。よって女性は伝統的な家事労働、小家畜の飼育に加え、更なる過重の労働を強いられている状態である。しかしながら、女性の農業へのかかわり具合、男性の家事へのかかわり具合にはコミュニティによって違いが見られ、例えば San Rafael のように家庭菜園も実践しているコミュニティ、Chiquihuites のように小家畜の飼育も男女共に行っているコミュニティ、Pavencul(男性の約3割)、Rubén Jaramillo、Los Cacaos、San Rafael、Chiquihuites 等、女性の口から男性も家事の手助けをすとの回答が得られたコミュニティもある。また、同国では伝統的に男性が仕事の配分、家計の支出に対し決定権をもつが、家庭に男性がない(離婚・死別等による)場合、女性が決定権をもつ。各村で男性のエヒード(ejidatario)に比べると少数ではあるが、女性のエヒード(ejidataria)の存在も確認された。

さらに、Tuzantán、San Rafael の2つのコミュニティでは、銀行からのマイクロ・クレジットを利用して小規模事業を実施している女性のグループが存在する(詳細は次節「5 - 2 - 4 組織」

を参照のこと)。Tuzantánでは、小規模事業による副収入に関しては女性が支出に対する自由な裁量をもつことが確認されている。

メキシコにはマチスモという伝統的価値観が存在し、男性優位社会であるため、女性は政治的・社会的に低い地位に置かれており、農村ではその傾向が特に顕著である。今回10コミュニティにおけるグループ・インタビューの際には、男女別のインタビューを心掛けたが、住民の参集状態によっては、男女一緒に調査を実施したコミュニティ(Rubén Jaramillo、Tuzantán、Chiquihuites)、全く女性の参集がなかったコミュニティ(Chanjale Salchiji、El Aguila)もある。また、コミュニティの成立年度・面積(村全体及び農地)・人口等に関しては、女性は正確には把握しておらず、これらの数値データの入手はおおむね男性から(男女別インタビュー実施の際には男性グループの調査結果から、男女同席インタビューの際には男性から)行われた。この背景には、特に農村で顕著な女性の教育へのアクセスに関する社会一般の通念(ジェンダー)、すなわち女性の教育に対する軽視があるものと思われる。

しかしながら、調査対象の10コミュニティの中には、Pavencul、Francisco Sarabía、Tuzantán、Los Cacaos、San Rafael、Chiquihuitesの6つのコミュニティのように、何らかの目標体制のために組織され、活動を行っている女性グループ(詳細は次節参照)の存在が確認されたコミュニティもあり、Francisco Sarabíaを除く<sup>31</sup>各コミュニティではグループ・インタビューの際にも、コミュニティの問題点・ニーズ等積極的に述べる女性の姿があり、Rubén Jaramillo、Tuzantánの2つのコミュニティでは男性と合同であったが、男性を前にしても臆することはなく、総じて女性の意識の高さがうかがわれた。

#### 4 - 2 - 4 組 織

調査対象の10コミュニティは、前述のように、組織され何らかの活動を行っている女性グループがある6つのコミュニティ、又は女性の組織はないものの、組織化の可能性が十分あると思われる女性住民の存在があるコミュニティ(Rubén Jaramillo)とそれ以外のコミュニティ(Chanjale Salchiji<sup>32</sup>、El Aguilaの2つ)に大きく分けられる(Brisas del Marでは調査を実施できなかったため、不明)。各村の具体的な女性グループの一覧表は以下のとおり。

<sup>31</sup> Francisco Sarabíaでは、グループ・インタビューの際に多数の女性(30人以上)の参集があったものの、援助獲得のために村の多くの問題を述べるのに終始した感がある。また、女性間でのまとまりに欠ける(派閥のようなものが存在する)と思われた。

<sup>32</sup> グループ・インタビューの際に、教育・保健委員会があり、男女ほぼ同数が参加しているとの情報が得られたが、直接女性に確認できていない(インタビューへの女性の参加が得られず)。



コミュニティ	グループ			
	成立年度	会員数	プロジェクト名	組織化の目的・具体的な活動状況
Pavencul	1999	1300	PROGRESA (現在は OPORTUNIDADES)	・政府による子供の学費補助プロジェクトの支援を受けるために受け皿的な意味合いで組織化された。子供(男女)をもつ女性は3、4か月ごとに1,300ペソ、もたない場合は900ペソが奨学金として支給される。組織として具体的な活動は行っていない。 ・7名のメンバー(会長、副会長、会計、秘書、3名の広報係)からなる役員会が各地区(8か11)にあり、3年ごとに改選。会長はグループ・インタビューに参加。同コミュニティのキー・パーソンとして有望。
Francisco Sarabía	*	87	PROGRESA (現在は OPORTUNIDADES)	・2か月ごとに奨学金を受領しているが、支給は遅れ気味とのこと。
	*	120	OCCEPA	・電気の受信に関する維持管理を行っているものと思われるが、詳細は調査できず。
Tuzantán	1992～1996	21	*	・チョコレートの製造用のミル(カカオ砕粉機)を買うために融資を受け、月に50～100個のチョコレートを製造、近郊の町で販売していたが、十分な市場がなく、グループは解体した。 ・現在、別途、カカオ生産のためにCOPLANTAの技術支援を受けている2つのグループが存在する。
	*	40・33	COMPARTAMOS	・女性グループを対象に商業活動支援のマイクロ・クレジットを実施しているタバチュラ中心街にあるCaja de Ahorrosより融資を受けるために組織された受け皿的なグループが2つある。活動は個人ベースで、洋服の販売等を実施。 ・融資は2,000ペソから始まり最高で1万3,000ペソの融資が可能。支払いは週ごと。
	1992前後	*	*	・Huixtla中心街にあるBANCOVITALからマイクロ・クレジットを受ける(金利は4か月4.5%)のために組織された。活動は同じく個人ベースで、養鶏(飼育/販売)、薬、郷土料理の販売等を実施。実際に利益をあげている。 ・会長、Oralia Torres Marrogui 女史は寡婦であるが、メンバーは結婚の有無にかかわらず参加している。彼女は市役所に勤務しており、マイクロ・クレジットに関する豊富な知識・経験をもつ、同コミュニティのキー・パーソンとして有望。
Los Cacaos	*	150	PROGRESA (現在は OPORTUNIDADES)	・2か月ごとに子供をもつ女性(70人)が児童のための奨学金を受領している。メンバーの中には支援を得て、農作業(農地整備、耕起等)を実践している者もいる。
	*	*		・幼稚園、小・中学校、テレセクンダリアのPTA、水管理委員会、宗教グループ、エヒード・グループがある。テレセクンダリア、幼稚園のPTAの会長、エヒード・グループの書記は女性(前者2名はグループ・インタビューに参加)。
San Rafael	1999	84	PROGRESA (現在は OPORTUNIDADES)	・3、4か月ごとに児童のための奨学金を受領。 ・普及員のAlicia Pérez Guzmán 女史はグループ・インタビューに参加。同村のキー・パーソンとして有望。
	*	18	COMPARTAMOS	・Caja de Ahorroからのマイクロ・クレジットを受けるために組織され、メンバーは各自パン、洋服、鶏等の販売を実施。金利は4か月4%で、支払いは州ごとに行う。融資は1,000ペソから始まり、最高額は5,000～1万ペソ。
	*	*	*	・BANCOVITAL de Mujeresからのマイクロ・クレジット受け取りのために組織された。近郊のコミュニティの同様のグループともつながりあり。融資は500ペソから開始、融資額が1,000ペソになると金利は2%に下がる。
	*	*		・幼稚園・小学校のPTA、水管理委員会が存在する。両PTAの会長は女性である(グループ・インタビューに参加。キー・パーソンとして有望)。
Chiquihuites	*	66	PROGRESA (現在は OPORTUNIDADES)	・児童のための奨学金を受領。
	*	24	*	・マイクロ・クレジットを活用して小規模事業を行うグループがあるとのことであるが、女性のメンバーから直接確認できず。
	*	*		・幼稚園・小学校のPTA(女性の役員会メンバーもいる)、水、道路、電気管理委員会がある。

\* 調査できず。

左記の表のとおり、PROGRESA(現在はOPORUTINIDADES)の支援を受けるために組織化されたグループ(Pavencul、Francisco Sarabía、Tuzantán、Los Cacaos、San Rafael、Chiquihuitesの6つのコミュニティ)、PTA(Los Cacaos、San Rafael、Chiquihuitesの3つのコミュニティ)、マイクロ・クレジットによるプロジェクト実施に向け銀行からの融資獲得のために組織されたグループ(Tuzantán、San Rafaelの2つのコミュニティ)等があげられる。後者の場合、融資受け取りの受け皿的なグループであり、実際のプロジェクトは個人ベースであるが、養鶏・販売、洋服、パンの販売等活発な活動を行っている。

Pavencul、Tuzantán、Los Cacaos、San Rafaelの4つの各コミュニティで、グループ・インタビューに女性グループの会長等、同コミュニティの女性のリーダー的存在であるといえる女性の参加があったが、彼女達はインタビューの際にも活発に発言し、グループの牽引役として積極的に活動している旨がうかがわれ、同村のキー・パーソンとして有望であると思われる。また、Rubén Jaramilloには女性のグループはないものの、インタビューの際に積極的に発言し、しっかりした考え方をもち、リーダー、キー・パーソンとしての資質を十分感じさせる女性の参加があった。同コミュニティの人口は約150人と少なく、住民はほぼ家族のような存在であり、結束は堅く、社会資本も高いことから、先の女性を中心として女性グループの形成も容易であると思われる。

マイクロ・クレジットに関しては、Unión Juárezで別途女性グループに長年支援を行っている(San Rafael、Chiquihuitesの各コミュニティでの1グループずつへの支援を含む)という同市の第5評議員であるHortensia M. Rios de Mudy女氏に話をうかがった(詳細は4-2-5参照)が、活動が個人ベースであるのは、伝統的にグループで活動することがないという理由によることである。しかしながら、グループで活動することによって、より大きなプロジェクトができるうえに1人当たりの活動時間は短くなるというメリットがあることはいまでもなく、その点を指摘したところ、いずれはグループでプロジェクトを実施できるようにしていきたいと考えているとのことであった。

#### 4 - 2 - 5 農業外所得・生産活動・農村金融

対象10コミュニティの農業外活動の調査結果に、XI Censo General de Población y Vivienda 2000の経済人口に関するデータも併せて取りまとめたものが次頁の表である。

	経済人口 (率%)	非経済	人口(率%) 農業外活動
チアパス州	1,218,598 (47.6)	1,342,344 (52.4)	
Pavencul	198(41.3)	281(58.7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の50～60%(女性40～50%)が、10～2、3月まで近隣のコーヒー農園にコーヒーの摘み取りの出稼ぎ(住み込み)を行う。賃金は20ペソ/日又は30ペソ/収穫したコーヒー1箱(雇用主より食事は支給されない)。</li> <li>・約100人の男性が米国又はメキシコ(前者が多)のTijuana州で出稼ぎ(オレンジの集荷等の農業関係)をしており、2、3年ごとにコミュニティに戻るといった状況。</li> </ul>
Chanjale Salchiji	122(40.8)	177(59.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性のTijuana州、米国へ出稼ぎあり。</li> </ul>
Rubén Jaramillo	データなし		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性は左官屋、ペンキ塗り・サトウキビの刈り入れ等の労働者として近隣のコミュニティで働いている。賃金は20～35ペソ/1日。</li> <li>・5人の若者(男性)が米国で出稼ぎをしており、2、3年ごとに貯金を手にコミュニティに戻ってはまた出ていくという状況であるとのこと。</li> </ul>
Francisco Sarabía	231(33.8)	452(66.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性が左官屋、サトウキビの刈り入れ労働者として近隣のコミュニティで働く。</li> <li>・Tijuana州へ出稼ぎ(2～9月)を行う男性がいる。</li> </ul>
Tuzantán	757(45.0)	927(55.0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少数の男性が近隣のHuixtla中心街で出稼ぎを行う。</li> <li>・マイクロ・クレジットを利用し、小規模事業を行う3つの女性のグループがある(前節参照)。</li> </ul>
Brisas del Mar	114(45.8)	135(54.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査できず。</li> </ul>
Los Cacaos	244(44.3)	307(55.7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約15人の男性がTijuana州で、70人の若者(男性)が米国の工場で働いており、2、3年ごとに村に戻ってくる。</li> </ul>
El Aguila	366(41.5)	516(58.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の男性が米国に出稼ぎに行っている。</li> </ul>
San Rafael	142(47.3)	200(52.7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人の男性が米国で、10～15人の男性がTijuana、Puerto Vallarezで働く。</li> <li>・マイクロ・クレジットで小規模事業を行う2つの女性のグループがある(前節参照)。</li> </ul>
Chiquihuites	108(50.9)	104(49.1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11人の男性、1人の女性がTijuana州に出稼ぎに行っている。</li> <li>・コミュニティに自生する花き(アルカトラス:白ユリに似た花)をタバチュラ市で200ペソ/束で販売している。コミュニティで唯一の換金作物である。</li> </ul>

上記の表から分かるように、10コミュニティの経済人口の比率は33.8～50.9%で推移し、Chiquihuitesを除くすべてのコミュニティでチアパス州全体の経済人口の比率である47.6%よりも経済人口の比率は低くなっている。また経済人口の比率が非経済人口の比率を上回っているのも10コミュニティ中Chiquihuitesのみである。

10コミュニティの農業外活動に関して見てみると、すべてのコミュニティで近隣のコミュニティ、Tijuana州、又は米国に出稼ぎに行く多数の男性の存在がある。近隣のコミュニティでの出稼ぎ/日雇い労働の内容としては、コーヒー農園でのコーヒーの摘み取り(Pavencul)、建築現場での建設・ペンキ塗り、サトウキビの刈り入れ(Rubén Jaramillo、Francisco Sarabía)等が主で、

期間的には最長でも半年未満と短い、Tijuana 州、米国への出稼ぎの場合は、2、3 年と長期間にわたる。米国へ出稼ぎは特に若者を中心に多くなっている。域内経済を支える主要換金作物であるコーヒーの国際価格の下落という深刻な問題が、各コミュニティの農民の生活にいかに大きな打撃を与えているかが分かる。

次に農村金融に関してであるが、前節「5 - 2 - 4 組織」で述べたように、Tuzantán、San Rafael の2つのコミュニティで、女性のグループによるマイクロ・クレジットを利用した小規模事業が実施されているが、男性のグループによる同種の活動は確認されていない。これは、ソコヌスコ地域では特に男性を中心に稼ぎが多く見られるために、コミュニティに長期間残される女性を対象に、貧困削減、女性のエンパワーメントを目的にマイクロ・クレジットが実施されていることによるものと思われる。また、世界的に見ても、途上国でのマイクロ・クレジットは、同様の理由から特に女性を対象に実施されている場合が多く、データの的にも女性の方が男性よりも高い返済率を誇っている。

マイクロ・クレジットを実施している銀行は域内にいくつか見られるが、具体例として先に述べた Unión Juárez 市の第5評議員である Mudy 女氏が支援しているマイクロ・クレジットのシステムを述べると以下のとおりである。

まず女性は10～40人からなるグループを組織し、銀行に融資を申請する。融資の段階は以下の4期に分けられ、各時期で融資額、返済期限、金利が異なる。

	融資限度額	返済期限	金利%/月	返済方法
1 期	500 ペソ	4 か月	5	37.5 ペソ / 週
2 期	1,000 ペソ	6 か月	5	50 ペソ / 週
3 期	1,500 ペソ	8 か月	5	65.63 ペソ / 週
4 期	3,000 ペソ	10～12 か月	2	77.5～90 ペソ / 週

マイクロ・クレジットの回転資金は、メキシコの中央銀行からチアパス州の州都トゥクストラ・グティエレスにある農村女性の能力開発(Capacitación de Desarrollo Rural para Mujeres)事務所に送られ、BANCRECER 銀行とともに運用されているとの事である。現在、Mudy 女史はムニシピオ(UNION JUAREZ)内の13グループ(327人)を支援しており、なかには第3期に達したグループもあり、さらに6グループ(73人)が活動を開始する予定であるという。

また、別途マイクロ・クレジットを実施する COMPARTAMOS というプロジェクトもあるが、特定の企業によって運営されており、金利は6%と高くなっている(融資額が1万5,000ペソになると4.5%に下がるが、返済期限は4か月)。また、Mudy 女史の支援グループでは、融資の返済ができない場合、借金は個人ベースとなり、これも COMPARTAMOS と異なる点である。しかしながら、今までのところ、Mudy 女史の支援グループの返済率はほぼ100%とのことである。

同女史は、非常にバイタリティにあふれ、UNION JUAREZ内の女性のエンパワーメントのために長年の間精力的に活動しており、女性グループへのマイクロ・クレジットの運営管理指導に関しても豊富な知見をもつことから、プロジェクトを実施する際に同ムニシピオ内の有力なコンタクト・パーソンとなり得ると思われる。San Rafael、Chiquihutesでは、Mudy女史より支援を受けて小規模事業を行っている女性グループがあり、同女史の話では、Chiquihútesの女性グループはマイクロ・クレジットへの理解度が十分でない(返済義務があることを理解していない)が、San Rafaelの女性グループは、同女史が支援している13のグループのなかでも特に活発に活動を行っており、返済期限もきちんと守っているとのことである。

## 5. プロジェクトの概要案

### 5-1 協力の方向性

長年のメキシコ農村の停滞、コーヒー価格の下落などのマクロ経済の悪化により、ソコヌスコ地域の農村の社会・経済の状態は悪化している。特にチアパス州をはじめとする南部諸州は、マージナリティの度合いの高い地域であり、JICAのメキシコ国別事業実施計画の重点分野である「地域・貧富の格差の是正」の重点対象地域である。

また、メキシコの多くの地方コミュニティの抱える共通の課題として、米国・北部国境地帯への男性労働者の移民流出がある。ソコヌスコ地域においても、この移民流出が深刻であり、農村住民の所得向上・生活の安定のために、農村女性層の担う役割はますます重要な物となっている。また、広く農村生活の改善のためには、農業技術一般のみならず、保健衛生・栄養・教育などの他分野の改善・向上が必須であり、その実現にあたり女性が重要な役割をもつことはいうまでもない。C/P機関であるSAGARPAが推進する「農村開発プログラム2002」においても、農村女性組織強化を支援するプログラムが3本柱の1つとなっている。

農村開発を総合的に考えた場合、第一次生産活動のみに焦点をあてるのではなく、第一次生産者を生産連鎖の過程に参画させ、付加価値創出による所得機会の拡大を進めることが有効である。家庭零細企業規模の農村住民の組織化を行ったうえで、小規模のグループの資本化を促進し、新たな付加価値創出のための事業を起業することが、所得向上の有効な手法となる。SAGARPAの農村開発プログラムの方針を受け、チアパス州では「農村女性プログラム」を実施中であり、組織化された女性グループの行う零細規模の経済活動に対し、少額融資の支援を行っている。現行のこれらの女性グループの活動は、必ずしも生産的ではなく、活動を継続させ、農村社会の所得向上に深化・浸透させていくには、組織強化、活動内容の精査、少額融資マネジメント能力の向上が重要であり、プロジェクトによる支援が有効となる。

プロジェクト実施地域であるソコヌスコという限定された地域内においても、コミュニティごとに広さ、人口、土地所有形態、生産作物、経済活動、外部からのアクセス、女性組織化の度合い等々が異なる。プロジェクトの実施にあたっては、コミュニティの多様性に配慮しながら、コミュニティごとの農村女性のタイポロジーの違いに配慮しつつ、農村女性組織強化にも焦点をあてたプロジェクトを計画・立案・運営・評価することが重要となる。

### 5-2 プロジェクト・デザイン・マトリックス

上述の協力の方向性を受け、プロジェクト対象候補の5コミュニティにおいて、「農牧業農村開発」短期専門家が、さらに詳細な農村社会調査、PCMワークショップによる問題分析を行い、PDM

案の作成を行う予定である(2002年8月)。そのため、本調査終了時点においては、PDM案の作成は行わなかった。

### 5-3 日本側投入計画

プロジェクト・デザイン・マトリックスは、本調査団終了後に「農牧業農村開発」短期専門家によって実施されるPCMワークショップ等によって、第一次案が作成される見込みである。本調査団においては、協力の方向性を受け、取りあえず日本側投入のうち、専門家派遣について検討を行った。

長期専門家については、「組織運営」及び「小農複合化支援」専門家の2名体制が必要となる。これはコミュニティごとの農業経営形態・農村女性のタイポロジーに応じたパイロットプロジェクトを実施するためである。下図のタイプIのコミュニティにおいては、農業生産そのものの活動を見直し、活性化することが優先されるべきであり、熱帯地域の農業技術の専門性を有する「小農複合化支援」日本人専門家による技術指導が有効である。技術指導の中味によっては、組織化された女性グループへの技術移転が望ましい場合も想定され、その際には、「組織運営」専門家がサポートすることができよう。これに対し、タイプIIIのコミュニティにおいては、農業生産活動そのものが停滞しており、容易な活性化の見込みがないか、又は比較的市街地に近く、農村住民が農地からの収入よりも市街地での雇用等から収入を多く得ている場合などが考えられる。この場合、農業外収入獲得のために、女性組織化による零細企業が有効であり、「組織運営」専門家の活動が優先される。

表5-1 農村女性のタイポロジー

	自作農地 収入	家計への 女性労働 力の貢献	生産年齢 の男性	貧困度合 い	女性の家 事労働負 荷	女性組織 化の度合 い	女性組織強化の ための協力の方 向性	長期専門家の役割 分担
タイプI (農業専業)	多 い	少 ない?	多 い	高 い	高 い	低 い?	自作農地での生 産性・収益向上 のための組織化	「小農複合化支援」 専門家による適地 農法、適作物の決 定、導入から。
タイプII (農業兼業)	普 通	普 通	普 通	普 通	普 通	普 通		
タイプIII (農業休止)	少 ない	多 い	少 ない 移民 多い?	低 い	低 い	高 い	既存マイクロク レジットの積極 活用	「組織運営」専門 家による女性組織 運営指導、女性零 細企業家育成。

今回の調査においては、5コミュニティをプロジェクト実施対象候補としているが、コミュニティごとの農村女性タイポロジー分類は概略下記のとおり。

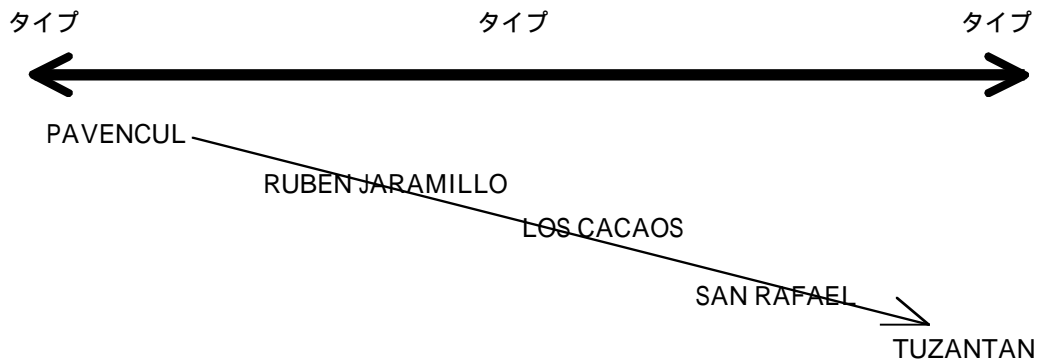


図5 - 1 プロジェクト対象候補コミュニティごとの農村女性タイポロジー分類

また本プロジェクトは、農村住民の生活改善・所得向上を目標とすることを検討しているが、実際の農村会計は収入源別に、下図のとおり、自作農地収入、移民した家族構成員からの仕送り収入、季節労働収入及び女性による非農業活動による収入によって構成されているものと思われる。

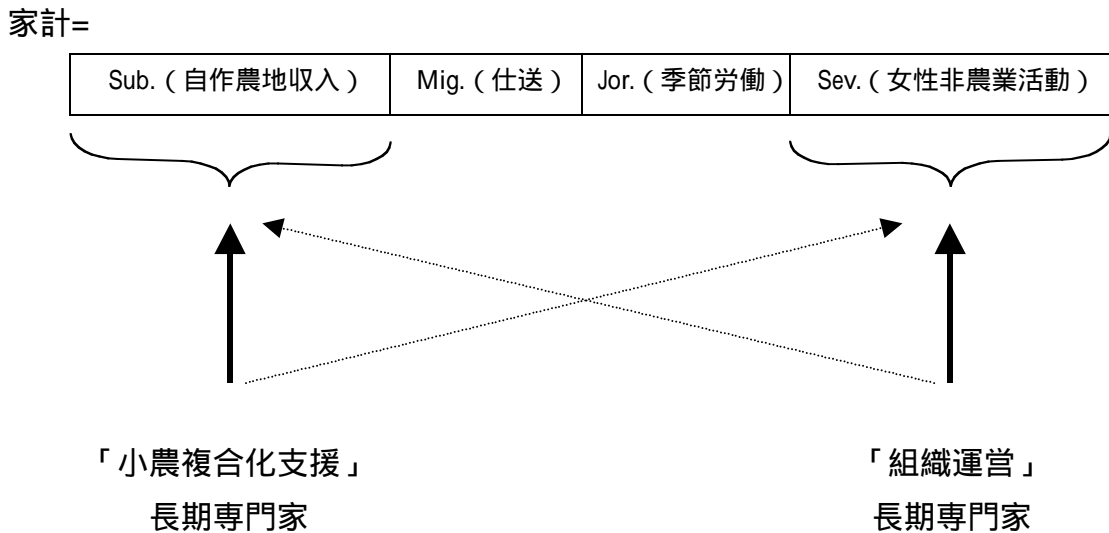


図5 - 2 農村住民の家計構成要素とプロジェクト投入

したがってプロジェクトによって所得向上を図る場合、このような家計の構成要素に応じた複合的なアプローチをとる必要がある。投入予定の2人の長期専門家の活動範囲についても、このアプローチによってある程度区分けされよう(付属資料5 - 4参照)。



(1) 長期専門家

組織運営

指導科目名	組織運営
派遣期間	24 か月
派遣目的	ソコヌスコ地域の対象となるコミュニティにおいて、組織化を行い、農業技術の向上、増産等を通じて現金収入の向上を図る。また、農村女性を中心に組織化を進め、それぞれの地域に適した自家消費用農産物生産(野菜、小家畜等)や小規模事業を実施することで、女性のエンパワメントを創出し、農村の総合的な生活の向上をめざす。
期待される成果	対象となる村で住民が組織化され、それぞれの地域に適した小規模事業が実施される。
活動内容	プロジェクト対象コミュニティにおいて 1 対象となる地域、コミュニティ、グループの状況を住民とともに調査・分析する。 2 組織化のためのワークショップを実施する。 3 農業生産物の増加に必要な技術指導を受けるためのグループを形成する。 4 協力機関等が農業生産にかかる技術指導を実施する体制づくりのために助言・指導をする。 5 女性を中心とした組織による収入向上・支出削減のためのミニプロジェクト(小規模事業、自家消費用農産物の生産等)を住民とともに検討する。 6 それぞれのミニプロジェクトの実施のためのグループを形成する。 7 小規模事業の企画・運営・管理に必要な技術・知識を指導する。

小農複合化支援

指導科目名	小農複合化支援
派遣期間	24 か月
派遣目的	技術協力プロジェクト「小規模生産者支援計画」の活動の一環として、農業収入の増加や、女性組織グループ中心による各コミュニティでのプロジェクト実施のために、コミュニティ内の営農形態を分析のうえ、営農技術的な支援を行う。最終的にはプロジェクトの実施により、農家経営の複合化が図られ、農家家計が安定することを目的とする。
期待される成果	農業生産の増加、農家経営の複合化による収入向上、及び女性グループによるプロジェクトの実施による支出削減が実現する。
活動内容	プロジェクト対象コミュニティにおいて 1 地域農業状況を調査・分析し、営農手法、農産物加工、流通体制、栽培農作物等に関して、改善策を検討する。 2 対象コミュニティの自然・社会環境に適した農作物、農業技術指導をする。 3 女性グループにより実施可能な農業プロジェクトを検討する。 4 女性グループによるミニプロジェクトの実施計画案の策定をサポートする。 5 上記ミニプロジェクトの実施のための、技術指導をする。

(2) 平成 15 年度短期専門家

農村経済

指導科目名	農村経済
派遣期間	6 か月
派遣目的	技術協力プロジェクト「小規模生産者支援計画」の活動の一環として、プロジェクト対象コミュニティの農村経済分析を行い、プロジェクトの効果、インパクト及び波及効果が最大限になるように、プロジェクト実施に対する助言を行う。
期待される成果	対象コミュニティの世帯家計収入が分析・評価され、安定した家計収入獲得のための提言がなされる。
活動内容	1 対象コミュニティの農家の家計所得分析。 2 農業外所得、移民家族からの仕送り、季節労働及び自作農地からの収入の傾向を把握し、あわせて家計の脆弱性・不安定性・リスクの評価。コミュニティ内及び外部に存在する市場、流通アクセスの調査。 3 コミュニティごとのミニプロジェクトの収益性分析。 4 世帯家計収入の改善にむけた提言。

農村融資運営指導

指導科目名	農村融資運営指導
派遣期間	2 か月
派遣目的	技術協力プロジェクト「小規模生産者支援計画」の活動の一環として、対象コミュニティの女性グループが、農村少額融資(マイクロクレジット)を受けるための、グループ組織化、融資案件の企画、申請及び運営を指導する。主に会計マネージメントを指導。
期待される成果	女性組織グループが少額農村融資の企画・申請・運営を行うのに必要な助言・指導を受ける。
活動内容	1 組織化されたグループに対し、少額農村融資を受けるための組織強化を指導。 2 農村融資の企画・申請の実地指導。 3 農村融資運営体制に関する実施指導及び関心のあるグループを対象とした講習会の実施。

食品加工・流通

指導科目名	食品加工・販・売
派遣期間	2 か月
派遣目的	技術協力プロジェクト「小規模生産者支援計画」の活動の一環。マイクロクレジットを利用した、女性グループによるミニプロジェクトとして、農産物加工品の製造、販売を指導する。
期待される成果	マイクロクレジットを利用して、農産物(カカオなど)の加工品の製造、販売を行う女性組織グループが、食品加工・販売に関する助言・技術指導を受ける。
活動内容	1 対象コミュニティの農産物を中心とした農産物加工品の検討。 2 食品加工に関するミニプロジェクトの企画立案を指導。 3 食品加工・製造に関し、女性グループに講習会を実施。

## ジェンダー分析

指導科目名	ジェンダー分析
派遣期間	6か月
派遣目的	技術協力プロジェクト「小規模生産者支援計画」の活動の一環として、対象コミュニティの女性グループを中心に農村社会におけるジェンダーに関する調査・分析、特に女性の置かれている現状・問題点を把握、社会文化・構造的要因を特定し、男性を巻き込んだ問題改善・是正に向けての助言・指導を行い、特に女性グループによる円滑なミニプロジェクトの実施を促進する。
期待される成果	対象コミュニティにおけるジェンダーの平等に関する農民の理解が得られ、女性のエンパワメント(能力開発・地位向上)創出に向けた女性の組織化・組織強化が行われる。
活動内容	対象コミュニティにおいて、以下の活動を行う 1 ジェンダーの現状(特に女性を巡る性別により慣習化された様々な不平等問題) 具体的には、生産活動・再生産活動における性別役割分担、資源、機会、教育、保健医療サービス、意思決定のプロセス等への女性のアクセス状況に関する調査・分析。 2 女性グループを中心とするジェンダーの平等・女性のエンパワメントに関するワークショップ(最初は男女別、最終的には男女合同で)及び女性のリーダー育成のための研修の実施。 3 ジェンダーの平等の主流化・女性のエンパワメントに関する助言・指導 - 日本・メキシコ双方のプロジェクト関係者にジェンダーの主流化に向けた助言を行い、より効果的な技術協力プロジェクトの実施・運営促進を図る。

## 6. JICA ボランティアの連携

### 6 - 1 JICAメキシコ事務所におけるボランティア派遣方針

メキシコ事務所による平成 14 年度の協力隊派遣の基本計画のなかで、1)地域・貧困の格差の是正、2)産業開発と地域振興の促進、3)環境対策と自然環境保全が重点分野として掲げられている。その各重点分野のなかでの開発課題として、1 - 1)地方中心の保健医療サービスの改善、1 - 2)農村地域社会の所得向上、2 - 1)小企業の育成・振興、2 - 2)職業技術教育の促進、3 - 1)自然資源の回復・保全があげられている。

現時点で問題とされているのは、貧困撲滅という重点課題に対し、なかなか効果的な隊員派遣が実施されていない点である。その理由として、隊員の生活環境の問題への苦慮、広大な国であるための安全管理上の難しさ等があげられる。しかしながら、平成 6 年度の派遣開始当初、配属先が社会開発省のみで、派遣されていた隊員の人数、活動地域等も限られたものであったことに比べると、近年ではベラクルス州、オアハカ州、ミチョアカン州等の地方自治体からの要請が増加、ベラクルス州、オアハカ州には多くの隊員が派遣されており、貧困地域、特に先住民族地域での隊員活動が実施されるようになってきている等の改善が見られる。

メキシコ事務所としては、今後同国内でも最貧困地域でもあるチアパス州に対し、積極的に隊員の派遣を進めていく方向であり、これは、前述の隊員派遣の基本計画とも一致するところである。また、既にチアパス州には日系青年ボランティア(日本語教師：2002.3～2004.4、榎本協会)派遣の経緯もあり、治安・生活環境の両面に関しても特に問題はないと思われる。

### 6 - 2 チアパス州における他国ボランティアの活動状況

現在、当地域で活動している他国ボランティア援助機関は存在しない。かつて、ボランティア活動を実施していた団体としては、国境なき医師団、国際赤十字等があげられる。

### 6 - 3 当該プロジェクトにおけるJICAボランティア派遣の可能性

当プロジェクトでは、メキシコ国内でも最貧困地域であるチアパス州ソコヌスコ地域において、各地区、各コミュニティに合った小規模生産者の組織化・組織強化を進め、生活改善、生産性向上、マイクロファイナンスの活用等の各ニーズに適合した、参加型による村落開発を実施していく。女性のエンパワーメント創出もめざすものである。

今回の調査により、ソコヌスコ地域の多様性にもかんがみ、客観的な基準に基づきプロジェクト実施予定サイトとして選択した5つのコミュニティは、対象地域内の4つのムニシピオに広がっている。それぞれの地域別の地理的、社会的な特性の違いもあるため、5つのコミュニティで実施

されるプロジェクトにおいても、個々のコミュニティで実施される活動内容は多様性をもつと考えられる。例えば、具体的な活動が、ある村では商品作物となる野菜の栽培、販売であったり、ほかの村では小家畜の飼育、販売であったり、トルティージャ屋、キオスク等の運営であったりと、生活向上・現金収入向上のための様々な活動の実施が考えられる。このような多様なミニプロジェクトを成功させるためには、地域に密着したフォロー体制が不可欠である。特に農民の組織化にあたっては、可能な限り草の根レベルでの協力、つまり住民との協働が必要となり、それに対しては、ボランティア事業、なかでも青年海外協力隊の派遣が、現在 JICA のもつ協カスキームのなかでは最も有効であると思われる。大枠の PDM に沿って、ソコヌスコ地域の関係諸機関、専門家がシステム作り、全体のプロジェクトの取りまとめを行い、個々の村で各ミニプロジェクト実施のための組織強化又はミニプロジェクトの運営・管理・フォローアップを、常に住民とともに協力隊員がサポートできる体制があれば効果的である。また、参加型による村落開発を3年間の協力期間で達成することは非常に困難で、C/P 機関、地方自治体の関係組織を巻き込んだ住民の組織化・組織強化、農業技術の向上、各ミニプロジェクトの運営・管理に関しても、5～10年の長期間に及ぶ地道な協力が必要であり、その部分でも協力隊の果たす役割は大きい。

本プロジェクトは、可能な限り参加型での住民の参加、C/P の参加を重視して実施、住民、地方自治体、C/P のオーナーシップ、エンパワーメントを通じてプロジェクトの自立発展性を醸成していく。そのためにも、前述のようにプロジェクトの企画段階に始まり、運営・管理、モニタリング・評価を住民・C/P とともに実施していくことが重要であり、専門家が C/P 機関、地方自治体、各コミュニティのグループリーダーとともにプロジェクト全体のマネジメントを行い、協力隊員が住民の組織化・組織強化、実施体制の強化を側面支援できれば理想的である。

協力隊の効果的な投入を考えるのであれば、協力隊の職種のなかから各コミュニティに必要な職種を選択し、各ミニプロジェクト全体のなかのどの部分の役割を担うのかを明確にしたうえで投入が望まれる。計画されている専門家派遣を伴う協力期間は3年であり、その後の個々のコミュニティのフォローアップ、更には他のグループ・コミュニティへの普及に関しては、3年という協力期間終了後、基本的にはチアパス州側の C/P 機関等が実施すべきである。しかし、3年という期間である一定の成果をあげることは非常に困難であることから、プロジェクト実施段階もしくはその途中から、協力隊員が活動をフォローし、本プロジェクトの実施期間終了後も、引き続きある程度の期間をチアパス側実施機関とともにフォローすることは、チアパス側実施関係者、住民のエンパワーメントを促し、「村落開発のモデル」の普及を進めていくうえで非常に有効である。

今回の調査の結果、本プロジェクトの下での派遣に適していると考えられる協力隊員の職種は以下のとおりである。

職 種	活動内容
村落開発普及員	各コミュニティでの組織強化、ミニプロジェクトの運営管理のサポート。ジェンダー等に配慮した参加型開発の推進。
食品加工	各ミニプロジェクトで実施される食品加工の技術的サポート。生産、販売に係る運営管理のサポート。
野 菜	各村で実施される農業に係るミニプロジェクトの技術的サポート。
病虫害	各村で実施される農業に係るミニプロジェクトの技術的サポート。
栄養士	各村で抱える栄養問題への取り組み。女性の労働時間軽減、女性の参加しやすい環境づくり、組織強化へのサポート。

協力隊の投入時期に関しては、通常の隊員派遣は要請から派遣まで1～2年を要するため、通常の隊員派遣は最も早い場合で平成15年度第2次隊(2002年12月赴任)となる。専門家派遣を伴う協力期間は3年であり、既に1年が経過してからの投入となるが、それまでに協力隊が効果的に活動できる環境作りを進めることができ、協力期間終了後のフォローアップ、他コミュニティへの普及に関しても視野に入れたうえでの計画立案が可能となる。また、通常の派遣期間が2年の隊員とは別に、一般短期隊員、シニア隊員、シニア短期緊急隊員という異なるカテゴリでの協力隊員派遣システムがある。これにより、要請から派遣まで約1～2か月と短期間での隊員派遣、かつ、協力隊経験者を対象とするため、語学力、国際協力経験を有した隊員の派遣が可能である。また、一般短期隊員、シニア短期緊急隊員の場合、派遣期間が1年未満となっており、一般隊員の派遣前の短期間の派遣により、後の協力隊員の活動に必要な環境の整備等をサポートすることも可能となる。これら一般隊員以外の派遣方法を活用し、一般短期隊員、シニア短期緊急隊員を専門家派遣後に派遣し、専門家との協力体制の下、各村でミニプロジェクト形成、フォローアップの体制づくり等を実施することが効果的であろう。そのうえで、一般隊員を平成15年度第2次隊で派遣、各コミュニティでの草の根レベル協力の継続的な実施が望まれる。

## 7. 協力にあたっての留意点

### 7-1 実施体制

#### (1) プロジェクトの位置づけの明確化

平成 14 年度要望調査において要請のあった「農村女性組織強化」(旧チーム派遣)は、開発調査によって提言されたパイロットプロジェクトの1つではあるが、1999年に終了した開発調査以降のチアパス州やメキシコ農業をとりまく環境の変化を必ずしも反映していない。持続的農村開発法、持続的農村開発のための省庁間連携委員会内規、地方分権化、これらを受けた各州農村開発局と SAGARPA 州支局の協調、チアパス州 SDR の行う農村開発プログラム、とりわけ農村女性組織化支援プログラムなどが新しい動きであり、これから立ち上げるプロジェクトは、単なる開発調査のフォローとして実施するというよりは、その後の環境の変化、メキシコ政府のこのような取り組みのなかで再度位置づける必要がある。チアパス州での関係機関との協議、調査帰国後の情報整理により、SDR、SAGARPA の最近の取り組みが明らかになり、今回要請のあった「農村女性組織強化」プロジェクトの背景にある意味合いを確認することができた。これにより、本プロジェクトを支援する正当性、妥当性が高まったといえる。

しかしながら、本報告書 5 章を中心にまとめた新規プロジェクトのデザインの背景にあるコンテキストを再度、先方政府と確認する必要がある。プロジェクトの妥当性にもかかわる部分であり、R/D 締結の際に協議することとなろう。プロジェクトの立ち上げに際し、その位置づけを明確にすることで、プロジェクト全体の概念的な構想を日本・メキシコ双方の関係者間で共有し、双方の役割分担、とりわけメキシコ側の主体性を確認することにつながる。

#### (2) C/P 及び関係機関の連携体制構築

チアパス州 SDR、SAGARPA 支局が直接の C/P 機関となるが、総合的な参加型による農村開発に取り組む点、住民レベルで事業を実施する点等から、地域で活動する様々なアクターとの連携が不可欠である。今回の調査においても既に、FUNDACION、COMCAFE、ムニシピオ代表等、地域でのプロジェクト活動に欠かせないアクターが浮き彫りになってきた。今後、R/D 協議に向け、これら関係機関の役割分担、連携強化策を検討する必要がある、具体的には、プロジェクトのステアリング・コミッティの立ち上げなどが想定されよう。

また今回の現地調査時、又は協議の場において、気づいた点であるが、C/P 職員等が一見非常に日本側に協力的だが、主体性があるかという点と若干の不安が残るという点である。C/P が過去の開発調査実施時においても同様に日本側チームの C/P であった訳だが、開発調査の C/P

とプロジェクトのそれでは、後者の方が、より積極的なプロジェクトへの参加・主体性が要求されるということにも関係しよう。今回の調査での共同作業により、メキシコ側 C/P の主体者としての意識が高まったことも事実であり、今後、プロジェクト概要の検討、PDM の作成においてもより先方の主体性を引き出すことに十分な注意を払い、R/D 締結にいたることが重要となる。

### (3) 住民参加のモデル事業展開

従来の農業技術の移転を主要な活動にする協力においては、公的研究機関・行政府などを農業開発の拠点とし、プロジェクトでは、まず拠点組織の C/P への技術移転、拠点の組織強化を行い、拠点組織から一般農民層への農業技術の普及は、先方 C/P の自助努力に多くが期待されていた傾向がある。しかしながら、C/P となる行政組織・研究組織と地域住民層の間をつなぐ垂直的な橋渡しこそが、プロジェクト成果の普及の要所であり、今回のプロジェクトの実施にあたっては、この点によく留意し、プロジェクトデザインを検討すべきである。すなわち、C/P とともに、直接モデル地域住民にアプローチし、住民参加型事業を展開する過程で、地域行政官ほか関係者と地域住民の橋渡しを行い、プロジェクト終了後も持続する垂直的で双方向からの働きかけが可能な社会的関係を構築すべきである。特に住民から政府への農村開発への支援を得るための主体的・積極的な働きかけを行っていきけるように住民のエンパワーメントを図る。これにより、従来の行政官中心、その後の住民レベルへの普及は先方実施機関任せというプロジェクトから脱皮することができよう。

また、このような一般論とは別に、本プロジェクト実施にあたっては、チアパス州農村支援体制の特徴に留意する必要がある。それは州農村支援プログラムにおける民間コンサルタントの役割、コンサルタントと州政府の関係である。地域農民は、州が行う各種プログラムに申請し、承認されるとプログラムによる各種支援策を享受できるが、実際の農民に対し、技術指導を行うのは、州政府に登録する民間コンサルタントである。州プログラムからコンサルタント経費が支払われることになる。本プロジェクトで、普及員である特定の民間コンサルタントを相手に研修を実施したり、技術移転を行うことは、特定民間業者への関与となり、競争相手でもあるほかコンサルタントへの技術普及も期待できないことから、望ましくない。したがってパイロット地域でのモデルをより広い地域に普及させるという場合、州政府が行政府の立場から、いかに地域の開発課題を把握し、各種プログラムの活性化をはかり、かつ、地域住民がアクセスしやすいプログラムにしていくか、また、いかに住民のニーズを反映する案件を発掘するか、すなわちこうした案件のプロポーザル作成等の住民への広報・指導、民間コンサルタントの監督・行政指導を通じての、サービス内容の向上、よりよいプログラムの運営・管理に関する指導・技術移転という視点で取り組む必要がある。



## 7-2 モデル事業の波及効果と普及

### 7-2-1 パイロット・コミュニティの選定

本調査においてパイロット・コミュニティを選定する際、ソコヌスコ地域内の全コミュニティを対象として、客観的な選考基準に照らし合わせて選考を実施した。選考基準では、コミュニティにプロジェクトニーズ・受容能力があるか、という視点とともに、ソコヌスコ地域内の自然・社会・経済の特徴の多様性を網羅し得るか、という視点を盛り込んだ。つまり、プロジェクトは選択された5パイロット・コミュニティで成果をあげることを通じて、ソコヌスコ地域全体で適用可能な多様なパイロット事業のモデルを提示することになる。3年間の協力期間ではパイロット・コミュニティでモデルを確立することが第一義的な活動になるが、このモデルを活用し、協力終了後、ソコヌスコ地域全体に波及させていくという姿勢をR/D署名前はもとより、プロジェクト実施中も常にチアパス州政府側に確認していく必要がある。

### 7-2-2 モデル事業の波及効果

上述のとおり、パイロット・コミュニティでの住民組織化、モデル事業実施は、閉鎖的な環境で行うべきでなく、常にコミュニティ内、またほかコミュニティに対して開かれたものであるべきである。これにより、住民組織間、モデル事業間又はコミュニティ間での切磋琢磨、相互学習効果が期待できる。もちろんモデル事業の普及については、一義的には、プロジェクト実施機関が責を負うが、住民間の水平方向のネットワーク化による普及効果により、モデル事業は効率的に、しかも持続的に普及されていくであろう。このような住民間の自発的な普及効果を生むためには、単にプロジェクトを閉鎖的にしないよう配慮するだけでなく、地域住民社会に潜在する社会的関係、ネットワークや人間関係を把握したうえで、プロジェクトに様々な仕掛けを仕組むことも重要である。また、各モデルプロジェクトサイトの住民、及びミニプロジェクト実施の住民に対し、当プロジェクトのソコヌスコ地域のモデルとしての意義を十分に説明することも重要である。そのうえで、住民のプロジェクトへの主体的な参画の必要性、意義を明確にし、総合的な参加型農村開発プロジェクトの運営・管理に関する助言、指導を、いずれは住民が進んで周辺コミュニティへ実施できるようになることもめざしていることを共通理解としておくことが必要である。その意味でも各モデルプロジェクト間及び他の類似プロジェクトサイトへの視察やグループ間の会合等を積極的に推進すべきである。

今回のプロジェクトの協力期間は3年と限られており、その期間内で実際に普及活動を実施することは困難である。しかし、ソコヌスコ地域で適用可能な参加型による農村開発のモデルの構築にあたり、必要となるプロセスをC/P機関、関係地方自治体、住民が共有し、また、それを応用して他の村落における農村開発プロジェクトの実施をサポートしたり、前段落でも触れているように、5コミュニティでプロジェクト実施中に周辺コミュニティとの交流、プロジェクト紹介等も積極的に行っていく必要がある。

### 7-3 プロジェクト内容に係る留意点

#### 7-3-1 プロジェクト目標と指標の設定

農村開発において、その効果が発現するには、そのプロジェクト目標にもよるが、3年という短い期間では非常に難しい。2001年度に実施された「ホンデユラス・パナマの国別評価」においても最低5年、望むらくは10年間の継続的支援が効果の発現には必要であると報告されている。今回のプロジェクトにおいても、現在農村開発を実施している、C/P機関、関係機関と3年間で何をプロジェクト目標とし、そのために必要な成果、必要な活動、投入についての共通理解をもつことがまずは大前提となる。そのうえで、3年間で達成可能なプロジェクト目標を設定するとともに、上位目標の達成についても事前に協議をする必要がある。

農村開発は所得向上のみを目的とするものではない。同様に、組織化・組織強化の目的も所得向上だけではなく、経済、社会、環境の向上を含む総合的なものである。組織化を進めることで必要な保健医療サービスへのアクセスの向上や、農業技術の向上のためのセミナーを受けやすくなることも起こり得るし、村落内外の連帯感、互助システムの構築・強化等の社会資本の向上にもつながる。また、女性の労働軽減のための活動は所得向上に直接的につながらずとも、生活向上の一部と成り、また、女性の社会的地位の向上等にも寄与する。本プロジェクトの目標としては、貧困緩和や、厚生向上を設定し、組織形成の状況や、生産の多様化、脆弱性の緩和等もその指標として活用することが望ましい。また、5コミュニティの社会経済状態は異なることから、3年後の各コミュニティごとのめざす開発の状況も当然違ってくることになる。別途各村ごとの、PDM作成等、更には、各ミニプロジェクトごとのPDM、あるいは活動計画表の作成により目標、指標を明確にすべきである。

#### 7-3-2 プロジェクト実施段階

今回のプロジェクトは、4ムニシピオの5コミュニティにおいて、参加型による農村開発を実施することとなる。そのため、各コミュニティにおいてPLAやPRA等を用いた社会調査を実施し、ミニプロジェクト内容をC/P機関、関係機関、地方自治体、住民と協働で策定する必要がある。各コミュニティでのミニプロジェクトの案件形成の時点から協働で実施することで、それぞれの村でのミニプロジェクトの自立発展性ととともに、協力期間終了後の他村落への普及においても寄与すると思われる。

各コミュニティでのミニプロジェクトの実施に際して、農業生産の向上に係る活動も実施されると考えられるが、市場の動向、及びNAFTA、WTOの動向に十分配慮し実施する必要がある。生産量を増やすことが収入向上に必ずしも結びつかないことが容易に起こり得る。また、各コミュニティで実施するミニプロジェクトの目的を市場経済への参入・競争力の強化とするのか、脆弱性の軽減(生産の多様化、自給自足・強化等)とするのかを明確にする必要がある。今

回の各コミュニティでのミニプロジェクトにおいては、後者の意味合いが強くなると思われる。

また、今回のプロジェクトは、5コミュニティで実施するそれぞれのミニプロジェクトの管理・運営、各コミュニティレベルでのプロジェクト全体の運営・管理、そして、5コミュニティを含む「ソコヌスコ地域における参加型による農村開発モデルの提示」を目標としたプロジェクト全体の運営・管理という3つのレベルが存在する。それぞれを運営・管理するにあたり、それぞれのレベルでのPDM、あるいはプロジェクト計画表を作成し、運用しなければならない。同様に、それぞれのレベルでの実施体制、及びC/P機関、関係機関、関係地方自治体、各コミュニティ、各グループ、住民の担うべき役割を明確にする必要がある。

### 7 - 3 - 3 ジェンダーへの配慮

農村開発においてジェンダーの平等<sup>33</sup>の視点は不可欠である。メキシコに存在する伝統的な価値観であるマチスモは特に農村で依然として支配的であるが、ソコヌスコ地域では基幹作物であるコーヒーの近年の国際価格の下落に伴い、多数の男性が他州・海外への出稼ぎで長期間村を空けることから、女性が家庭に残され、従来男性の分野であった農業に女性が携わらざるを得なくなっているという状態が存在する。それにより、家事に加えて女性の労働負荷が上昇し、女性の社会経済上の役割がますます重要になってきており、また、伝統的な家族体系も大きな危機にさらされている。こうした状況から、今回プロジェクトを実施するにあたり、特に女性へのフォーカスをより強くすることが重要であると思われる。性別により慣習化された男女格差が顕著である当該国のプロジェクト対象地域において、男性と女性に対し、同等のアプローチを取することは、現存する男女格差の更なる拡大防止に寄与する可能性がありこそすれ、格差是正ひいては解消につながることはないからである。

プロジェクトの実施にあたり、対象5コミュニティのジェンダー・ニーズにいかに対応するかであるが、まずはジェンダー・ニーズの把握に際し、実際のニーズ(practical needs)と戦略的ニーズ(strategic needs)に分けて考える必要がある。実際のニーズとは、対象社会の男女が自己の役割や責任を遂行するために必要なニーズ、すなわち日常生活上不可欠なニーズを指し、例として、食糧、水、住居、電気、教育、収入等が挙げられる。戦略的ニーズとは、不平等な男女の関係性を変えていくためのニーズであり、女性の権利の確保、家庭内暴力からの保護、賃金や社会待遇面での男女平等等がその例である。真の意味でのジェンダーの平等の達成にあたって

<sup>33</sup> 1998年のDAC新ガイドラインでは、ジェンダーの平等(Gender Equality & Women's Development)は、「社会的に価値のある財産、機会、資源、及び、便益を男性と女性が平等に享受すること」と定義されており、「ジェンダーの平等は、男性と女性が同じになるという意味ではなく、機会や生存の可能性が平等であることを示す」と述べられている。また、ジェンダーの平等・女性のエンパワーメントに重点を置くのは、つまり「女性と男性双方が、男女平等の意味することについて選択する平等な機会があり、その達成に向けてお互いに協力していく」、そのレベルへの達成をめざすからにほかならないと続けられている。

は、女性の生活状況の改善を目的とする「实际的ニーズ」と女性の社会的地位の向上をめざす「戦略的ニーズ」双方のニーズの充足が必要となる。そのためのアプローチとして、最も新しいものが、途上国の女性達自らによって打ち出された「エンパワーメント・アプローチ」である。これは、自立の達成による女性の社会的なエンパワーメント(力づけ)を目的とし、实际的ニーズを満たす草の根からの活動を通じて、間接的に戦略的ニーズの達成をめざすものである。

当該プロジェクトにおいて、各コミュニティで具体的にどういったジェンダー・ニーズがあり、どのレベルまでのどのようなジェンダー・ニーズの達成をめざすのか、そのためにどのような活動を実施するのかは、プロジェクト初期段階のベースライン調査実施の際に、短期専門家(ジェンダー分析)の調査・分析により詳細が明らかにされることになる。それらは各コミュニティ、各グループにより異なると思われるが、現段階では以下のような活動が想定される(实际的ニーズに関しては、比較的短期間で実現が可能となるが、戦略的なニーズの場合、長期的な視野が必要となるため、プロジェクト実施期間内の達成は極めて困難である)。

まずは、实际的ニーズへの対応として、女性の組織化又は強化を行い、グループを対象に、女性の家内労働(再生産活動)負荷の軽減・余暇の創出のためのミニプロジェクト(改良かまど、トウモロコシ製粉機の設置等)を実施する。続いて、識字教育、家計簿の付け方等を指導したうえで、家庭菜園、小家畜の飼育/販売のミニプロジェクト、マイクロクレジット等を用いた小規模事業(生産活動)の実施(農産物/加工品の製造・販売、パン屋、トルティーヤ販売店、理髪店、裁縫場経営等)指導、戦略的ニーズへの対応へと発展させる。マイクロ・クレジットの実施に関しては、Tuzantán、San Rafaelでは特に活発に活動を行っている女性グループが存在し、モデルとして他の3コミュニティへの普及・波及効果が期待できる。加えて、San Rafaelには前述のMudy女史の支援を受ける女性グループが存在することもあり、マイクロ・クレジットによりグループでプロジェクトを実施することの意義の説明から実際の活動の指導・推進等協力して行っていけるものと思われる。男性の場合、女性とは異なり、農業生産性の向上・余剰生産物/加工品の販売(収入向上)等の農業中心のニーズをもち、長期の出稼ぎで村に不在となることが多いため、組織化、プロジェクトへの参加には困難が伴うことも考えられる。しかしながら、男女別のグループ形成にかかわらず、各コミュニティの住民のニーズ・要望に柔軟に対応しつつ、男女協働の方がより一層の効果が期待できる場合、もしくは協働の必要性がある場合は、男女合同のグループ形成・活動を推進すべきである。

こうした活動により、所得の向上という経済上の効果だけではなく、女性のエンパワーメント、社会資本の向上という社会的な効果の達成も同時に期待することができる。家計を握っているのは依然として男性である農村において、事業実施を通じて女性の経済活動への参画を図ることで、男性の女性に対する見方・対応の変化、家事労働へのより積極的な参加、女性の家庭内・コミュニティにおける発言力の向上が期待できる。更には、男女共同でのより効率的・

持続的な家計運営、ひいてはコミュニティ開発も可能となろう。そのためにも男性の理解、賛同を得ることは不可欠であり、各コミュニティでのプロジェクトの実施、特に女性中心のミニプロジェクトにおいても、積極的に男性の参画を図っていくべきである。プロジェクトサイトとして選定した5コミュニティでは、家事労働への男性の協力も確認されており、プロジェクトの実施にあたり、男性の協力を得ることに問題はないと思われる。

以 上



## 付 属 資 料

1. 要望調査表
2. ミニッツ
3. 会議議事録
4. 農村社会調査
  - 4 - 1. サイト選定基準(日本語・西語)
  - 4 - 2. グループ・インタビュー調査表(西語)
  - 4 - 3. 現地コンサルタントへの業務委託(TOR)(西語)
  - 4 - 4. 野口専門家業務日程
5. 農村社会調査結果
  - 5 - 1. 10コミュニティの農村調査日程
  - 5 - 2. 10コミュニティの農村調査結果比較表
  - 5 - 3. コミュニティ別の農村調査結果(西語)
  - 5 - 4. プロジェクトのフローチャート(案)
6. 参考文献





1. 要望調査表

プロ技・アフターケア、個別専門家チーム  
派遣・研究協力要請案件調査票（1/2 枚目）

対象事業	・プロ技 ・個別専門家チーム派遣	・プロ技アフターケア ・研究協力
------	---------------------	---------------------

国名	メキシコ	援助重点分野	地域・貧富の格差の是正
開発課題	農村地域社会の所得向上	協力プログラム名 (プログラム番号)	農村地域社会支援プログラム ( 245-0065 ) 245-0065-C 0010

カテゴリー	○ プロジェクト方式技術協力 ○ プロ技アフターケア ● チーム派遣 ○ 研究協力		
案件名	(和) 農村女性組織強化計画 (英西仏) Fortalecimiento para la organizacion de mujeres rurales		
実施機関名	(和) 農牧業農村総合開発省 生産者基金チアパス事務所及びチアパス州政府		
	(英西仏) Secretaria de Agricultura, Ganaderia y Desarrollo Rural / Fundacion Produce A.C		
	協力拠点地域： タパチュラ	首都からの距離：	1 2 0 0 km
主管官庁名	(和) 農牧業農村総合開発及び食糧漁業省 (英西仏) Secretaria de Agricultura, Ganaderia y		
要請背景	協力を必要とする問題の現状	調査対象地域のチアパス州は、全国で最も貧困指数及び非識字率が高く、開発調査「ソコヌスコ地域農牧業農村総合開発計画調査」（1998～1999年）実施後、5つの柱となる開発計画を策定し、農村社会改善の一つの方策として農村女性組織化促進が掲げられた。	
	上記問題に対する先方政府の取組状況	チアパス州政府も昨年度の政権交代後、本開発調査の重要性を認識し、各プロジェクトを実施すべく準備を整えているものの、計画を実施すべく経験と知識を欠いているため、日本からの援助によるこれらの知識を必要としている。	
	国家政策・開発計画との関係	本案件は2001-2006国家計画（貧困対策部分）にマッチするとともに、現在近隣9カ国で開発推進すべく準備を行なっているプエブラ・パナマ計画にも合致するものと考えられる。	
プロジェクトの目標・内容	(上位目標)	小規模農家生産性向上により所得向上及び生活安定を図り、地域全体の発展に寄与する。	
	(プロジェクト目標)	*プロジェクト期間中に達成する目標。可能な限り具体的な数値目標を記載。 農村女性の組織化により小規模村落が活性化し、各技術の習得により、生産性・所得を向上することができる。	
	(成果)	農村女性の組織化を通じて農村社会の基盤である農村生活環境保全と農村開発に対する女性のエンパワーメントを創出し、農村社会における地位の向上並びに作物生産・家畜飼育技術を取得することができる。	
	(活動内容)	DIF（家族開発のための国家システム）プロモーター、SAGARPA及び市町村農牧担当者と協力し、各集落・村落の女性に呼び掛け女性グループの組織化を図り、庭先での家畜の飼育養豚を通した婦人の現金収入源の創出、基礎衛生、生活改善等の実地指導を行ない、農村婦人の啓発を行なう。また、その間女性に対する農村社会開発参加への啓発を目的とした研修を農村女性リーダーを対象に実施することとする。	
投入内容	日本側投入量 協力期間 3年間 (2002年4月から)	(専門家) 人数：長期 3人 短期 3人/年 分野：リーダー（組織運営）、家畜飼育、野菜生産、村落開発、保健衛生等	
		(カウンターパート研修) 人数： 3人/年 分野：家畜飼育、野菜生産、保健衛生等	
		(機材供与) 金額： 15百万円（協力期間中の総額） 主要品目 車両（4WD）：2台、PC及び周辺機器：6台 数 量	
		(現地業務費) 金額： 10百万円/年 種別：現地コンサルタント契約経費、調査経費等	

プロ技・アフターケア、個別専門家チーム  
派遣・研究協力要請案件調査票（2/2 枚目）

協力プログラム名 (プログラム番号)	農村地域社会支援プログラム (245-0065-C) ID: 245-0065-C 0010
-----------------------	---------------------------------------------------

相手側投入量	(予算：管理費、事業費)  (カウンターパート：専任・兼任の区別も記載) 州政府関係者 SAGARPAチアパス支局等多数  (拠点となる施設の状況) <input checked="" type="checkbox"/> 既存施設の利用 <input type="checkbox"/> 新規施設の建設
無償資金協力要請の有無 無償不採択の場合の 相手側の対応状況	○有 ○無 (有)の場合：(総額 _____ 百万円：機材 _____ 百万円：建物 _____ 百万円)  ( <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 機材)の手当 ○可、 ○一部可、 ○不可 一部可の場合 手当可

プロジェクト実施の 妥当性	裨益者グループの 種類と規模 (人数・人口)	1. 技術移転の直接の対象者 (C/P、訓練生等) とその人数 SAGARPA関係者、州政府関係者、現地農民 2. プロジェクトの恩恵を直接受けるグループ (地域住民、学生等) とその人口 地域住民、農民：約30万人 3. 上位目標が達成された場合に裨益するグループとその人口 ソコヌスコ地域住民：約70万人
	先方実施機関の プロジェクトの 実施体制	1. プロジェクト実施機関の現在の予算、スタッフ数、及び技術水準 スタッフ多数 (州関係者、SAGARPAソコヌスコ地域支部等) 2. プロジェクト期間中の実施機関の予算計画とスタッフ配置計画 (実施機関全体) 3. 主管官庁のプロジェクト責任部門全体の予算額とスタッフ数 (実施機関含む) 4. プロジェクトの上位目標と実施機関の権限範囲の整合性 問題なし。
	プロジェクト 実施上のリスク (潜在的阻害要因)	特になし。

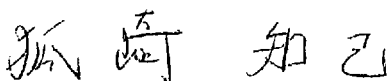
関連 事業	我方の協力との関連 (技協、無償、 有償他)	開発調査「ソコヌスコ地域農牧業農村総合開発計画調査」1998～1999実施
	第三国/国際機関 からの協力の有無 及びその内容	
	治安状況	同地域については特に問題なし。
	当該分野現地コンサルタントの 状況 (有無、レベル等)	有。
	専門家の生活環境	現在、日系青年ボランティアも同地域にて活動していることから問題はないものと思われる。
	優先順位	(先方政府順位) 1 件中 1 位 (我方順位) 1 件中 1 位
	在外コメント	メキシコ政府は、南部の貧困地域の対策を重要視していること、また、99年にまとめられた開発調査「ソコヌスコ地域農牧業農村総合開発計画調査」の提言を踏まえた本プロジェクトの実施は、我が国のプレゼンスを高めることにも繋がることから、有意義なものと思料する。

**Minutes of Meetings**  
**Between**  
**Japanese Preliminary Study Team and**  
**The Authorities Concerned of the Government of the United Mexican States and the**  
**Government of the State of Chiapas for**  
**The Technical Cooperation Project on**  
**The Support to Small Farmers in Soconusco, Chiapas**  
**in the United Mexican States**

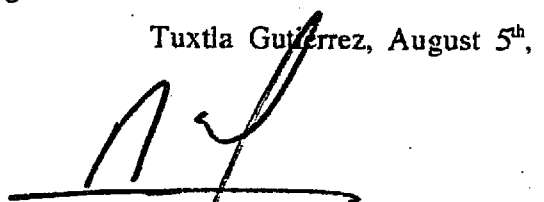
Japanese Preliminary Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), and headed by Dr. Tomomi Kozaki, visited the United Mexican States from 26th July to 5th Aug. 2002, for the purpose of carrying out the fact finding field survey and the feasibility study of a joint effort for the support to small farmers in Soconusco, Chiapas.

During its stay in the United Mexican States, the Team had a series of field surveys and had meetings with the authorities concerned of the Government of the United Mexican States and the Government of the State of Chiapas (hereinafter referred to as "the Mexican Side"). As a result, the both sides agreed to make more efforts for the preparation of the future joint project. The result of surveys and meetings are described in the attached document.

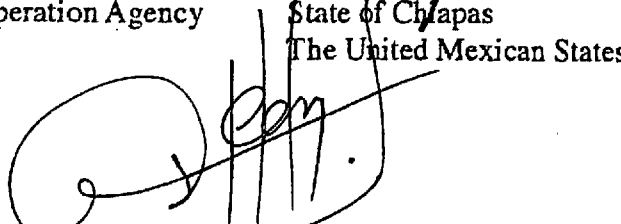
Tuxtla Gutiérrez, August 5<sup>th</sup>, 2002



Dr. Tomomi Kozaki  
Leader  
Japanese Preliminary Study Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



Mr. Rubén F. Velázquez López  
Secretary  
Secretariat of Rural Development  
State of Chiapas  
The United Mexican States



Mr. David Corzo Castillejos  
Delegate  
Delegation at Chiapas,  
Secretariat of Agriculture, Livestock,  
Rural Development, Fisheries and Food  
The United Mexican States

## ATTACHED DOCUMENTS

### **1. Result of Meetings**

The Team had a series of discussions with the Secretariat of the Rural Development of the State of Chiapas (hereinafter referred to as "SDR"), the Delegation of the Secretariat of Agriculture, Livestock, Rural Development, Fisheries and Food (hereinafter referred to as "SAGARPA") in Chiapas, their delegations in Tapachula and Fundación Produce in Chiapas (hereinafter referred to as "Fundación"). The Team further confirmed the necessity to consolidate the women's organizations in rural areas, taking into consideration of the Sustainable Rural Development Law, forced into effect in December 2001 by the Government of Mexico, and the activities of Rural Development Program by SDR.

In Soconusco Region, the Team, the Mexican delegations of SDR, SAGARPA, the Mexican Coffee Council (COMCAFE) and Fundación selected ten (10) communities to implement the future project targeting small farmers through the process of screenings by criteria such as the altitude, the poverty index, the principal agricultural activity, the form of community organization, women's organization, the relation with the government, prospects of upward mobility (POUM), and social capital.

### **2. Interim Result of the Field Survey**

The Team conducted the field survey as many as possible and selected ten (10) communities in Soconusco. Those communities visited by the Team and the outline of the result of surveys are described in Annex I.

### **3. Outline of the Project**

The outline of the Project, described below, is subject to modification according to future discussions before signing of the Record of Discussions (hereinafter referred to as "R/D").

#### **(1) Name of the Project**

Both sides agreed to decide "Technical Cooperation Project on the Support to the Community-based Collaboration Effort among Small Farmers" as the name of the Project. However, the name may be modified according to future discussions before the signing of R/D.

#### **(2) Project Area and Site**

The project areas will be 5 communities in Soconusco Region in Chiapas to be decided following the further field surveys by the Team and a short-term expert.

(3) Duration

The duration of the Project will be three (3) years.

(4) Implementing Agency of the Project

The Secretariat of Rural Development, the State of Chiapas, will bear overall responsibilities for the implementation of the Project in collaboration with the Secretariat of SAGARPA in Chiapas.

**4. Future Procedures**

The schedule until the implementation of the Project is shown as follows:

Until October

After the Team would leave for Japan, a short-term expert will remain to continue the field surveys and workshops, diagnose situations, and identify the framework of the possible Project in the selected communities. Through these collaborations, the both sides of Japan and Mexico will further study the Project design.

Around October

The R/D for the commencement of the Project will be signed around October between the Secretariat of Rural Development, the State of Chiapas, the Secretariat of SAGARPA in Chiapas, and the Resident Representative of JICA Mexico Office. The Japanese side submitted the format of R/D to the Mexican side and the sample is given as Annex II.

END

### Annex I-1. 10 Communities Selected

<b>Municipality</b>	<b>Locality</b>
Acacoyagua	Los Cacaos
Cacahoatán	El Aguila
Suchiate	Brisas del Mar
Tapachula	Chanjale Salchiji
Tapachula	Pavencul
Tuzantán	Francisco Sarabía
Tuzantán	Rubén Jaramillo
Tuzantán	Tuzantán
Unión Juárez	Chiquihuites
Unión Juárez	San Rafael

### I-2. Communities Visited (July 31- August 2)

<b>Date</b>	<b>Municipality</b>	<b>Locality</b>
Wednesday, July 31	Tapachula	Pavencul
	Tapachula	Chanjale Salchiji
Thursday, August 1	Tuzantán	Rubén Jaramillo
	Tuzantán	Francisco Sarabía
	Tuzantán	Tuzantán
Friday, August 2	Suchiate	Brisas del Mar
Saturday, August 3	Acacoyagua	Los Cacaos

### I-3. Communities to be Visited (August 5 – August 6)

<b>Date</b>	<b>Municipality</b>	<b>Locality</b>
Monday, August 5	Cacahoatán	El Aguila
Tuesday, August 6	Unión Juárez	San Rafael
	Unión Juárez	Chiquihuites

#### **Annex I-4. Criteria for the Selection of the Communities**

1. Altitude
  - 1) Low (0-600M)
  - 2) Medium (600-1200M)
  - 3) High (1200-2000M)
  
2. Poverty / Marginality Index
  - 1) Very high
  - 2) High
  
3. Principal Agricultural Activities
  - 1) Basic grains
  - 2) Coffee
  
4. Form of Community Organization
  - 1) Ejido
  - 2) Small producers with long organizational experience
  - 3) Small producers with insufficient organizational experience
  - 4) Indigenous community with the presence of ISMAM
  
5. Women's Organization
  - 1) Very active
  - 2) Active
  
6. Relations with the Government
  - 1) Intimate
  - 2) Normal
  
7. Prospects of Upward Mobility (POUM)
  - 1) High
  - 2) Normal
  
8. Social Capital
  - 1) High
  - 2) Normal}

Note: factors to be taken into account

1. There is no existence of major difficulties for the access to the communities.
2. Communities with the average number of families in the region
3. There is no existence of conflicts which are perceivable or not perceivable within the communities or with surrounding communities.

RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND  
XXXXXXXXXXXXX,  
THE UNITED MEXICAN STATES  
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT  
ON THE SUPPORT TO THE SMALL FARMERS

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") through its Resident Representative of JICA Mexico office had a series of discussions with the Mexican authorities concerned with respect to the framework of the technical cooperation Project on the Support to the small farmers in the United Mexican States and to the desirable measures to be taken by both Japanese and Mexican Governments for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussion, and in accordance with the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the United Mexican States (hereinafter referred to as "the Agreement"), Resident Representative of JICA Mexico office and XXXXXXXX agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

XXXXXX(place), XXX(day), XXXX(month), 2002

---

Mr. Koji KAWAI  
Resident Representative  
JICA Mexico Office

---

XXXXXXXX  
XXXXXXXX  
XXXXXXXX



## THE ATTACHED DOCUMENT

### I. COOPERATION BETWEEN THE JAPANESE AND THE MEXICAN SIDES

1. XXXXXXXX(Mexican side) will implement the Project on the Support to the Small Farmers in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan given as Annex I-1.
  - (1) The form of Project Design Matrix (PDM) is given as Annex I-2.
  - (2) The tentative schedule of implementation (TSI) for the Project is given as Annex I-3.

In this relation, the annual tentative schedule of implementation (ATSI) for the first year is also given as Annex I-4. Both sides are responsible for the preparation of ATSI for the second and the third year.
  - (3) Collaborating Organizations for the Project are listed below ;  
XXXXXX  
XXXXXX  
XXXXXX

### II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the attached document, JICA will at its own expense take the following measures under the technical cooperation scheme of Japan.

1. DISPATCH OF THE JAPANESE EXPERTS  
JICA will dispatch Japanese experts as listed in Annex II.
2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT  
JICA will provide machinery, equipment and materials necessary for the implementation of the Project listed in Annex III.
3. TRAINING OF MEXICAN PERSONNEL IN JAPAN  
JICA will receive the Mexican personnel associated with the Project for technical training in Japan.

### III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES

1. XXXXX will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. (1) Specific privileges and other benefits necessary for the conduct of the Project will be provided in accordance with the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the United Mexican States signed on December 2, 1986.  
(2) XXXX will take necessary measures to pay the Value Added Tax (VAT) imposed on the domestic purchase of machinery and equipment by JICA within the United Mexican States.
4. XXXXX will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Mexican personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
5. In accordance with the provisions of Article IV of the attached document, XXXX will be accountable for Mexican counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.
6. In accordance with the provisions of Article IV of the attached document, XXXX will furnish with the buildings, facilities and equipment as listed in Annex V.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the United Mexican States, XXXXX will take necessary measures to supply or replace machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials at its own expense necessary for the implementation of the Project other than those provided by JICA under II. -2 of this attached document.
8. In accordance with the laws and regulations in force in the United Mexican States, XXXX will take necessary measures to meet the running expenses requisite for the implementation of the Project, as stated in Annex VI.

### IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. XXXXX of XXXX will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project as the Project Director.
2. XXXXX will assist the Project Director in IV-1 above to effectively conduct the Project as the Deputy Project Directors.
3. XXXXX will be responsible for the managerial and technical matters of the Project as the Project Manager.
4. The leader of JICA expert team and/or Resident Representative of JICA Mexico Office will provide necessary recommendations and advice to the Project Director, the Deputy Project Directors, Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
5. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Mexico counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
6. For the effective and successful implementation of the Project, the Joint Coordinating Committee and the Technical Committee will be established. The functions and composition of the Committees are described in Annex VII.

#### V. EVALUATION

JICA and XXXXX will conduct the evaluation on the Project. Evaluation will be performed at 3<sup>rd</sup> year of the project.

#### VI. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and XXXX on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

#### VII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the United Mexican States, XXXX will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the United Mexican States.

## IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be three (3) years from xxx,xxx,2002.

- ANNEX I-1 MASTER PLAN
  - I-2 Project Design Matrix
  - I-3 Tentative Schedule of Implementation
  - I-4 Annual Tentative Schedule of Implementation
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY, EQUIPMENT AND CONDITION OF THE USE
- ANNEX IV LIST OF MEXICAN COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VI INPUT TO THE PROJECT BY JICA AND XXXXXX(Mexican side), AND COUNTERPART BUDGET ALLOCATION BY XXXXXX(Mexican side)
- ANNEX VII JOINT COORDINATING COMMITTEE AND TECHNICAL COMMITTEE

3. 会議議事録

議事録

日時	2002年7月26日 10時
場所	大使館
会合名	表敬・打ち合わせ
出席者	(先方) 石川 浩 二等書記官 田中 豪一 一等書記官 (日本側) 調査団員 4名
内容	(協議内容：箇条書き) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査団より調査概要方針説明。</li> <li>・ 大使が5月にチアパス州を訪問し、州知事他と協議を行い、今後の日本の協力を表明した。その後のフォローのために8月初旬には、大使館、JICA、JETROのメンバーが現地を訪れる。</li> <li>・ 対メキシコの援助量も限られており、チアパス州だけ多くの協力ができる訳ではないので、大使館としては、今回形成する JICA 案件を対チアパス協力の中核にしたい。他には日系団体への草の根無償資金協力を検討する。</li> <li>・ C/P がはっきりときまっておらず、州政府以外からも対象コミュニティの希望があがっているようだが、州政府の意向を良く検討して欲しい。</li> <li>・ 協力の可能性、対象サイトが固まったら、早急に大使館にも知らせて欲しい。8月初旬のチアパス訪問の際のサイト視察にも反映させたい。</li> </ul>
備考	(要検討事項、重要事項など)

作成者 (三田村 )

議事録

日時	2002年7月29日
場所	S D R 事務所 (Tuxtla Guitierrez)
会合名	SDR との協議
出席者	(先方) Rudén F. Velázquez López, David Corzo Castillejos Walter López Báez, Caqollina STZ Velázquez, Jaime Carrillo Encizo Miguel Coutiño, Rogelto J. Méndez, Hernan López López (日本側) 調査団員 5名
内容	<p>(協議内容)</p> <p>1) SDR、Ruben 氏より挨拶</p> <p>2) 調査団より団員紹介、調査概要説明</p> <p>3) SDR より「農村女性の組織強化」について要請背景の説明 女性組織化という要請の背景については以下の理由による。 Desarrollo Rural, の下部組織、Alianza para el Campo が実施している Programa de mujeres en desarrollo rural から要請があがった。2001 年には 26 の女性グループにプロジェクト実施した。特に、その中で、Programa de mujeres en desarrollo rural のもつ3つのプログラム (Inversión, Capacitación, Fortalecimiento) のうち、組織強化について JICA へ協力依頼が出された。</p> <p>4) SDR 側よりの要請事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Sierra 地域への協力の依頼 →調査団より、前回のマスタープランの対象地域ではないこと、今回のプロジェクトはソコヌスコ地域を中心に実施したいこと、ただし、ソコヌスコ地域以外の女性グループ、小農グループがプロジェクト実施のモデルグループと連携をするのは歓迎する旨を伝える。</li> <li>・各ムニンシピオのリーダー (コーディネーター) をプロジェクト開始当時からコミットしてほしい →調査団より、プロジェクトを実施するムニンシピオについては、各リーダーに法的な C/P となってもらうこととすること、また、そのためにも、野口専門家来墨時には表敬、協議を実施する旨を伝える。</li> <li>・ジェンダーの視点に配慮した農村開発について。(同地域で男性の多くがアメリカ等へ出稼ぎに行っていることが多い状況等より) →調査団としても十分に配慮する旨を伝える。</li> <li>・沿岸地域の漁村地域でのプロジェクト実施の可能性について →調査団より、実施体制 (メキシコ側) に早い段階から関係組織を巻き込むことができれば、漁村も含めることも可能である事を伝える。</li> </ul> <p>5) 当方より実施プロジェクトサイト選定基準について説明を行い、相手側も了承。</p> <p>6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DIF について 組織は事実上無くなっている。現在は Insutituto Desarrollo Humano になっている。</li> <li>・チアパスでの農村開発の実施体制について 州政府が資金・業務管理をし、FUNDACION, Desarrollo Rural 等がプロジェクトを企画し、更にそれぞれをコンサルタント会社へ委託して実施している。</li> <li>・他国国際機関の援助状況について 現在のところ、チアパス州に於いて国際機関、外国援助機関による開発援助は実施されていない。</li> <li>・ JICA 事業説明</li> </ul>

	三田村団員より JICA 事業について説明を実施した。
備考	(要検討事項、重要事項など) ・ ミニッツ内容について ・ 野口専門家来墨時の日程について

作成者 ( 高砂 )

議事録

日時	2002年7月30日
場所	SDR事務所 (Tapachula)
会合名	関係機関 (SDR、SAGARPA、FUNDACION、COMCAFE) との協議
出席者	(先方) Alvaro Zenteno Paniagua、Eulalio Fernández Bello、Bruno Coutiño、Edilse Arena Monzón、Axel Geronimo Cruz、Martha Noemí Zapata、Carlos Renováles Villa (日本側) 調査団員 5名
内容	<p>(協議内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) SDR、Zenteno 氏より挨拶。</li> <li>2) 調査団より団員紹介、調査概要{目的、内容、日程(野口専門家の日程も含む)}・昨日の Tuxtla Gutierrez での会合内容の説明。</li> <li>3) 団長よりプロジェクトサイト選定プロセス・基準の説明、先方の了承を得る、その後、関係諸機関と共に 10 のプロジェクトサイト候補地選定作業を行う。最初の段階で具体的に候補に挙げられたコミュニティは以下の通り。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Mapastepec : Las Palmas、La Blanca、</li> <li>・ Esquintla : San Antonio、Miramar、Unión Jamaica</li> <li>・ Huixtla : Estrella Rosa</li> <li>・ Tuzantán : Rubén Jaramillo、San Cristobal、Francisco Sarabía、Tuzantán、Sonora、</li> <li>・ Tapachula : Chespal Nuevo、Plan Chanjale、Toquián Grande、Chanjale Salchiji、Pavencul</li> <li>・ Tuxtla Chico : Manuel Lazos</li> <li>・ Cacahoatán : Alpujarras、Agustín de Iturbide、Unión Roja、El Aguila、Toquian las Nubes、Fracción Azteca</li> <li>・ Unión Juárez : Cerro del Carmen、San Rafael、Cordova Mazatano、El Desenlace、Chiquihuites</li> <li>・ Acacoyagua : Los Cacaos</li> <li>・ Huehuetán : Plan de Ayala、Cantón Sinaí、Cantón Villahermosa</li> <li>・ Acapetaua : Río Arriba</li> <li>・ Suchiate : Brisas del Mar</li> </ul> <p>上記のコミュニティの内、選定された 10 のコミュニティ及びその概要は以下の通り。</p> <p>(Tuzantán)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Rubén Jaramillo ; 中緯度 (700m)、コーヒー・カカオ生産、政府との関係極めて良好、30 家族、Tapachula より車で 2 時間。</li> <li>・ Francisco Sarabía ; 中緯度 (600m)、Tapachula より車で 1 時間</li> <li>・ Tuzantán ; 低地 (40m)、コーヒー・マンゴー生産、Tapachula より車で 1 時間</li> </ul> <p>(Tapachula)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Chanjale-Salchiji ; 高地 (1,315m)、マージナリティ高い、コーヒー、40 家族、Tapachula より車で 2.5 時間</li> <li>・ Pavencul ; 高地 (2,200m)、トウモロコシ・野菜・果物・コーヒー、Tapachula より車で 3 時間以上</li> </ul>



	<p>(Cacahoatán)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ El Aguila ; 高地 (900m)、Tapachula より車で1時間</li> </ul> <p>(Unión Juárez)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ San Rafael ; 中緯度 (800m)、Tapachula より車で1.5時間</li> <li>・ Chiquihuites ; 高地 (1,000m)、花き、Tapachula より車で2時間</li> </ul> <p>(Acacoyagua)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Los Cacaos ; 中緯度 (680m)、コーヒー、小農 (PROGRESA・PROCAMPO の支援あり)、村内且つ近隣の村とももめ事なし、Tapachula より車で2時間</li> </ul> <p>(Suciate)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Brisas del Mar ; 低地 (15m)、魚・畜産・バナナ、女性の組織あり、Tapachula より車で40分</li> </ul> <p>4) 双方の話し合いにより、上記コミュニティ訪問・調査の日時を決定する (添付資料参照)。</p>
備考	<p>(要検討事項、重要事項など) 特になし</p>

(作成者 作元)

議事録

日時	2002年8月8日(木) 10:00~11:30
場所	TAPACHULA 市庁舎、会議室 (Tapachula)
会合名	プロジェクト実施サイト候補地決定について
出席者	(先方) 別添1 参加者リスト参照 (日本側) 調査団員 2名、野口短期専門家
内容	<p>(協議内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) S.D.R. Alvaro 氏より挨拶</li> <li>2) 参加者全員の自己紹介</li> <li>3) 調査団の背景、目的、及びプロジェクト実施サイト選定基準についての説明 (作元団員、Gilberto 氏)</li> <li>4) 調査団が実施した10コミュニティの調査概要、及びサイト選定基準に基づいた調査結果の報告 (高砂団員、Gilberto 氏)</li> <li>5) プロジェクト実施サイト5コミュニティ(引き続き、野口短期専門家、Gilberto 氏がワークショップ、調査を実施する村)の発表と、5箇所个村が選択された理由及び各村で起こりうる可能性のある問題点についての報告 (作元団員) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択した5コミュニティは以下の通り。TAPACHULA から Pavencul、TUZANTAN から Ruben Jaramillo と Tuzantán、ACACOYAGUA から Los Cacaos、そして UNION JUAREZ からは San Rafael</li> <li>・ 選択した理由として、選択基準に加えて、女性組織の存在、市場等へのアクセスの存在、社会資本の存在等を説明した。また、選択した5コミュニティについても現時点では特に問題ではないが、今後起こりうる可能性のある問題、例えば政治的問題 (Pavencul、Ruben Jaramillo、Tuzantán)、治安上の問題 (Los Cacaos) についても引き続き調査の必要性、各ムニシピオの協力の必要、そしてプロジェクト実施に際して注意を要することを報告した。</li> </ul> </li> <li>6) Desarrollo Rural より、現在実施中の女性組織強化、特にマイクロ・ファイナンスについての紹介</li> <li>7) S.D.R. Alvaro 氏より閉会の挨拶</li> </ol> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	<p>(要検討事項、重要事項など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別添1 参加者リスト</li> <li>・ 別添2 参加者への配付資料</li> <li>・ 別添3 サイト選定基準による10コミュニティの比較表</li> </ul>

作成者 ( 高砂 )

#### 4. 農村社会調査

##### 4-1. サイト選定基準(日本語・西語)

### チアパス事前調査における農村社会調査 サイト選定基準

- 1) 自然条件
  - (1) 沿岸平地(熱帯サバンナ地域)(トゥモロコシの主産地)
  - (2) 山麓から標高1200mまでの中間山地(コーヒー主産地)
  - (3) 高地 1200-2000m(コーヒー限界地)
  
- 2) 貧困指数: INEGIの自治体単位の第XII回(2000年)センサスに基づく
  - (1) 「非常に高い」
  - (2) 「高い」
  - (3) 「普通」
  
- 3) 営農形態・組織化レベル
  - (1) エヒード集落(解体過程にある集落も含む)
  - (2) 小規模農民主体のコミュニティで、自治組織が非常に活動的(政府・NGOの援助を繰り返し受けている、インフラ整備・維持が進んでいる)
  - (3) 小規模農民主体のコミュニティで、自治組織が組織はされているが、政府・NGOからの支援は(2)にくらべて低く、インフラ整備も遅れている。
  - (4) ISMAMの組織化・支援を受けている先住民コミュニティ
  
- 4) DIF等農村開発・農民の組織化担当機関が希望する又は考慮中のサイトである。
  
- 5) ターゲット・グループ(TG)となり得る、ある一定数(5ha以下)の土地持ち(共有又は私有)の小規模農家の集団(トゥモロコシ又はコーヒー栽培行い、組織化・営農改善への強い意欲があり、プロジェクトの実施に対し積極的)がある。
  
- 6) メキシコの関連諸機関による技術的支援が可能である。

- 7) アクセスが容易で他地域からの訪問が容易である。
- 8) 域内平均の家族数がある。
- 9) 非政治的である (PAN、PRI 等の政治的なレッテルがない)。
- 10) キー・インフォーマントがいる (コミュニティ内の権力・階層分化に詳しい)。
- 11) 政府とのコンタクトがある、又は過去に政府から何らかの支援があった。
- 12) TG 内部に率先してリスクを負担し生活改善に取り組む、コンタクト・グループ (CG) と規定しうる少数派 (リーダー格の農民を含む数名) がいる (調査が可能であれば)。

## **Procedimiento para la Selección de las Comunidades y la Elaboración del Diseño de Programa de Cooperación**

1. Primera selección de aprox. las 10 comunidades, basada en los criterios presentados por la misión japonesa y con el acuerdo de las entidades concernientes
2. Visita a las comunidades
3. Segunda selección de las aprox. 5 comunidades representativas de la región de Soconusco
4. Realización de PCM (taller para el diagnóstico de las necesidades prioritarias de las comunidades)
5. Elaboración del diseño preliminar del programa de cooperación
6. Selección final de las comunidades
7. Diseño definitivo del programa de cooperación

## Criterios para la Selección de las Comunidades

### 1. Altura

1) baja (0-600M) 2) media (600-1200M) 3) alta (1200-2000M)

### 2. Índice de Pobreza o Márginaridad

1) muy alta 2) alta

### 3. Actividad Agrícola Principal

1) granos basicos 2) café

### 4. Formas de Organización Comunal

1) ejido 2) pequeños productores con las experiencias organizacionales 3) pequeños productores con pocas experiencias organizacionales 4) comunidad indígena con la presencia de ISMAM

### 5. Organización de Mujeres

1) muy activa 2) activa

### 6. Relaciones con el Gobierno

1) íntima 2) normal

{7. Perspectiva para el Desarrollo (POUM) 1} alta 2} normal}

{8. Capital Social 1} alto 2} normal}

Nota: factores hay que tomar en cuenta

1. No existen mayores dificultades para el acceso a las comunidades.
2. Comunidades con el numero de las familias representativas.
3. No existen conflictos presentes ni latentes dentro de las comunidades ni con las comunidades allasentes.

## INVESTIGACION GENERAL

Municipio: \_\_\_\_\_

Comunidad: \_\_\_\_\_

Fecha \_\_\_\_\_ ; \_\_\_\_\_

### 1. Historia de la Comunidad.

Hace \_\_\_\_\_ años. Hay \_\_\_\_\_ *has.* # \_\_\_\_\_ Ejidatarios. # \_\_\_\_\_ Ejidatarias.

Otra información \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes \_\_\_\_\_ Familias (Casas) \_\_\_\_\_

### 3. Vivienda

(1) Agua \_\_\_\_\_

(2) Letrina Hay o No hay

(3) Fogón ¿Qué tipo del fogón? \_\_\_\_\_

(4) Luz eléctrica Hay o No hay

(5) Comunicación a) Teléfono caseta # \_\_\_\_\_ Celular # \_\_\_\_\_

b) Radio c) Correo

4. Autotransporte Hay o No hay Qué ruta? \_\_\_\_\_

Número de corrida (Frecuencia) \_\_\_\_\_

Precio \_\_\_\_\_

### 5. Educación

a) Jardín de los Niños # \_\_\_\_\_ # \_\_\_\_\_ niños b) Primaria # \_\_\_\_\_ # \_\_\_\_\_ estudiantes

c) (Tele)Secundaria # \_\_\_\_\_ # \_\_\_\_\_ estudiantes d) Bachillerato # \_\_\_\_\_ # \_\_\_\_\_ estudiantes

Si no hay secundario, dónde estudian los estudiantes? \_\_\_\_\_

Si no hay bachillerato, dónde estudian los estudiantes? \_\_\_\_\_

### 6. Salud

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica b) Centro de Salud c) Clínica d) Otro \_\_\_\_\_

Doctor # \_\_\_\_\_ Medico # \_\_\_\_\_ Enfermera # \_\_\_\_\_

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_

7. **Religión** \_\_\_\_\_

8. **Organización**

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

9. **Asistencia Técnica y Capacitación**

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si o No

¿Qué tipo? \_\_\_\_\_

¿De qué parte? a)Gobierno \_\_\_\_\_  
b)Privada \_\_\_\_\_  
c)Organización \_\_\_\_\_

10. **Producción (cultivo)**

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Consumo	Venta

Cómo se vende los productos?

a)Vecinos      b)Intermediarios      c)Coyotes      d)Otros \_\_\_\_\_

11. **Cría de Animal**

Qué tiene? \_\_\_\_\_

12. **Economía**

1)¿Dónde se compra sus insumos? a)Comunidad    b)Fuera de la comunidad    c)Otro \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos? Individual o común



2) Ingresos

- Medio del ingreso a) Venta de Producción \_\_\_\_\_  
b) Jornadero \_\_\_\_\_  
Dónde? \_\_\_\_\_  
c) Obrero \_\_\_\_\_  
Dónde? \_\_\_\_\_  
d) Emigración \_\_\_\_\_  
Dónde? \_\_\_\_\_

**13. Organización de Mujer**

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

**14. Otros**

- 1) POUM (perspectiva para el desarrollo) \_\_\_\_\_  
2) El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_  
3) Otros \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

#### 4-3. 現地コンサルタントへの業務委託 (TOR) (西語)

### **Estudios en el Campo para la Misión del Estudio Preliminar en Chiapas Consignación de Trabajo al Consultante**

#### **Actividades**

1. Hacer una reunión preparatoria con la misión del estudio preliminar sobre los artículos, el método, los barrios que sean objetos del estudio
2. El primer estudio – acompañarle a la Misión que organiza la reunión con la delegación concerniente del gobierno del estado de Chiapas y que hacer el estudio en el campo por el medio de la obsevación directa por la visita y reconocimiento del campo/los diálogos y la consulta con los habitantes (la entrevista informal, la al informante clave y los grupos) en las 10 comunidades y darles consejos apropiados.
3. Hacer unas reuniones con la Misión sobre la resultad del análisis del estudio mutuamente y seleccionar las 5 comunidades que seran los sitios del proyecto basado en el diagnóstico de la resultado del estudio sintético.
4. El segundo estudio - Hacer la entrevista con la lista de encuesta en detalle (véase los artículos siguiendes) a los 3 grupos clasificados por el nivel de estrato (alto, medio y bajo) en cada de las 5 comunidades. Para hacerla, calcular y decidir el numero de los habitantes que deben ser entrevistado en cada de los 3 grupos según el nivel de diferenciación de estrato (proporción de las 3 clases) para que los 30 habitantes (15 hobres y 15 mujeres) en máximo serrían entrevistados. Además, cooperar con la Licda. Noguchi, experta de JICA en PCM apropiadamente y intercambiar la información por la reunión para conseguir la resultado del estudio con más alta precisión mutuamente.
5. Poner en orden la resultado (los datos y información conseguidos) del estudio y entregársela a la oficina de JICA en México juntos con el informe del trabajo.

## Período del Estudio

30 días desde el 31 de julio hasta el 30 de agosto 2002 (X el 3 y el 4 de agosto)

<Artículos de la Encuesta>

(Para los Hombres)

### 1. capital social <sup>1</sup>

- numero de las asociaciones y estado de la actividad (cómo las están trabajando)
- numero de los habitantes que participan en el mantenimiento y la administración de la propiedad común (camino en la comunidad, conducción de agua, depósito de granos, servicio de sanidad pública, bosque común, y etc.), frecuencia de su participación y si existen regulaciones/penales a los habitantes que la usan sin pagar la cuota
- relación entre el nivel de contribución del habitante a la actividad en la comunidad y la probabilidad de que sea elegido como líder
- mecanismo de ser tomada la decisión de toda la comunidad
- numero de aplicación y consecución del proyecto y préstamo público a la organización externa y lo de negociación con la municipalidad durante el año pasado o 3 años pasados (para medir la capacidad del habitante para negociar con la organización externa)
- nivel de satisfacción del habitante con el servicio público (educación, sanidad, agricultura, y etc.)
- mecanismo de la mediación del conflicto dentro de la comunidad
- manera de intervención de toda la comunidad en la educación y la urbanidad de los niños (cómo se da advertencia a los niños que no traten bien)
- nivel de confianza a otros (límite del habitante para confiar el niño a otros y ¿cómo y a quién el habitante consignará su terreno agrícola cuando va a trabajar afuera de la comunidad a largo plazo?)
- nivel y límite del habitante para participar en planeamiento y formulación del proyecto

---

<sup>1</sup> Los artículos siguientes son los índices que son usados generalmente en la sociedad rural y pobre. Sin embargo, porque los índices del capital social son influenciados por la historia y la cultura del area, los artículos deben ser modificado apropiadamente basado en el resultado del primer estudio.

- manera de dar a trabajo a uno (¿por cuya recomendación el habitante empleara uno?)
  - límite del habitante para dar la mano a uno a otro cuando se celebra la fiesta en la comunidad
  - ayuda mutua sobre víveres, trabajo y dinero
  - nivel del satisfacción con la vida y perspectiva para la movilidad arriba
2. clasificación del nivel de satisfacción con la vida del habitante que es el objeto del estudio (1-5)
    - comparación del nivel de satisfacción con la vida del objeto del estudio con el de la generación de sus padres
    - nivel de la perspectiva del objeto del estudio a la generación de sus niños (la vida de sus niños serán mejorada, peor, o no será cambiada)
    - comparación del nivel de mejoramiento de la vida del objeto del estudio con él de los grupos consultados<sup>2</sup> si es posible
  3. situación de la familia agrícola, 4. situación del trabajo, 5. vida; véase la lista de entrevista adjuntada

(Para las Mujeres)

1. consciencia sobre el derecho como los humanos, los pueblos indígenas, y las mujeres y derecho
2. capacidad (educación, calculación y contabilidad, acceso y análisis a la información, y etc.)
3. capital social
  - numero de las asociaciones y estado de la actividad (cómo las están trabajando)
  - numero de los habitantes que participan en el mantenimiento y la administración de la propiedad común (camino en la comunidad, conducción de agua, depósito de granos, servicio de sanidad pública, bosque común, y etc.), frecuencia de sus participación y si existen regulaciones/penales a los habitantes que la usan sin pagar la cuota
  - relación entre el nivel de contribución del habitante a la actividad en la comunidad y

---

<sup>2</sup> Significan las personas que son los objetos de comparación subjetiva del nivel de la vida. Esa comparación debe ser clarificado por la entrevista concreta y la observación directa con los parientes, los rivales del objeto del estudio, y etc.

- la probabilidad de que sea elegido como líder
- mecanismo de ser tomada la decisión de toda la comunidad
  - número de aplicación y consecución del proyecto y préstamo público a la organización externa y lo de negociación con la municipalidad durante el año pasado o 3 años pasados (para medir la capacidad del habitante para negociar con la organización externa)
  - nivel de satisfacción del habitante con el servicio público (educación, sanidad, agricultura, y etc.)
  - mecanismo de la mediación del conflicto dentro de la comunidad
  - manera de intervención de toda la comunidad en la educación y la urbanidad de los niños (cómo se da advertencia a los niños que no traten bien)
  - nivel de confianza a otros (límite del habitante para confiar el niño a otros y ¿cómo y a quién el habitante consignara su terreno agrícola cuando va a trabajar afuera de la comunidad a largo plazo?)
  - nivel y límite del habitante para participar en planeamiento y formulación del proyecto
  - manera de dar a trabajo a uno (¿por cuya recomendación el habitante empleara uno?)
  - límite del habitante para dar la mano a uno a otro cuando se celebra la fiesta en la comunidad
  - ayuda mutua sobre víveres, trabajo y dinero
4. nivel de satisfacción con la vida y perspectiva para la movilidad arriba
- clasificación del nivel de satisfacción con la vida del habitante que es el objeto del estudio (1-5)
  - comparación del nivel de satisfacción con la vida del objeto del estudio con el de la generación de sus padres
  - nivel de la perspectiva del objeto del estudio a la generación de sus niños (la vida de sus niños serán mejorada, peor, o no será cambiada)
  - comparación del nivel de mejoramiento de la vida del objeto del estudio con el de los grupos consultados si es posible
5. situación de la familia, 6. situación del trabajo, 7. vida; véase la lista de la entrevista adjntada

#### 4-4. 野口専門家業務日程

日順	月日 (曜日)		日程
1	8月4日 (日)	PM	成田発→メキシコシティ着
2	8月5日 (月)	AM	IMEXCI表敬
		PM	大使館表敬、事務所打合せ
3	8月6日 (火)	AM	メキシコシティ発→TGZ着、チアパス州政府SDR表敬
		PM	TGZ発→タバチュラ着、調査団との打合わせ
4	8月7日 (水)	AM	女性支援プログラムの現地サイト2箇所訪問
		PM	PCMセミナー準備
5	8月8日 (木)	AM	プロジェクト実施機関・関係機関打合せ
		PM	C/P・普及員対象PCMセミナー
6	8月9日 (金)	AM	C/P及び現地コンサルタントとの打合せ (農村訪問の方法論について)
		PM	資料整理
7	8月10日 (土)		農村調査ワークショップ (Los Cacaos)
8	8月11日 (日)		農村調査ワークショップ (Los Cacaos)
9	8月12日 (月)	AM	C/P及び現地コンサルタントとの打合せ (ワークショップ結果のレビュー)
10	8月13日 (火)		農村調査ワークショップ (San Rafael)
11	8月14日 (水)		農村調査ワークショップ (San Rafael)
12	8月15日 (木)	AM	C/P及び現地コンサルタントとの打合せ (ワークショップ結果のレビュー)
13	8月16日 (金)		農村調査ワークショップ (Ruben Jaramillo)
14	8月17日 (土)		農村調査ワークショップ (Ruben Jaramillo)
15	8月18日 (日)	AM	C/P及び現地コンサルタントとの打合せ (ワークショップ結果のレビュー)
16	8月19日 (月)		農村調査ワークショップ (Pavencul)
17	8月20日 (火)		農村調査ワークショップ (Pavencul)
18	8月21日 (水)	AM	C/P及び現地コンサルタントとの打合せ (ワークショップ結果のレビュー)
19	8月22日 (木)		農村調査ワークショップ (Tuzantan)
20	8月23日 (金)		農村調査ワークショップ (Tuzantan)
21	8月24日 (土)	AM	C/P及び現地コンサルタントとの打合せ (全体ワークショップ準備)
22	8月25日 (日)		資料整理
23	8月26日 (月)		PCM計画立案ワークショップ
24	8月27日 (火)		PCM計画立案ワークショップ
25	8月28日 (水)		PCM計画立案ワークショップ
26	8月29日 (木)	AM	C/P及び現地コンサルタントとの打合せ
27	8月30日 (金)	AM	C/P機関報告
		PM	事務所報告、大使館報告
28	8月31日 (土)	AM	メキシコシティ発→
29	9月1日 (日)	PM	成田着

5. 農村社会調査結果

5-1. 10コミュニティの農村調査日程

チアパス州ソコヌスコ地域  
農村調査実施 10 コミュニティ  
(7月31日 - 8月6日)

日付	ムニシピオ	コミュニティ
7月31日 (水)	Tapachula	Pavencul
	Tapachula	Chanjale Salchiji
8月1日 (木)	Tuzantán	Rubén Jaramillo
	Tuzantán	Francisco Sarabía
	Tuzantán	Tuzantán
8月2日 (金)	Suchiate	Brisas del Mar
8月3日 (土)	Acacoyagua	Los Cacaos
8月5日 (月)	Cacahoatán	El Aguila
8月6日 (火)	Unión Juárez	San Rafael
	Unión Juárez	Chiquihuites

5-2. 10コミュニティの農村調査結果比較表

ムニシピオ	コミュニティ	1.標高	2.主要農産物	3.農村組織形態	4.貧困指数/マージナリティの度合い	5.女性組織	6.政府との関係	7.FOUM (生活満足度及び上昇期待)	8.社会資本	点数	選定
TAPACHULA	PAVENCUL	高い 2200m	トウモロコシ、コーヒー	エヒード	大変高い 2	大変活発 2	普通 1	普通 1	普通 1	7	v
	CHANHALE SALCHIJI	高い 1300m	コーヒー	エヒード	大変高い 2		普通 1			3	
TUZANTAN	RUBEN JARAMILLO	低い 300m	コーヒー カカオ	エヒード	大変高い 2	活発 1	普通 1	普通 1	高い 2	7	v
	FRANCISCO SARABIA	低い 300m	コーヒー カカオ	エヒード	高い 1	活発 1	普通 1	普通 1	普通 1	5	
	TUZANTAN	低い 100m	コーヒー カカオ	エヒード	高い 1	大変活発 2	普通 1	高い 2	普通 1	7	v
SUCHIATE	BRISAS DEL MAR										
ACACOYAGUA	LOS CACAOS	低い 300m	コーヒー カカオ	エヒード	高い 1	大変活発 2	普通 1	高い 2	高い 2	8	v
CACAOATAN	EL AGUILA	中程度 1100m	コーヒー	エヒード	高い 1		普通 1		高い 2	4	
UNION JUAREZ	SAN RAFAEL	中程度 1000m	コーヒー	エヒード	大変高い 2	大変活発 2	普通 1	高い 2	高い 2	8	v
	CHIQUIHUITES	中程度 1800m	トウモロコシ				普通 1		高い 2	3	

4.1)大変高い ; 2点      2)高い ; 1点  
 5.1)大変活発 ; 2点      2)活発 ; 1点  
 6.1)大変良い ; 2点      2)普通 ; 1点  
 7.1)高い ; 2点      2)普通 ; 1点  
 8.1)高い ; 2点      2)普通 ; 1点



## INVESTIGACION GENERAL (hombre)

Municipio: Tapachula

Comunidad: Pavencul

Fecha : 31-7-2002

### 1. Historia de la Comunidad.

Fundación en 1929. Hay 4411 has.

# 341 Ejidatarios. # Ejidatarias.

Otra información Hay 10 barrios : Centro Pavencul , Bijagual , Carrizal , Cueva , Pinal

Vega las Molinas , Vega el Malocute , Buena Vista , La Cascada , Agua Caliente.

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 5000 Familias(Casas)

### 3. Vivienda

(1) Agua Agua potable, algunos tienen los pozos

(2) Letrina Mayoría tienen.

(3) Fogón Fogón alto

(4) Luz eléctrica Mayoría tienen. En el Barrio Agua Caliente no hay luz eléctrica.

(5) Comunicación Teléfono caseta , celular , Radio

4. Autotransporte Ruta? Desde Pavencul Hasta Tapachula y Motozintla

Numero de corrida (Frecuencia) 3 veces por día

Precio 35 pesos

### 5. Educación

Hay Jardín de los Niños , Primaria y Secundaria.

### 6. Salud

Tipo del Hospital Unidad Médica Rural

Doctor # Médico # Enfermera # 1

Auxiliar # 1 Promotor #

7. Religión Católico , Evangélico , Pentecosta , Prebiteriano

### 8. Organización

CCI , SSS , Guancho ? (63 socios) , Indígena MAM

Independencia 87' (55 socios) SSS , Asociación Civil Campesino

ISMAM (26 socios) , Organización de Mujer

9. Asistencia Técnica y Capacitación

ISMAM

---

---

10. Producción (cultivo)

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Autoconsumo	Venta
Café				<input type="radio"/>
Maiz			<input type="radio"/>	
Papa			<input type="radio"/>	
Repollo			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Frijol			<input type="radio"/>	
Ramora			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Trigo			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Coliflor			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Cómo se vende los productos?

Café para los intermediarios.

---

11. Cría de Animal

Qué tiene?

Pollo , Puerco , Pavo ,

---

12. Economía

1) ¿Dónde se compra sus insumos? Comunidad y Fuera

¿Cómo se compra sus insumos? Individual

2) Ingresos

Medio del ingreso Venta de café

Emigración: 600 personas trabajan en USA.

---

13. Otros

1) POUM Normal

2) El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_

3) Otros \_\_\_\_\_

---

---

## INVESTIGACION GENERAL (mujer)

Municipio: Tapachula

Comunidad: Pavencul

Fecha : 31 de julio 2002

### 1. Historia de la Comunidad.

Hace \_\_\_\_\_ años. Hay \_\_\_\_\_ *has.* # 340 Ejidatarios. # 15 Ejidatarias.

Otra información \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 5000 (?) (hay 8 o 11 barrios) Familias (Casas) No pudieron contestar approx. cuántas familias están pero porque cada mujer tiene como 5 o 6 hijos/as en general y cada familia tiene 7 o 8 miembros, habrán 625-714 familias (casas).

### 3. Vivienda

(1) Agua entubada

(2) Letrina Hay  o No hay

(3) Fogón ¿Qué tipo del fogón? Fogón alto

(4) Luz eléctrica Hay  (no hay luz en el barrio que se llama Agua Caliente) o No hay

(5) Comunicación a) Teléfono caseta # 1 Celular # \_\_\_\_\_

b) Radio  (casí todo) c) Correo

(Otra información)

\*Vivienda – piso; tierra, techo; lamina, paredes; madera, caña, maíz, estroja

\*TV- tiene aprox. 10 % de la población en la comunidad.

4. Autotransporte Hay  o No hay Qué ruta? Desde Pavencul Hasta Tapachula

Número de corrida (Frecuencia) 2 veces por día ; 2:00AM y 12:00PM

(se tarda 5-6 horas)

Precio 35 pesos

### 5. Educación

a) Jardín de los Niños # 5 # \_\_\_\_\_ niños b) Primaria # 4 # \_\_\_\_\_ estudiantes

c) (Tele)Secundaria # 1 # \_\_\_\_\_ estudiantes d) Bachillerato # \_\_\_\_\_ # \_\_\_\_\_ estudiantes

Si no hay secundario, dónde estudian los estudiantes? \_\_\_\_\_

Si no hay bachillerato, dónde estudian los estudiantes? \_\_\_\_\_

### 6. Salud

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica b) Centro de Salud c) Clínica X (en centro) d) otro \_\_\_\_\_

Doctor # \_\_\_\_\_ Medico # 1 \_\_\_\_\_ Enfermera # 1 \_\_\_\_\_

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_

(Otra información)

\*70-80 pacientes vienen por día.

\*Las enfermedades comunes son la de respiración y diarrea (que se ocurre en mayo).

7. Religión católica (mayoría – aprox. 90%), adventista, pentecosta, presviteriana, y etc.

### 8. Organización

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

Hay unas que hombres participan.

### 9. Asistencia Técnica y Capacitación

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si o No X

¿Qué tipo? \_\_\_\_\_

¿De qué parte? a) Gobierno \_\_\_\_\_

b) Privada \_\_\_\_\_

c) Organización \_\_\_\_\_

### 10. Producción (cultivo)

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Consumo	Venta
Maíz*(90%)			X	
Café (10%)			X	X

\*Hay 2 cosechas por año; siembra: septiembre – cosecha: enero,

siembra: febrero – cosecha: junio

Cómo se vende los productos?

a) Vecinos b) Intermediarios c) Coyotes d) Otros \_\_\_\_\_



- Hay un restaurante en la comunidad y unas mujeres de Guatemala trabajan como ayudantes en 15 pesos por día.
- Problemas entre otras comunidades cercanas; no existen
- Comparación con las otras comunidades; hay mercado que se abre cada miércoles y que se vende las comidas y los artículos variados de Tapachula, Guatemala y otros; los habitantes están más organizados.
- Familia; generalmente la mujer se casa en la edad de 15 años y cada tiene 5-6 hijos.
- División del trabajo; la mujer se encarga de trabajo de la casa y también se hace lo de agricultura. Aprox. 30 % de los hombres les ayuda a las mujeres en la casa.
- Toma de la decisión; el hombre decide la división del trabajo 100 %.
- Problemas;
  - El acceso a la comunidad no está muy bien (se tarda más de 3 horas de Tapachula por carro doble) y los caminos no han sido mejorados desde la Unión Roja donde se tarda approx. 2 horas por carro doble hasta la comunidad y tampoco no están mejores dentro de la comunidad y se tarda 6 horas en pie desde la más lejana hasta el centro.
  - Las escuelas están lejos de donde la gente vive y la mayoría tiene que pagar 10 peso por viaje (20 pesos por ida y vuelta) de su hijo/a para las escuelas que es mucho para ellas.
  - El nivel de la educación que las mujeres han recibido no son alto y hay muchas mujeres (especialmente que tienen la mayor edad) que no saben escribir español aunque pueden hablarlo bien.
  - No hay asistencia técnica/ capacitación para los cultivos de agricultura que es necesaria para mujeres.

### **Observación**

- Las mujeres que estaban presentes en la entrevista son las 9 incluido la representante del grupo de PROGRESA (OPORTUNIDADES). Eran muy vocales y hablaron sus problemas y necesidades claro y activo. Demostraron sus interés de trabajo para mejorar sus problemas y capacidades de trabajar en el grupo.

### **Ventajas**

- Hay un grupo de mujeres que son positivas para el desarrollo de la comunidad.
- La altura es adecuado para el cultivo de café de la mejor calidad.
- Hay mercado dentro de la comunidad.
- La marginaridad es muy alta.

**Debilidad**

- La comunidad está en la montaña que tiene la altura de como 2000 m y muy lejos de Tapachula y el acceso no es fácil.
- Hay un movimiento para ser independiente como un municipio dentro de la comunidad.

## INVESTIGACION GENERAL (hombre)

Municipio: Tapachula

Comunidad: Chanjale Sachiji

Fecha : 31 de julio 2002

### 1. Historia de la Comunidad.

Hace 100 años (fundada en approx. 1902). Hay      *has.* # 63 Ejidatarios. # 6-8 Ejidatarias.

Otra información \_\_\_\_\_

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 370 (50% hombres; 50% mujeres) Familias(Casas) \_\_\_\_\_

### 3. Vivienda

(1) Agua      agua potable

(2) Letrina Hay  (la mayoría la tiene pero no hay para todos.) o No hay

(3) Fogón ¿Qué tipo del fogón?      Fogón alto de madera

(4) Luz eléctrica Hay  o No hay      Hace más o menos 10 años que ha sido instalada y la mayoría la tiene.

(5) Comunicación a) Teléfono caseta # 1 Celular #      b) Radio   
c) Correo

4. Autotransporte Hay  o No hay Qué ruta? Desde la comunidad Hasta Tapachula

Número de corrida (Frecuencia) \_\_\_\_\_

Precio \_\_\_\_\_

### 5. Educación

a) Jardín de los Niños # 1 #      niños b) Primaria # 1 # 85 estudiantes

c) Secundaria #      #      estudiantes d) Bachillerato #      #      estudiantes

Si no hay secundario, dónde estudian los estudiantes? \_\_\_\_\_

Si no hay bachillerato, dónde estudian los estudiantes? \_\_\_\_\_

### 6. Salud

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica b) Centro de Salud c) Clínica  (hace 2 años que ha sido construida.)



d)Otro

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # 1 (está del lunes al viernes.)

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_

\* Las enfermedades comunes en la comunidad son gripe, diarrea, tos, calentura, dolor de cabeza, dengue, cólera, y salmonella.

7. **Religión** \_\_\_\_\_ 90 % es católica; evangélica \_\_\_\_\_

### 8. Organización

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

Asociación del Central Campesino Dependientes (casi todas las personas de la comunidad son las miembros). Comité de Educación y Salud (la proporción de participación de hombres y la de mujeres son iguales.), SSS

### 9. Asistencia Técnica y Capacitación

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si o No X

¿Qué tipo? \_\_\_\_\_

¿De qué parte? a)Gobierno \_\_\_\_\_  
b)Privada \_\_\_\_\_  
c)Organización \_\_\_\_\_

### 10. Producción (cultivo)

Nombre de Producción*	Superficie	Cantidad/Ha	Consumo	Venta
Maíz	1-3 ha por cada ejido/a		X	
Café	1-3 ha por cada ejido/a		X	X
Frijoles			X	
Aguacate			X	
Durazno			X	
Manzana			X	
Jalapeño			X	

Cómo se vende los productos?

a)Vecinos      b)Intermediarios      c)Coyotes X      Se les vende solo café.      d)Otros

### 11. Cría de Animal

Qué tiene?

Pollos (10-15 por cada familia), cerdo

### 12. Economía

1) ¿Dónde se compra sus insumos? a) Comunidad X Hay tienda en la comunidad donde se vende unas comidas y unos artículos básicos. b) Fuera de la comunidad X c) Otro \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos? Individual X o común

2) Ingresos

Medio del ingreso a) Venta de Producción café

b) Jornadero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

c) Obrero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

d) Emigración

Dónde? Approx. 50 % de la población de esa comunidad (casi solos hombres) van a los Estados Unidos y Tijuana para trabajar dejando sus terrenos por unos tiempos y regresan.

### 13. Organización de Mujer

No hay ninguna organización de mujeres en la comunidad. Además ninguna mujer estaba presente en la entrevista del grupo aunque algunas jóvenes nos estaban mirando fuera del lugar de la entrevista para ver lo que estaba pasando por curiosidad. El presidente de la comunidad nos dijo que mujeres no pudieran asistir en la entrevista porque estaban ocupadas de trabajo pero me parecía que ellos no piensan que es necesario que ellas están juntos con hombres en esa ocasión y que la posición de mujeres está muy bajo en esa comunidad.

### 14. Otros

1) POUM; la gente estaba pesimista de la mala situación de la comunidad por la caída del precio de café que es lo único producto de renta allá y me parecía que tampoco no podría ser optimista del futuro. Es decir, POUM es bajo en esa comunidad.

2) El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_

3) Otros

- El Sr. Santizo Gódinez Isabel, presidente del Consejo Indígena de la Zona Alta de Tapachula estaba presente en la entrevista del grupo con unos hombres (approx. 10) y casi él solo contestó a

nuestras preguntas. No pude ver la unidad dentro de los hombres y pienso que el capital social es bajo en la comunidad.

- División del trabajo – Según los hombres que estaban en la entrevista, hombres hacen trabajo de agricultura (mujeres lo hacen cuando no hay hombres en sus casas) y mujeres cuidan los animales. Me parecía que esa división del trabajo es muy estricta en esa comunidad y que no hay cooperación entre hombres y mujeres.

## INVESTIGACION GENERAL (hombre y mujer)

Municipio: Tuzantán

Comunidad: Rubén Jaramillo

Fecha : 1 de agosto 2002

### 1. Historia de la Comunidad.

Hace 6 años (fundada en 1996). Hay 55 *has.* (Los terrenos no se ha sido medidos para cada uno.) # 35 Ejidatarios. # 9 Ejidatarias.

Otra información \_\_\_\_\_

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 150 Familias (Casas) 35 (Los habitantes son parientes.)

### 3. Vivienda

(1) Agua entubada (viene de ojo de agua) \_\_\_\_\_

(2) Letrina Hay  o No hay

(3) Fogón ¿Qué tipo del fogón? Fogón alto de madera

(4) Luz eléctrica Hay  o No hay \_\_\_\_\_

(5) Comunicación a) Teléfono caseta # \_\_\_\_\_ Celular # \_\_\_\_\_

b) Radio  c) Correo

\*5 personas tienen TV.

4. Autotransporte Hay  o No hay Qué ruta? Desde R.Jaramillo Hasta Huixtla

Número de corrida (Frecuencia) 4 veces por día

Precio 8 pesos

### 5. Educación

a) Jardín de los Niños\* # 1 # niños b) Primaria # 1 # estudiantes

c) Secundaria #    # estudiantes d) Bachillerato #    # estudiantes

Si no hay secundario, dónde estudian los estudiantes? En Tuzantán donde está en 4 km de la comunidad.

Si no hay bachillerato, dónde estudian los estudiantes? \_\_\_\_\_

\*Asisten los niños/as que tienen la edad de 3 a 5 años.

6. *Salud*

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica b) Centro de Salud c) Clínica d) otro \_\_\_\_\_

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # \_\_\_\_\_

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_

7. *Religión* católica (mayoría), adventista, evangélica, pentecosta

8. *Organización*

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

Comité de Ejido Rubén Jaramillo, OPEZ (Organización Popular de Emiliano Zapata)

9. *Asistencia Técnica y Capacitación*

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si X o No

¿Qué tipo? Algún apoyo de Alianza para el Campo ha venido pero no ha recibido la asistencia ni capacitación por SAGARPA.

¿De qué parte? a) Gobierno \_\_\_\_\_

b) Privada \_\_\_\_\_

c) Organización \_\_\_\_\_

10. *Producción (cultivo)*

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Consumo	Venta
Café (robusta)			X	X
Cacao			X	X
Mango			X	
Naranja			X	
Limón			X	
Mamey			X	

Cómo se vende los productos?

a) Vecinos b) Intermediarios c) Coyotes X (se les vende café y cacao en 3 pesos por kg)

d) Otros \_\_\_\_\_

\* Ellos usan los químicos comprados en el almacén para manejo de plantación.

### 11. Cría de Animal

Qué tiene? \_\_\_\_\_ Pollo (se les vende huevos a sus vecinos) \_\_\_\_\_

### 12. Economía

1)¿Dónde se compra sus insumos? a)Comunidad b)Fuera de la comunidad X (como 1 vez por semana se va para Huixtla.) c)Otro \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos\*? Individual X o común X (a veces)

\*Casi solo mujeres hacen compras.

#### 2)Ingresos

Medio del ingreso a)Venta de Producción \_\_\_\_\_ café y cacao \_\_\_\_\_

b)Jornadero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

c)Obrero \_\_\_\_\_ Hombres trabajan como albañil, carpintero y cortadero de caña en 20-35 pesos por día. \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_ Afuera de la comunidad. \_\_\_\_\_

#### d)Emigración

Dónde? \_\_\_\_\_ Unos 5 jovenes trabajan en E.U. por 2-3 años y regresan con la ganancia para sus familias (y se van de nuevo). \_\_\_\_\_

### 13. Organización de Mujer

No hay grupo organizado de mujer {el apoyo de PROGREZA (OPORTUNIDADES) no ha pasado a la comunidad} pero 2 mujeres (una joven; 20-25 ? años y una anciana; 50-60 ? años) en la entrevista del grupo (estaban 7 mujeres en total con unos hombres) eran muy vocales y pudieran hablar claro de sus problemas y situaciones a veces más que hombres aunque los hombres también estaban presentes. Me parecía que los hombres tuvieran tolerancia para las mujeres vocales o sea algún tipo de respeto a las mujeres. Además el número de las casas es muy pequeño (35) y los habitantes son de la misma familia. Por eso, ellos están muy unidos y el capital social es muy alto. Hay potencial de organizar el grupo de mujer

### 14. Otros

1)POUM (perspectiva para el desarrollo) es muy alta.

2)El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_

#### 3) Otros

- División del trabajo; la mujer se encarga de trabajo de la casa y cuida de animales (pollo) y también se hace lo de agricultura para ayudarle al hombre (hay 9 ejidatarias que se encargan de

agricultura). Hay cooperación dentro de la casa entre la mujer y el hombre (el hombre le ayuda a su mujer hacer trabajo de la casa). Acerca de las compras, casi solo mujeres las hacen.

- Número de los niños por la familia; 2-8
- Vivienda; pared- bloque de adobe y lodo, techo - lamina , piso – tierra
  - algunos han sido conseguidos apoyo del gobierno y los materials para mejorar sus casas están llegándose.

### **Observación**

- Las mujeres que estaban presentes en la entrevista son las 6; 2 ancianas que me parecía que tendrían 50-60 años y 4 jovenes con sus bebés que me parecía que tendrían 20-25 años sus y que llevan 15-20 años de casado.
- Después de la entrevista del grupo, les pregunté a las mujeres cuáles productos agrícolas quisieran cultivar reemplazando café en esa situación muy critica (el precio del café está muy bajo). Ellas contestaron con sonrisa que seguirían produciendo café hasta que el precio del café mejorara algún día. Entonces, sería un poco difícil de introducir los cultivos nuevos a esa comunidad pero no será el obstáculo para hacer el proyecto para mejorar la vida porque ellas tienen esperanza sobre el futuro, es decir, la POUM es muy alta.

### **Ventajas**

- La comunidad es pequeña y los habitantes son de la misma familia y muy unidos, el capital social es muy alto. Será facil de organizar el grupo dentro de la comunidad. Se podrá hacer el proyecto de mejoramiento de la vida, infraestructura básica como fogón (cada tiene el fogón alto de madera pero no está mejorado por los bloques ni adobes (lodos), que será un ejemplo del desarrollo rural (no será el proyecto tñ grande) para difundirlo a las comunidades cercanas.

### **Debilidad**

- Los ejidos han sido asistidos por la OPEZ (Organización Popular de Emiliano Zapata) que está en la oposición del gobierno.

# INVESTIGACION GENERAL (hombre)

Municipio: Tuzantán

Comunidad: Francisco Sarabía

Fecha : 1-8-2002

## 1. Historia de la Comunidad.

Fundación en 1952. Hay 962 *has*.

# 54 Ejidatarios. # 20 Ejidatarias.

Otra información \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 2400 Familias (Casas) 63

## 3. Vivienda

(1) Agua Agua Potable

(2) Letrina Mayoría tienen

(3) Fogón Fogón alto

(4) Luz eléctrica Mayoría tienen. Desde 1980

(5) Comunicación Teléfono caseta, Radio

4. Autotransporte Ruta? Desde Sarabía Hasta Tuzantán

Número de corrida (Frecuencia) Muchas veces

Precio 3 pesos

## 5. Educación

a) Jardín de los Niños # 134 niños b) Primaria # 160 estudiantes

No hay Secundaria ni Bachillerato. (En Tuzantán)

## 6. Salud

Tipo del Hospital \_\_\_\_\_

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # \_\_\_\_\_

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_

7. Religión \_\_\_\_\_

## 8. Organización

SSS, SPR (Sociedad de Producción Rural), Comité de Salud

CNS (Confederación Nacional Campesina), Comité de Educación

OCEZ (Organización Campesina Emiliano Zapata), ISMAM, Comité de Agua



**9. Asistencia Técnica y Capacitación**

**10. Producción (cultivo)**

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Autoconsumo	Venta
Cacao				<input type="radio"/>
Café				<input type="radio"/>
Platano			<input type="radio"/>	
Mamey			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Naranja			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Mango			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Mandarina			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Aguacate			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Cómo se vende los productos?

Para los intermediarios

**11. Cría de Animal**

Qué tiene?

Pollo , Puerco

**12. Economía**

1) ¿Dónde se compra sus insumos? \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos? \_\_\_\_\_

2) Ingresos

Medio del ingreso Venta de café , cacao y las frutas

Emigración: 20 o 25 personas trabajan en USA

**13. Otros**

1) POUM Normal

2) El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_

3) Otros

## INVESTIGACION GENERAL (mujer)

Municipio: Tuzantán

Comunidad: Francisco Sarabía

Fecha : 1 de agosto 2002

### 1. Historia de la Comunidad.

Hace 72 años (fundada en 1948). Hay        has. # 74 Ejidatarios. # 25 Ejidatarias.

Otra información       

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes        Familias (Casas)       

### 3. Vivienda

(1) Agua entubada (La mayoría la tiene.)       

(2) Letrina Hay  o No hay

(3) Fogón ¿Qué tipo del fogón? Fogón alto de madera

(4) Luz eléctrica Hay  o No hay       

(5) Comunicación a) Teléfono caseta # (Hay en Guadalupe donde está en 20 minutos de camino a pie.)

Celular #        b) Radio  c) Correo

4. Autotransporte Hay  o No hay Qué ruta? Desde F. Sarabía hasta Huixtla y Tapachula

Número de corrida (Frecuencia)       

Precio       

### 5. Educación

a) Jardín de los Niños # 1 # niños b) Primaria # 1 # estudiantes

c) Secundaria #        # estudiantes d) Bachillerato #        # estudiantes

Si no hay secundario, dónde estudian los estudiantes? En Tuzantán

Si no hay bachillerato, dónde estudian los estudiantes?       

### 6. Salud

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica b) Centro de Salud c) Clínica (en Tuzantán donde está en 3 km lejos de la

comunidad) d)Otro \_\_\_\_\_

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # \_\_\_\_\_

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_

7. **Religión** \_\_\_\_\_ católica \_\_\_\_\_

### 8. **Organización**

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

Comité de Luz (OCCEPA?); se compone 120 miembros. \_\_\_\_\_

### 9. **Asistencia Técnica y Capacitación**

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si o No X

¿Qué tipo? \_\_\_\_\_

¿De qué parte? a)Gobierno \_\_\_\_\_

b)Privada \_\_\_\_\_

c)Organización \_\_\_\_\_

### 10. **Producción (cultivo)**

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Autoconsumo	venta
Café			X	X
Cacao			X	X

Cómo se vende los productos?

a)Vecinos b)Intermediarios c)Coyotes d)Otros en Tapachula y Huixtla (se

vende café molido en 25-30 peso por kg) \_\_\_\_\_

### 11. **Cría de Animal**

Qué tiene?

Pollo, puerco \_\_\_\_\_

### 12. **Economía**

1)¿Dónde se compra sus insumos? a)Comunidad X b)Fuera de la comunidad X (en Huixtla se compra como ropa 1 vez por semana) c)Otro \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos? Individual o común

## 2) Ingresos

- Medio del ingreso
- a) Venta de Producción café y cacao
  - b) Jornadero Hombres trabajan como albanía y hacen corta de caña.  
Dónde? Cerca de la comunidad
  - c) Obrero \_\_\_\_\_  
Dónde? \_\_\_\_\_
  - d) Emigración  
Dónde? Hombres trabajan en Tijuana de febrero a septiembre

### **13. Organización de Mujer**

87 mujeres reciben apoyo (alimentación y educación) de PROGRESA (ahora que se llama OPORTUNIDADES) cada 2 meses pero hay retraso de pago.

### **14. Otros**

1) POUM

2) El orgullo de la comunidad es lo que no hay problema de terreno.

3) Otros

- División de trabajo; hombres hacen trabajo de agricultura (lo mismo hacen mujeres que no tienen esposos)
- Horario; 3-4 de la mañana se levanta, 6 de la mañana se desayuna, se hace trabajo de la casa y agricultura hasta la comida a las 1-2 de la tarde, se descansa un rato, se cena a las 8 o 9 de la noche, se descansa (ve a la televisión) y se acuesta a las 10 de la noche.
- Comida; tortilla y café – 3 veces por día, frijoles, tomate, huevo, carne de res\*, pollo\* y pescado\* (\*2 veces por semana)
- Problemas; la carretera no ha sido mejorada, no hay clínica en la comunidad ni teléfono.

### **Observación**

- Hubo la participación de más de 30 mujeres en la entrevista. Parecía que hablaban muchos de la problema por el motivo de recibir apoyo. Ellas tienen interés de trabajar pero parecía que no están unidas (hay división en las mujeres presentadas).

## INVESTIGACION GENERAL (hombre y mujer)

Municipio: Tuzantán

Comunidad: Tuzantán

Fecha: 1 de agosto 2002

### 1. Historia de la Comunidad.

Hace 60 años (fundada en 1942). Hay 2200 *has.* # 307 Ejidatarios.

Approx. # 45 (15% de todos los ejidos) Ejidatarias.

Otra información Hay 5 cantones en la comunidad.

Cada edijo tiene como 6 ha en el cantón central y en otros cada tiene 4 ha.

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 2600 en el cantón central (mujeres-60%; hombres-40%) (10,000 en total en la comunidad) Familias (Casas)       

### 3. Vivienda\*

(1) Agua entubada

(2) Letrina Hay  o No hay

(3) Fogón ¿Qué tipo del fogón? La mayoría tendrá gas y unos tendrán el fogón alto de madera.

(4) Luz eléctrica Hay  o No hay       

(5) Comunicación a) Teléfono caseta X Celular X  
b) Radio X c) Correo X

\*Porque esta comunidad es el centro del municipio, la infraestructura listada arriba debe estar instalada pero no lo hemos podido confirmado durante de esta investigación.

4. Autotransporte Hay  o No hay Qué ruta? Desde Tuzantán Hasta Huixtla y Tapachula

Número de corrida (Frecuencia)       

Precio       

### 5. Educación

a) Jardín de los Niños\* X #        niños b) Primaria\* X #        estudiantes

c) Secundaria\* X #        estudiantes d) Bachillerato #        #        estudiantes

Si no hay secundario, dónde estudian los estudiantes?

Si no hay bachillerato, dónde estudian los estudiantes? \_\_\_\_\_

\*no ha sido confirmado cuántos hay en la comunidad.

## 6. Salud

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica b) Centro de Salud c) Clínica X d) Otro \_\_\_\_\_

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # \_\_\_\_\_

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_

7. Religión \_\_\_\_\_

## 8. Organización

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

Hay algunas de hombres como CNC. \_\_\_\_\_

## 9. Asistencia Técnica y Capacitación

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si X o No

¿Qué tipo? \_\_\_\_\_ Asistencia técnica para plantación y venta de cacao

¿De qué parte? a) Gobierno \_\_\_\_\_

b) Privada \_\_\_\_\_

c) Organización \_\_\_\_\_ COPLANDA

## 10. Producción(cultivo)

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Consumo	Venta
Café			X	X
Cacao	300ha (?)		X	X
Maíz			X	
Platano			X	

Cómo se vende los productos?

a) Vecinos b) Intermediarios c) Coyotes d) Otros \_\_\_\_\_

## 11. Cría de Animal

Qué tiene? \_\_\_\_\_ Pollo, puerco y otros (los habitantes deben tenerlos pero no lo ha sido confirmado)

## 12. Economía

1) ¿Dónde se compra sus insumos? a) Comunidad X (Hay unas tiendas en la comunidad que se vende las comidas y los artículos.) b) Fuera de la comunidad X c) Otro \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos\*? Individual o común

### 2) Ingresos

Medio del ingreso a) Venta de Producción café (por la caída del precio, la gente no gana mucho) y cacao

b) Jornadero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

c) Obrero Hombres trabajan.

Dónde? En Huixtla.

d) Emigración

Dónde? No muchos jóvenes trabajan en E.U. y regresan.

## 13. Organización de Mujer

- Hubo en grupo organizado de mujer (21 miembros) para hacer la chocolate (1992-96) (la presidenta, Sra. Oralia Torres Marrogui asistía en la entrevista). El grupo recibió un préstamo para comprar molenos. El grupo estaba vendiendo las chocolates (50-100 por más) en Santa Cruz, San Cristobal etc. pero el problema era lo que no había suficiente mercado.
- Hay 2 grupos de cacao que consiguen el apoyo técnico de COPLANDA para plantación (incluido injertación) y venta.
- Hay 2 grupos (uno tiene 40 miembros y otro tiene 33) que reciben el apoyo de COMPARTAMOS que le da micro-crédito por Caja de Ahorros en Tapachula para el comercio al grupo de mujeres. El préstamo empieza de 2000 pesos y llega hasta 13 mil pesos y el pago es semanal. Los miembros hacen individualmente sus propios negocios como venta de ropa.
- Hay un grupo que hace micro-crédito por BANCOVITAL en Huixtla hace 10 años (4.5% interés por 4 meses). Cada miembro hace como cría y venta de pollo, venta de medicamento, antojitos, y etc. Hay más ganancia que pérdida y las mujeres tienen libertad de usar sus ganancias (sin pedirles permiso de sus esposos). La presidenta del grupo, Sra. Marrogui, ya no tiene esposo pero el grupo es para mujeres con o sin el esposo.

## 14. Otros

1) POUM (perspectiva para el desarrollo) es alto porque hay unos grupos organizados de mujer que están trabajando acivo para mejorar sus vidas.

2) El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_

### **Observación**

- 9 mujeres estaban presentes en la entrevista del grupo juntos con unos 7 hombres. Hay unos grupos de mujer que están organizados y trabajando activo por micro-crédito, que puede ser un buen ejemplo para otras comunidades que tengan la posibilidad de hacer el proyecto de micro-crédito por el grupo organizado de mujer. Esto es la gran ventaja de trabajar en esta comunidad.
- La Sra. Marrogui tiene muchos conocimientos y experiencias de trabajo por micro-crédito y pienso que es buen líder de las mujeres en la comunidad, que será la persona clave para trabajar en esa comunidad.

### **Debilidad**

- El partido que representa esa comunidad ha sido cambiado a PRD en la ultima elección. Se debe averiguar que no hubiera ningún conflicto durante de esa elección.
- El sistema de los ejidos están cambiando en México. No es seguro en qué nivel están los ejidos de esa comunidad, que es lo que necesitará más investigación.



# INVESTIGACION GENERAL (hombre)

Municipio: Acacoyagua

Comunidad: Los Cacaos

Fecha : 3-8-2002

## 1. Historia de la Comunidad.

Fundación en 1930. Hay 312 *has*.

# 28 Ejidatarios. # 25~30 Ejidatarias.

Otra información \_\_\_\_\_

## 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 2000 Familias(Casas) 140?

## 3. Vivienda

(1) Agua Agua Potable (←Ojo de agua)

(2) Letrina Mayoría tienen.

(3) Fogón Fogón alto y 5% de habitantes usan estufa de gas.

(4) Luz eléctrica Mayoría tienen. 13 casas no la tienen.

(5) Comunicación Teléfono caseta , celular , Radio

4. Autotransporte Ruta? Desde Los Cacaos Hasta Acacoyagua

Número de corrida (Frecuencia) 3 veces por día

Precio 6 pesos

## 5. Educación

a) Jardín de los Niños # 40 niños b) Primaria # 210 estudiantes

c) Secundaria # 60 estudiantes d) no hay Bachillerato # \_\_\_\_\_ estudiantes

## 6. Salud

Tipo del Hospital Clínica Rural

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # 1

Auxiliar # 1 Promotor # \_\_\_\_\_

7. Religión Católico , Evangélico , Pentecosta , Adventista , Iglesia Cristo

## 8. Organización

CNC , SSS (Unión de ejidos de campesinos de ecologistas)

Padre de Familia , 27 socios de Agrícola Orgánica (Atraves de IDESMAC)

SSS (Unión de ejidos de Progreso de Acacoyagua)

**9. Asistencia Técnica y Capacitación**

Capacitación de SSS.

Asistencia Técnica de IDESMAC (Agrícola Organica)

**10. Producción (cultivo)**

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Autoconsumo	Venta
Cacao				<input type="radio"/>
Café				<input type="radio"/>
Maíz			<input type="radio"/>	
Frijol			<input type="radio"/>	
Mamey			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Aguacate			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Naranja			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Limón			<input type="radio"/>	
Tomate			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Chayote			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Cómo se vende los productos?

Café para coyotes y Intermediarios.

**11. Cría de Animal**

Qué tiene?

Pollo , Puerco , Pato , Pavo , Vaca

**12. Economía**

1) ¿Dónde se compra sus insumos? Comunidad y Fuera

¿Cómo se compra sus insumos? \_\_\_\_\_

2) Ingresos

Medio del ingreso Venta de café

Emigración: 40 personas en USA

**13. Otros**

1) POUM Muy alta.

2) El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_

3) Otros Hay Capital Social porque hay actividad comunitario (mantenimiento de camino y agua etc.) También hay TEQUIO. Si no participa la actividad, hay que pagar 32 pesos.



## 6. Salud

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica b) Centro de Salud c) Clínica X d) Otro \_\_\_\_\_

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # 1(lunes-viernes)

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_

\*Otra información

- No hay medicamentos suficientes en la clínica.
- Las enfermedades comunes son dengue, diarrea, y tos (hay enfermedad de oncoserco, también).

7. Religión Hay 7 religiones; adventista, católica, pentecosta, presviteriana, iglesia de Jesús Cristo.

## 8. Organización

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

Comité del Jardín de los niños, la Escuela Primaria, la Secundaria, Telesecundaria. Agua, las religiones (hay presencia de las mujeres en la directiva y la presidenta de la telesecundaria, la de jardín de los niños presentaron en la entrevista del grupo), grupo de ejidatarios (la tesorera es la mujer)

## 9. Asistencia Técnica y Capacitación

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si o No X

¿Qué tipo? \_\_\_\_\_

¿De qué parte? a) Gobierno \_\_\_\_\_

b) Privada \_\_\_\_\_

c) Organización \_\_\_\_\_

\*Hay talleres de costura, belleza, pastel por DIF en Acacoyagua pero no en la comunidad.

## 10. Producción (cultivo)

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Consumo	Venta
Café			X	X
Cacao (pocos)			X	X
Maíz			X	
Fríjoles			X	

Platano			X	
Naranja			X	
Aguacate			X	
Mandarina			X	
Nance			X	
Papaya			X	
Mamey			X	
Chayote			X	

Cómo se vende los productos?

a)Vecinos      b)Intermediarios      c)Coyotes (café: 5 peso por kg)      d)Otros cacao  
(13-14 pesos por kg en Acacoyagua)

### 11. Cría de Animal

Qué tiene?

gallina (5-19 por cada familia), puerco (no mucho), pato (hay una mujer que tiene 18), ajolote  
(todos para consumir)

### 12. Economía

1)¿Dónde se compra sus insumos? a)Comunidad X Hay tienda en la comunidad donde se vende las comidas y los artículos básicos. b)Fuera de la comunidad X en Acacoyagua

\*Se hace más compra en la comunidad.

c)Otro \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos? Individual o común

2)Ingresos

Medio del ingreso a)Venta de Producción café y cacao

b)Jornadero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

c)Obrero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

d)Emigración

Dónde? Aprox. 15 hombres están trabajando en Tijuana y 70 jóvenes  
están trabajando en las fabricas de E.U. y cada 2 o 3 años  
regresan.

### **13. Organización de Mujer**

Hay un grupo de unas 150 mujeres y 70 mujeres están recibiendo la beca para sus niños/as de PROGRESA (ahora que se llama OPORTUNIDADES) cada 2 meses. Algunos miembros hacen trabajo de agricultura como limpieza y levantamiento del campo.

### **14. Otros**

1) POUM Me parecía que las mujeres estaban positivas en su futuro.

2) El orgullo de la comunidad es aire libre, agua pura, no hay muchos problemas (los niños sanos).

3) Otros

- Problema en la comunidad; no hay problema dentro pero si hay bandarismo afuera.
- Problema con otras comunidades cercanas; tranquila con otras y no hay problema.
- División del trabajo; la mujer también hace agricultura.
- Toma de la decisión; hay unas mujeres que no tienen esposo y que deciden en la familia pero generalmente el hombre decide en la casa.
- Comida; tortilla (2 veces, 2-5 kg por día), café, tomate, huevo, frijoles
- Gasto; aprox. 150 peso por semana
- Calendario; hay más trabajo para cosecha de café de septiembre a noviembre
- Horario del día; a las 4-5AM se levanta, se desayuna a las 8AM, se come a las 2PM, se cena a las 7-8PM y se acuesta a las 9-10PM.
- Problemas;
  - La carretera no ha sido mejorada.
  - No hay medicina en la clinica (hay que ir al hospital particular y se cobra 300 peso por una vez).
  - Faltan aula en la escuela.
  - Hay 2 computadoras en la telesecundaria pero nadie puede enseñar como se la usa.
  - No hay preparatoria en la comunidad (se queda lejos).
  - El precio de café está muy bajo.
  - No hay talleres en la comunidad (las mujeres quieren los de corta de pelo y costura).
- Fiesta; Navidad, clausuras de la escuela

### **Observación**

- Aprox. 20 mujeres participaron en la entrevista. Hay muchos comités organizados y también hay presencia de la mujer en la directiva de estos. Parecía que las mujeres son unidas y tienen gana de trabajar y aprender las cosas nuevas como corte de pelo y costura.

## INVESTIGACION GENERAL (hombre)

Municipio: Cacahoatán

Comunidad: El Aguila

Fecha : 5-8-2002

### 1. Historia de la Comunidad.

Fundación en 1916. Hay 780 *has*.

# 100 Ejidatarios. # 20 Ejidatarias.

Otra información \_\_\_\_\_

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 250 Familias (Casas) \_\_\_\_\_

### 3. Vivienda

(1) Agua Agua Potable

(2) Letrina Mayoría tienen.

(3) Fogón Fogón alto y Estufa de gas

(4) Luz eléctrica Mayoría tienen.

(5) Comunicación Teléfono caseta, Celular, Radio

4. Autotransporte Ruta? Desde El Aguila Hasta Tapachula y Cacahoatán

Número de corrida (Frecuencia) Muchas veces

Precio 8 pesos (Cacahoatán) 15 pesos (Tapachula)

### 5. Educación

a) Jardín de los Niños # \_\_\_\_\_ niños b) Primaria # 180 estudiantes

c) Secundaria # 120 estudiantes d) no hay Bachillerato # \_\_\_\_\_ estudiantes

### 6. Salud

Tipo del Hospital Unidad Médica

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # 1

Auxiliar # 1 Promotor # \_\_\_\_\_

7. Religión Católico, Evangélico, Pentecosta, Adventista

### 8. Organización

SSS, Comité de Agua, Comité de Salud, Comité de comunitario

Padre de Familia, Comité de Tienda, Oportunidad (Organización de Mujer)

**9. Asistencia Técnica y Capacitación**

Había apoyo de semilla de pescado.

Había donación de semilla de hortaliza.

**10. Producción (cultivo)**

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha	Autoconsumo	Venta
Café				○
Maiz			○	
Frijol			○	
Naranja			○	
Limón				
Tomate				
Chayote				

Cómo se vende los productos?

**11. Cría de animal**

Qué tiene?

Pollo , Puerco , Pavo

**12. Economía**

1) ¿Dónde se compra sus insumos? Comunidad y Fuera

¿Cómo se compra sus insumos? Individual

2) Ingresos

Medio del ingreso Venta de café

Emigración: Muchas gente trabajan en USA.

**13. Otros**

1) POUM \_\_\_\_\_

2) El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_

3) Otros

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



## INVESTIGACION GENERAL (hombre y mujer)

Municipio: Unión Juárez

Comunidad: San Rafael

Fecha: 6 de agosto 2002

### 1. Historia de la Comunidad.

Hace 62 años (fundada en 1940). Hay 219 has; 200 ha de café 19 ha de agostarero (para madera y bosque). # 49 Ejidatarios. # 12 Ejidatarias.

Otra información El barrio Libertad de Norte (9 familias) está cerca de la comunidad (en 1 hora y media a pie).

### 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 499 (hay más mujeres que hombres) Familias (Casas) 100 jefes de familia

### 3. Vivienda

(1) Agua entubada

(2) Letrina Hay  o No hay

(3) Fogón ¿Qué tipo del fogón? Fogón alto de madera

(4) Luz eléctrica Hay  o No hay 67 casas tienen luz y TV y 15-18 casas no las tienen.

(5) Comunicación a) Teléfono caseta # 1 Celular # 8

b) Radio  c) Correo       

4. Autotransporte Hay  o No hay Qué ruta? Desde S. Rafael Hasta Cacahoatán

Número de corrida (Frecuencia) 3 veces por día (2 por la mañana - 5:00 y 8:30AM y 1 por la tarde)

Precio 12 pesos (para ida)

### 5. Educación

a) Jardín de los Niños # 1 # 25 niños b) Primaria # 1 # 96 estudiantes

c) Secundaria #        #        estudiantes d) Bachillerato #        #        estudiantes

Si no hay secundario, dónde estudian los estudiantes? Hay 40 niños estudiando afuera de la comunidad; 11 en 11 de Abril, 20 en Euleca (telesecundaria) y 4-8 en otros como Unión Juárez.

Si no hay bachillerato, dónde estudian los estudiantes?

**6. Salud**

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica  b) Centro de Salud c) Clínica d) Otro \_\_\_\_\_

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # \_\_\_\_\_

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # \_\_\_\_\_ Técnica #1 está del lunes al viernes.

\*No hay muchos medicamentos y los pacientes reciben la receta para comprarlos en Cacahoatán.

\*Las enfermedades comunes son gripe y calentura (no hay dengue) y las pacientes se van al hospital particular en Cacahoatán.

**7. Religión** Hay muchas religions mezclados como sigue: católica, pentecosta, presviteriana, sanática, sabatista, bautista, evangélica.

**8. Organización**

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

Comité de los Padres y las Familias del Kinder\*, la Primaria\*, Agua, Unión de Ejido

\*Las presidentas de estos comités estaban presentes en la entrevista del grupo.

**9. Asistencia Técnica y Capacitación**

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si o No  (aunque están trabajando con COMCAFE)

¿Qué tipo? \_\_\_\_\_

¿De qué parte? a)Gobierno \_\_\_\_\_

b)Privada \_\_\_\_\_

c)Organización \_\_\_\_\_

**10. Producción (cultivo)**

Nombre de Producción	Superficie	Cantidad/Ha (cosecha)	Consumo	Venta
Café*		7 quintales por ha	X	X
Hortaliza			X	
Frijol			X	
Naranja			X	
Guineo			X	

\*se alquila la máquina (350 pesos) y emplea manos de obra (100-200 pesos) para cosecha.

Cómo se vende los productos?

a)Vecinos b)Intermediarios c)Coyotes  (5 pesos por kg?) d)Otros \_\_\_\_\_

**11. Cría de animal**

Qué tiene? Pollo\* (~15 por cada casa), cerdo (1-2), pavo, pato

\*se lo les vende a sus vecinos.

**12. Economía**

1)¿Dónde se compra sus insumos? a)Comunidad X {Hay una tienda que se vende las comidas y los artículos y que ha sido manejada por 80 socios (mujeres y hombres) hace 15 años}. b)Fuera de la comunidad X {en Cacahoatán se hace más compra (1 vez por semana) que la tienda en la comunidad.} c)Otro \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos? Individual o común

2)Ingresos

Medio del ingreso a)Venta de Producción café

b)Jornadero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

c)Obrero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

d)Emigración

Dónde? 4 personas en E.U. y 10-15 en Tijuana y Puerto Vallarez (nadie esta trabajando en la finca de café porque no esta cerca de la comunidad).

**13. Organización de Mujer**

- 84 mujeres participan en PROGRESA (ahora se llama OPORTUNIDADES) hace 3 años y recibe la vega para sus niños cada 3 o 4 meses. La promotora, Sra. Alicia Pérez Guzmán estaba presente en la entrevista.
- Hay un grupo de 18 mujeres que recibe el apoyo de COMPARTAMOS por Caja de Ahorros y que utiliza micro-crédito para negocios como venta de pan, ropa, pollo y etc. El interés es 4 % y el pago es semanal. El prestamo empieza de 1000 peso y llega hasta 5-10 mil pesos. Hay otro grupo que también trabaja por micro-crédito por Banco Vital de Mujeres (con CONAIS?). El prestamo empieza de 500 pesos, el interés es 4 % (baja a 2 % cuando el prestamo sube a 1000 pesos) y el pago es semanal por 4 meses. Este grupo también colabora con el grupo de Trinidad y Unión Juárez (cerca de la comunidad).

**14. Otros**

1)POUM es muy alta porque hay unos grupos de mujer trabajando activo para mejorar sus vidas.

2)El orgullo de la comunidad es clima mejor, los habitantes están organizados. la comunidad está pacífica (no hay problema dentro de la comunidad ni con otras comunidades), no hay alcoholismo (hace 20 años que no ha permitido que las cervezas que entren a la comunidad por el acuerdo de la asamblea).

3)Otros;

- División del trabajo; mujeres hacen trabajo en la casa y también participan en el trabajo de agricultura (como siembra, limpieza y corta), hombres van para recoger las leñas más que mujeres y los niños les ayudan, y hombres y mujeres van para hacer compra.
- Comida; se come 3 veces por día como tortillas, frijoles, arroz, pastas, café.
- Gasto; cada familia gasta como 200 pesos por semana.

### **Observación**

- 4 mujeres estaban presentes en la entrevista del grupo juntos con 3 hombres. 3 de ellas son representantes de los grupos; 1 promotora del grupo de PROGRESA (OPORTUNIDADES), 1 presidenta del Comité del Kinder y otra del Comité de la Primaria, que eran muy vocales y parecía que son mejores líderes del grupo que serán las personas claves para trabajar en esa comunidad.
- Hay 2 grupos de mujer que están organizados y trabajando activo por micro-crédito también en esa comunidad, que puede ser un buen ejemplo para otras comunidades.
- Son muy unidos y hay sistema de cooperación (darles a mano a los vecinos) dentro de la comunidad.
  - La gente hace mantenimiento de camino 1 vez por cada 8 días voluntariamente por el acuerdo de la asamblea.
  - Cuando la mujer enferma en la casa, su esposo y sus vecinos le ayudan.
  - La gente se celebra el aniversario de la fundación de la comunidad. Es decir, el capital social es muy alto.
- No hay alcoholismo en la comunidad.

# INVESTIGACIÓN GENERAL (hombre y mujer)

Municipio: Unión Juárez

Comunidad: Chiquihuítas

Fecha ; 6 de agosto 2002

## 1. Historia de la Comunidad.

Hace 90 años (fundada en 1910). Hay 288 *has.* # 18 Ejidatarios. # 12 Ejidatarias.

Otra información \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## 2. Número de Habitantes.

Número de habitantes 363 Familias (Casas) 63 (approx. 5.6 personas en cada familia)

## 3. Vivienda

(1) Agua entubada (viene del ojo de agua ) \_\_\_\_\_

(2) Letrina Hay  (la mayoría la tiene) o No hay

(3) Fogón ¿Qué tipo del fogón? Fogón alto de madera

(4) Luz eléctrica Hay  o No hay Hace 4 años que ha sido instalada y la mayoría la tiene.

(5) Comunicación a) Teléfono caseta # 1 (pero no funciona) Celular # 1 b) Radio

c) Correo

4. Auto transporte Hay  o No hay Qué ruta? Desde la comunidad Hasta Tapachula

Número de corrida (Frecuencia) 1 vez por semana ; viernes (noche)

(se tarda 2 horas)

Precio 30 pesos

## 5. Educación

a) Jardín de los Niños # 1 # 22 niños b) Primaria # 1 # 65 estudiantes

c) Secundaria # \_\_\_\_\_ d) Bachillerato # \_\_\_\_\_ # \_\_\_\_\_ estudiantes

Si no hay secundario, dónde estudian los estudiantes? Hay un telesecundaria en Cordoba donde se tarda 1 hora y 15 minutos por bus y 10 estudiantes están estudiandos allá.

Si no hay bachillerato, dónde estudian los estudiantes? Ninguno de la comunidad está en la bachillerato.

### 6. Salud

¿Qué tipo de hospital tiene?

a) Unidad Médica b) Centro de Salud c) Clínica (casa de la salud) X d) Otro

Doctor # \_\_\_\_\_ Médico # \_\_\_\_\_ Enfermera # \_\_\_\_\_

Auxiliar # \_\_\_\_\_ Promotor # 1 (vive en la comunidad)

\*Las enfermedades comunes en la comunidad son tos y calentura y se compra medicamentos en la consultoría o el hospital afuera de la comunidad.

7. Religión \_\_\_\_\_ católica \_\_\_\_\_

### 8. Organización

¿Qué tipo de organización hay? (Junta, Comité, Asociación, Grupo de trabajo, S.S.S. etc )

Comité de los Padres y la Familia en el Kinder y la Primaria (en que directiva mujeres también participan), de Agua, Camino, Luz.

### 9. Asistencia Técnica y Capacitación

¿Ha recibido algunos técnica o capacitación? Si o No X

¿Qué tipo? \_\_\_\_\_

¿De qué parte? a) Gobierno \_\_\_\_\_

b) Privada \_\_\_\_\_

c) Organización \_\_\_\_\_

### 10. Producción (cultivo)

Nombre de Produccion*	Superficie	Cantidad/Ha	Consumo	venta
Maíz**	1.5 ha		X	
Frijol	4 cuadras		X	
Alcatraz	No se sabe cuántos***.			X

\*no se cultiva las papas por problema de la plaga, ni hortaliza, ni frutas.

\*\*se tumba (no quema), lo siembra en abril y lo cosecha como 1 tonelada por hectárea en enero o febrero.

\*\*\*porque se crece naturalmente y hay muchos en la comunidad, no se los cultivan en el campo ni la plantación para ganar más.

Cómo se vende los productos?

a)Vecinos      b)Intermediarios      c)Coyotes      d)Otros    Se vende alcatraz en 200 pesos por bulto en Tapachula y en diciembre los intermediarios vienen a la comunidad para comprarlo.

### **11.Cría de Animal**

Qué tiene?

Pollos, puercos, ganados

### **12.Economía**

1)¿Dónde se compra sus insumos? a)Comunidad X Hay una tienda comunitaria que se maneja por 86 personas (hombres y mujeres cooperan) y que se vende maíz, tomate, cebolla y otros.

b)Fuera de la comunidad    c)Otro \_\_\_\_\_

¿Cómo se compra sus insumos? Individual o común

2)Ingresos

Medio del ingreso a)Venta de Producción El alcatraz es lo único cultivo de renta en la comunidad.

b)Jornadero \_\_\_\_\_

Dónde? \_\_\_\_\_

c)Obrero Ninguno se va afuera de la comunidad para cosecha de café.

Dónde? \_\_\_\_\_

d)Emigración

Dónde? En Tijuana están trabajando 11 hombres y 1 cuñada.

### **13.Organización de Mujer**

66 mujeres reciben apoyo de PROGRESA (ahora que se llama OPORTUNIDADES) pero no pudimos hablar con ninguno de los miembros sobre más detalles.

### **14.Otros**

1)POUM

2)El orgullo de la comunidad es \_\_\_\_\_

3)Otros

- Hay sistema de tequío en la comunidad y se trabaja para mantenimiento/mejoramiento del camino cada miércoles. No hay problema con la otra comunidad. Es decir, el capital social es alto.

- Hombres y mujeres cooperan para hacer trabajo de agricultura, cuida de los animals y lo de a

casa.

### **Observación**

- Por problema de aviso de nuestra visita a la comunidad, la gente no había reunida. Entonces, hicimos la entrevista con 3 personas - 1 pareja vieja y su hijo en su casa pequeña de madera con el piso de tierra y el techo de lamina que pienso que es la común en esa comunidad.

- Ésta es la única de las 10 comunidades que visitamos que hace venta de flores de alcatraz. Porque no se las cultva en el campo sistemáticamente, hay potencial de hacer el proyecto modelo de desarrollo participativo en la comunidad por cultivo de alcatraz con mejor planeación y capacitación de la gente para incrementar sus ingresos y mejorar sus vidas.

Sin embargo, no pudimos hablar con más gente para averiguar la unidad de la comunidad ni nivel de la organización de las mujeres y sus ganas de trabajo. Además, cuando fuimos a la Sra. Hortencia M. Ríos de Mudy, quinta regidora de Unión Juárez para conseguir más información de micro-crédito, nos contó que hay un grupo de mujeres en Chiquihuítés que trabaja con ella por utilizar micro-crédito y que cada miembro hace su propio negocio como cultivo/venta de hortaliza y venta de alcatraz. Pero según ella, hay problema de devuelto del dinero porque ese grupo no entiende bien el sistema de micro-crédito que no es regalo sino prestamo que tiene que volver.

Entonces, no podría ser una de las 5 comunidades seleccionadas para nuestro proyecto.





## 6. 参考文献

- ・(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル・内外エンジニアリング(株)(1999)『メキシコ合衆国チアパス州ソコヌスコ地域農牧業総合開発計画調査ファイナルレポート』国際協力事業団
- ・加茂雄三 他(1999)『国際情勢ベーシックシリーズ⑨ ラテンアメリカ自由国民社
- ・国本伊代編(2000)『ラテンアメリカ 新しい社会と女性』新評論
- ・国際協力事業団(2002)『メキシコ合衆国 国別重点分野に対する JICA の取り組み方針策定に関わる基礎調査(プロジェクト形成調査)(貧困)報告書』
- ・国際協力事業団・国際協力総合研修所(2000)『ジェンダーの平等・女性のエンパワーメントガイドライン策定に向けた基礎研究』
- ・国際協力事業団 農林水産開発調査部(1999)『農林業協力のための WID/ジェンダーハンドブック』
- ・国際連合(1995)『世界の女性 1995-その実態と統計』(財)日本統計協会
- ・松久玲子(1998)「メキシコにおける教育政策とジェンダー」(『言語文化』同志社大学言語文化学会 1-2)
- ・UNDP 人間開発報告書 2002『ガバナンスと人間開発』(2002)国際協力出版会
  
- ・CONAPO (2000) *Índices de Desarrollo Humano, México*
- ・\_\_\_\_\_ (2000) *Índices de Marginación, México*
- ・\_\_\_\_\_ (septiembre 1995) “La Mujer Rural en México – Situación de la Mujer en México Aspectos Económicos Comité de Nacional Coordinador para la IV Conferencia Mundial Sobre la Mujer Acción para la Igualdad, el Desarrollo y la Paz”, México
- ・\_\_\_\_\_ (2000) “Situación de Actual de la Mujer en México – Diagnóstico Sociodemográfico, 1a. edición: noviembre de 2000”, México
- ・Consejo Estatal de Población, Chiapas (2002) “Índice Chiapaneco de Marginación 1990-2000, 1a. edición, noviembre de 2001”, México
- ・El Colegio de la Frontera Sur (ECOSUR) (2002) “Breve Diagnóstico del Soconusco”, México

- Esperanza Tuñón Pablos (Coordinadora) (2001) *Mujeres en las Fronteras: Trabajo, Salud y Migración (Belice, Guatemala, Estados Unidos y México)* Plaza y Valdes, S.A. de C.V. , México
- Fernando Cotés Cáceres, Daniel Hernández y et al. (agosto 2002) “Evolución y Características de la Pobreza en México en la Última Década del Siglo XX” SEDESOL, México
- Gobierno de Chiapas (2001) “Plan de Desarrollo Chiapas 2001-2006” México
- Gobierno de Estado de México (2001) “Plan Nacional de Desarrollo 2001-2006” México
- INEGI (1999) “Censos Económicos 1999 Enumeración Integral, Resultados Oportunos, Chiapas”, México
- \_\_\_\_\_ (2000) *XII Censo General de Población y Vivienda*, México
- \_\_\_\_\_ (2001) *Anuario Estadístico del Estado de Chiapas edición 2001*, México
- \_\_\_\_\_ (2002) *Mujeres y Hombres 2002* , México
- Instituto Nacional de las Mujeres (2001) “Programa Nacional para la Igualdad de Oportunidades y no Discriminación contra las Mujeres PROEQUIDAD 2001-2006”, México
- Mónica Álvarez Rodríguez y Francisco Javier González Vallejo (agosto de 2002) “Claves Reflexión Indispensable - Mujeres en Tierra de Machos” CUCSH – Universidad de Guadalajara, México
- Pacific Consultants Internacional & Naigai Engineering Co., Ltd. (septiembre de 1999) *El Estudio de Desarrollo Integral de Agricultura, Ganadería y Desarrollo Rural de La Región del Soconusco (Distrito de Desarrollo Rural No. 8, Tapachula) en Chiapas, los Estados Unidos Mexicanos Reporte Final Anexos*, México
- Planeación y Proyectos S.A. de C.V. (October 1998) “Rural Sociological Survey: Integrated Agricultural, Livestock and Rural Development Project of the Soconusco Region in Chiapas, Mexico Final Report”, México
- SDR, SAGARPA, Gobierno de Chiapas (2002) “Secretaría de Desarrollo Rural Programas Base de Desarrollo Rural 2002”, México

- SDR, SAGARPA, Gobierno de Chiapas (2002) "El Programa para Grupos Organizados de Mujeres en el Desarrollo Rural ", México
- Secretaría de Desarrollo Social (SDS), Gobierno de Chiapas (2001) "Desarrollo Social en Cifras", México
- Sergio Aguayo (ed.) (2002) *México en Cifras* Editorial Grijalbo, S.A. de C.V. , México